JUSTIO 複合機

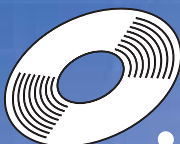
brother

MFC-8520DN

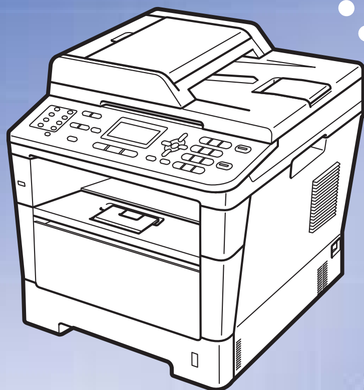
ユーザーズガイド 基本編

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

ドライバー&ソフトウェア
CD−ROM



本書以外の
ユーザーズガイドが
収録されています。



ユーザーズガイド
応用編
便利な使い方を説明しています。

ユーザーズガイド
パソコン活用編
パソコンを使用した操作方法を説明しています。

ユーザーズガイド
ネットワーク編
ネットワーク環境での使い方を説明しています。

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 4章「困ったときには」で調べる 94ページ

2 サポート ブラザー 検索



ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

おすすめ機能 12P

Version 0 JPN

ユーザーズガイドの構成

準備しましょう

- 電源の注意事項を知りたい
- 設置場所の注意事項を知りたい
- 停電のときの注意事項を知りたい
- トナーの注意事項を知りたい
- 安全にかかわるいろいろな注意事項を知りたい

- 設置して使用できる状態にしたい
- 必要な設定をしたい
- コンピューターに接続して、プリンターやスキャナーとして使えるようにしたい
- 簡単にネットワークに接続して、複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい

まずは使ってみましょう

- 使用できる用紙が知りたい
- ファクスしたい（基本）
- 電話帳を作成したい
- コピーしたい（基本）
- コンピューターからプリントしたい（基本）
- スキャンしたい（基本）
- USBからプリントしたい
- 消耗品を交換したい
- お手入れのやりかたを知りたい
- トラブルを解決したい
- リサイクルについて知りたい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい

もっと便利に使ってみましょう

- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい

- コンピューターからプリントしたい（応用）
- コンピューターでファクスを送受信したい
- コンピューター上にアドレス帳を作成したい
- いろいろな方法でスキャンしたい
- さまざまな設定をコンピューターから行いたい（リモートセットアップ）

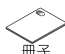
- ネットワークに接続して複数のコンピューターでファクス、プリント、スキャンをしたい
- ネットワーク設定を手動で行いたい
- 分からない用語を調べたい
- ネットワークにかかわるトラブルを解決したい

- 携帯端末から直接プリントしたい
- スキャンしたデータを携帯端末に直接取り込みたい

知りたいことをコンピューターですばやく探しましょう

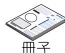
- 基本から応用までまとめて探したい
- 音量を設定したい
- 使える機能や設定変更できる機能を制限して管理したい（セキュリティ）
- いろいろなファクス送受信をしたい
- 電話帳を作成したい
- ファクスを転送したい
- ナンバー・ディスプレイ機能を使いたい
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどを使って簡単に宛先を指定したい
- 送信履歴などレポートを表示、印刷したい
- 文字の入力方法を知りたい

安全にお使いいただくために


冊子

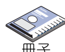
安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項を説明しています。必ずはじめにお読みください。
また、なくさないように注意し、いつでも確認できるように保管してください。

かんたん設置ガイド


冊子

本製品を使用するための準備（設置、基本的な設定、コンピューターへの接続の方法、ネットワーク環境設定など）を説明しています。

ユーザーズガイド　基本編　＜本書＞


冊子

基本的なコピー、ファクス、プリント、スキャンのしかたについて説明しています。また、本製品の電話帳の登録・編集方法やトラブル対処方法についても説明しています。
いつでも手にとって見られる場所に保管してください。

ユーザーズガイド　応用編


CD-ROM

全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。

ユーザーズガイド　パソコン活用編


CD-ROM

コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法や便利な使いかた（ControlCenter）について説明しています。

ユーザーズガイド　ネットワーク編


CD-ROM

ネットワーク環境で使用するための設定や、コンピューターからの操作で本製品をプリンター、スキャナー、ファクスとして使用する方法を説明しています。
また、ネットワーク環境での用語や環境についての概要などを説明しています。

Googleクラウドプリントガイド（PDF形式）

モバイル版Gmail™、GOOGLE DOCS™やChrome OSを搭載した携帯端末のデータをGoogleクラウドプリントサービスを利用し、インターネットを介して印刷する方法を説明しています。

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF形式）

Brother iPrint&Scan用
Android™ やiOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。（Windows® PhoneはPDFファイル印刷には対応しておりません。）

AirPrintガイド（PDF形式）

Mac OS X 10.7.x、iPhone、iPod touch、iPad、またはiOSを搭載した携帯端末からデータを印刷する方法を説明しています。

 画面で見るマニュアル（HTML形式）

ユーザーズガイド基本編、応用編、パソコン活用編、ネットワーク編の他に、全体にかかわる各種設定、ファクス応用機能、転送機能、リモコン機能、レポート機能、仕様などを説明しています。
マニュアルの検索機能を使用して、知りたいことをすばやく探すことができます。

● 冊子、CD-ROMは本製品に同梱されています。
● 画面で見るマニュアル（HTML 形式）と各種説明書 PDF マニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
（http://solutions.brother.co.jp/）

ドライバー&ソフトウェアCD-ROM内のユーザーズガイドを見るときは

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMには、下記のユーザーズガイドがPDF形式で収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク編

Windows®の場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする

2 モデル名をクリックする

トップメニュー画面が表示されます。

補足

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ］から CD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］を ダブルクリックして画面を表示させてください。

3 ［ユーザーズガイド］をクリックする



4 ［画面で見るマニュアル PDF形式］をクリックする

収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。



5 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

補足

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMからプリンタードライバー、スキャナードライバー、ソフトウェアをコンピューターにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-8520DN］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

Macintoshの場合

1 付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

2 ［ユーザーズガイド］のアイコンをダブルクリックする



3 モデル名を選択し、［次へ］をクリックする

4 ［top.pdf］をダブルクリックする

5 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMから、サポートサイトなどの案内を表示させることができます。

Windows®の場合

1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

2 モデル名をクリックする

トップメニューが表示されます。

補足

画面が表示されないときは、［マイ コンピュータ］から CD-ROMドライブをダブルクリックし、［start.exe］を ダブルクリックして画面を表示させてください。

3 ［サービスとサポート］をクリックする

4 見たい項目をクリックする



- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  ブラザーソリューションセンターを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  トナーカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

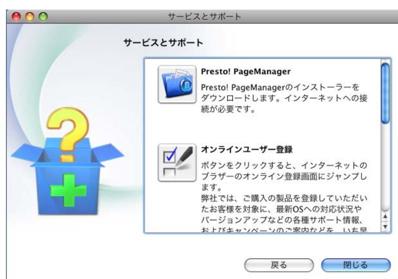
Macintoshの場合

1 付属のドライバー&ソフトウェアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

2 ［サービスとサポート］をダブルクリックする

3 モデル名を選択し、［次へ］をクリックする

4 見たい項目をクリックする



- Presto! PageManager
  Presto! PageManagerのインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポート情報
  ブラザーソリューションセンターを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

目　次

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMに収録「ユーザーズガイド 応用編」の目次

本書の表記

マークについて

本文中では、マークについて以下のように表記しています。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
! 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。
注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド 応用編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド パソコン活用編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
「XXX」	安全にお使いいただくためにの参照先を記載しています。（XXXはタイトル名）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。
【XXX】	本製品のディスプレイ内の表示を表しています。
[XXX]	コンピューター上の表示を表しています。

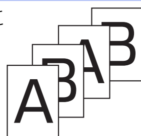
編集ならびに出版における通告

本書ならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。
© 2012 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

おすすめ機能

効率アップ におすすめ

コピー / プリントで効率アップ

仕分け作業は機械にまかせましょう 	●ページ順に1部ごとコピー／プリント〔ソートコピー〕	・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 ・コピー ⇒ 57 ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
簡単に印刷設定をしてみましょう	●おまかせ印刷	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

ファクスで効率アップ

宛先指定はボタン 1 つで簡単に	●ワンタッチダイヤルを使用する	⇒ 39 ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」
	●短縮ダイヤルを使用する	⇒ 39 ページ「短縮ダイヤルを使用する」
	●再ダイヤルを使用する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
送付書を自動的に付けられます	●送付書を付けて送信する ●送付書のオリジナルコメントを登録する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度にまとめて送りましょう	●同じ原稿を数か所に送信する〔同報送信〕 ●メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
1度の操作で両面原稿を読み取って読み込む手間を省きます	●両面原稿の読み取りを設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
原稿をセットしておくだけで相手が必要なときに送ります	●相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
留守中にファクスが届いても、外出先でファクスを見られます	●他の場所のファクシミリに転送する	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」

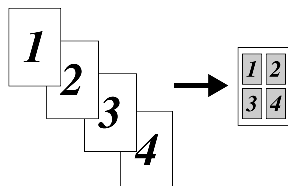
エコ におすすめ

リサイクルでエコに協力

リサイクルして有効に使いましょう	●消耗品の回収リサイクルについて	⇒22ページ「リサイクル・廃棄のこと」

節約、コスト削減 におすすめ

用紙代を節約

両面を有効に使って節約	●両面コピー／両面プリント／両面ファクス	・コピー ⇒58ページ「両面コピーをする」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」 ・ファクス ⇒45ページ「受信したファクスを両面印刷する」
複数の原稿を1枚にまとめてコピー／プリントして節約 	●レイアウトコピー／レイアウトプリント	・コピー ⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」 ・プリント ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」
コンピューターでファクスを送受信してペーパーレス。必要なものだけプリントして節約	●ファクスをコンピューターで受信する〔PCファクス受信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」
A4サイズを超える原稿を受信するとき、自動的に縮小して1枚にまとめて節約	●自動的に縮小して印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

節約、コスト削減 におすすめ

通信費を節約

深夜割引※を上手に使いましょう。大量のファクスをタイマーで深夜に送れば通信代節約	●指定時刻に送信する〔タイマー送信〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
※：深夜割引についてはご利用の回線接続会社にお問い合わせください。		
次世代ネットワーク（NGN）で IP ファクス（T.38 準拠）※を使うことにより、今までよりスピーディかつ安価にファクスを送信できます。	● IP ファクスの設定をする	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
※：IP ファクスとは、IP ネットワークを使って送信するファクスです。		

省エネで節約

印字の質を少し下げてトナーを節約	●トナーを節約する〔トナー節約モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
電力消費をおさえて節約	●スリープモードに入る時間を設定する 〔スリープモード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

安心 におすすめ

ファクスで安心

きちんと送信できたのか送信結果を知りたい	●送信結果レポートを表示する ●レポート・リストを印刷する	⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リスト」
宛先の間違いを防ぎたい	●ファクス誤送信防止機能（ダイヤル制限）を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
かかってきた相手を確認したい	●ナンバー・ディスプレイ設定	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」 ⇒ 50 ページ「ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認 / 登録する」
海外への送信で、回線状況が悪いときでも送信エラーを防ぎたい	●海外へ送信する〔海外送信モード〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

安心 におすすめ

制限で安心

勝手に設定変更されないように変更を制限したい	●設定変更できる機能を制限する〔セキュリティ設定ロック〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
使える機能を制限して情報漏洩を防ぎたい。 無駄な操作を防げばコスト削減にも役立ちます。	●使用できる機能を制限する〔セキュリティ機能ロック 2.0〕	⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」
印刷された内容を本製品の近くの人に見られたくない	●印刷をパスワードで制限する〔セキュリティ印刷〕	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

質がきれい におすすめ

コピー／ファクスの質を調整

拡大／縮小を思いどおりに	●拡大･縮小コピーをする	⇒ 57 ページ「拡大･縮小コピーをする」
原稿の種類によって画質を調整する	●コピー／ファクス送信の画質を設定する	• コピー ⇒ 61 ページ「画質を設定する」 • ファクス ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」
コピーの明るさを調整する	●明るさを設定する	⇒ 61 ページ「明るさを設定する」
コピーのコントラストを調整する	●コントラストを設定する	⇒ 62 ページ「コントラストを設定する」
ファクス送受信時の濃度を調整する	●ファクス送信時の原稿濃度を設定する ●ファクス受信時の印刷濃度を設定する	⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」

1 使う前に知ってほしいこと

各部の名称とはたらき

操作パネルの名称とはたらき

ファクス機能ボタン

● <オンフック>ボタン

ファクスを手動送信するときに押します。⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」

● <再ダイヤル/ポーズ>ボタン

最後にダイヤルした番号を再ダイヤルするときに押します。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ダイヤル番号の入力時にポーズ（待ち時間）を入れるときに押します。

コピー機能ボタン

● <オプション>ボタン

明るさ、コントラスト、ソート、レイアウトコピー、コピー画質、トレイ選択などを一時的に設定するときに押します。

⇒57ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」、

⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」、

⇒60ページ「記録紙トレイを設定する」、

⇒61ページ「画質を設定する」、

⇒61ページ「明るさを設定する」、

⇒62ページ「コントラストを設定する」

● <拡大/縮小>ボタン

拡大 / 縮小コピーするときに押します。

⇒57ページ「拡大･縮小コピーをする」

エラーランプ

本製品のエラー状態を表します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。⇒39ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」

<シフト>ボタン

ワンタッチダイヤルの9～16を登録またはダイヤルするときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。

<セキュリティ印刷>ボタン

4桁のパスワードを使用して機密データを印刷するときに使用します。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

プリントデータランプ

本製品のプリントデータ受信状態をランプの点滅によって表します。

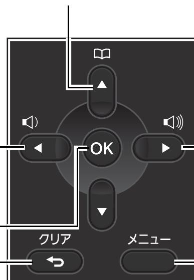
<両面>ボタン

両面コピー、両面印刷をするときに押します。また、ファクスモード時には、自動両面読み取りを行うことができます。

ナビゲーションキー

⇒20ページ「ナビゲーションキーを使った基本操作」

ファクスモードのときに押すと短縮宛先の指定や電話帳の検索ができます。



- 前のレベルメニューに移動します。
- 着信音を小さくします。

機能を確定するときに押します。

入力したデータの削除や一つ前のレベルのメニューに戻す場合に押します。

- 次のレベルメニューに移動します。
- 着信音を大きくします。

機能を設定するときに押します。

液晶ディスプレイ

日時、現在の設定内容、操作方法を案内するメッセージなどが表示されます。
長いメッセージはスクロール表示します。



ダイヤルボタン

ダイヤルするときや、文字入力をするときに押します。

<スタート>ボタン

コピー、ファクス、スキャンを開始するときなどに押します。

モード選択ボタン

ファクス／スキャン／コピーの各モードに切り替えます。現在選択されているモード選択ボタンは青色に点灯します。

⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」

<停止/終了>ボタン

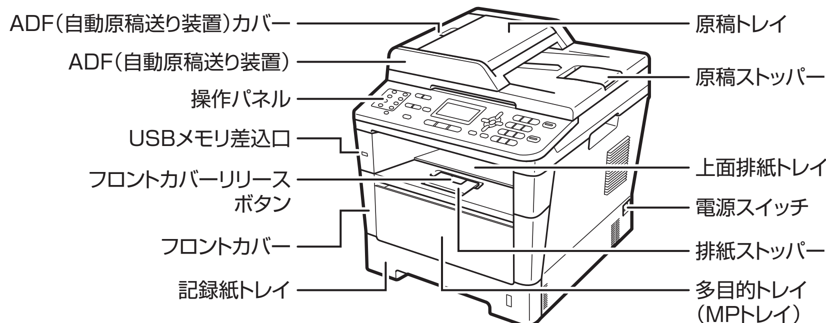
ファクス送信や操作を中止するとき、機能設定を終了するときなどに押します。
また、印刷処理中のデータや本製品に印刷されずに残っているメモリ内のデータを削除します。

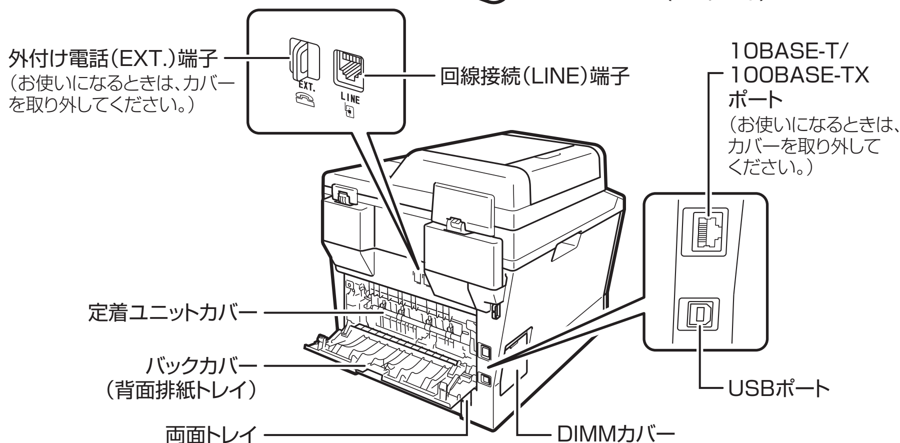
ランプについて

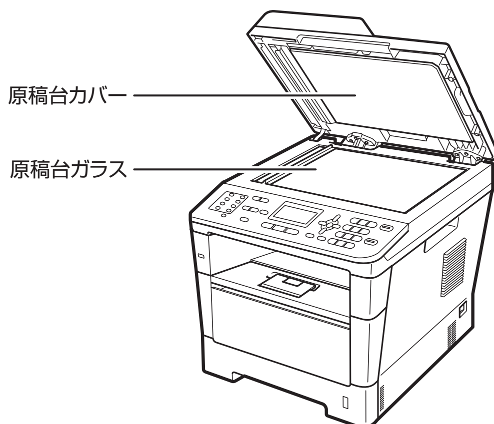
本製品の状態を操作パネル上のランプで、点灯／点滅／消灯によって表します。

プリントデータランプ	本製品の状態
プリントデータ 消灯	電源スイッチがOFFになっている、メモリに印刷データがない状態、またはスリープの状態です。
プリントデータ 緑　点滅	コンピューターからデータを受信中、データを処理中、または印刷中です。
プリントデータ 緑　点灯	メモリに印刷データがある状態。 メモリに何らかの原因で印刷できなかったデータが残っています。対処方法については、⇒95ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。エラーメッセージ表示中にデータを受信すると、点滅になります。
エラーランプ	**本製品の状態**
消灯	本製品は正常に動作しています。
橙　点滅	本製品に問題が発生しています。

各部の名称


ADF（自動原稿送り装置）カバー
ADF（自動原稿送り装置）
操作パネル
USBメモリ差込口
フロントカバーリリースボタン
フロントカバー
記録紙トレイ
原稿トレイ
原稿ストッパー
上面排紙トレイ
電源スイッチ
排紙ストッパー
多目的トレイ（MPトレイ）

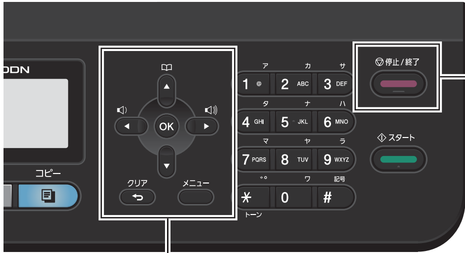

外付け電話（EXT.）端子
（お使いになるときは、カバーを取り外してください。）
EXT.
LINE
回線接続（LINE）端子
10BASE-T/100BASE-TXポート
（お使いになるときは、カバーを取り外してください。）
定着ユニットカバー
バックカバー（背面排紙トレイ）
両面トレイ
DIMMカバー
USBポート


原稿台カバー
原稿台ガラス

機能設定操作の基本

ナビゲーションキーを使った基本操作

本製品は、ナビゲーションキーを使って各種設定をしたり、メニューを選択したりすることができます。



ナビゲーションキー　　<停止/終了>ボタン

ナビゲーションキー	キーの役割
メニュー	• メインメニューを表示する
OK	• 次のメニューレベルに移る • 選択項目を確定（決定）する
▲ ▼	• メニュー内の項目を表示する
◀	• 前のメニューレベルに戻る • 着信音量を小さくする
▶	• 次のメニューレベルに進む • 着信音量を大きくする
クリア	• 入力した文字や数字を削除する • 前のメニューレベルに戻る
停止 / 終了ボタン	**キーの役割**
停止/終了	• 操作を中止するときや、設定を終了する • モード画面に戻る • 印刷処理中のデータや本製品に印刷されずに残っているメモリ内のデータを削除する

ダイヤルボタンを使った基本操作

<メニュー >を押した後、ダイヤルボタンで設定したい機能の番号を直接入力して、各種設定ができます。

補足

● 設定を途中で終了するときは、<停止/終了>を押してください。

● 機能の番号については、⇒142ページ「機能一覧」を参照してください。

電話回線のこと

自動で回線種別を設定する

電話機コードを接続してから電源コードを接続してください。
本製品は回線種別の自動設定を行います。回線種別の自動設定が行われた後、液晶ディスプレイには以下のいずれかが表示されます。

回線チェック中 ﾌﾟｯｼｭ回線です	：プッシュ回線に設定されたとき
回線チェック中 ﾀﾞｲﾔﾙ20PPSです	：ダイヤル回線（20PPS）に設定されたとき

補足

- 回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、右のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていない可能性があります。電話機コードを正しく接続してください。接続後、<1>を押すと回線チェックが行われます。
  電話機コードを接続しない場合は、<停止/終了>、または<2>を押してください。
  【接続を中止します。よろしいですか?】が表示されますので<1>を押してください。

  「設定できませんでした」
  電話機ｺｰﾄﾞ両端の接続をご確認ください。
  または、ご利用の回線業者へお問合せください。
  1.OK 2.中止

- 電話機コードを接続せずにコピーやスキャンなどの機能だけを利用される場合、回線種別の設定を行わないままましばらく時間が経つと、【設定できませんでした】が表示され、続いて【回線種別を設定してください】が表示されます。メッセージを消去するには、手動で回線種別を設定してください。どの回線種別を選択しても構いません。
  手動で回線種別を設定する場合は⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合

次世代ネットワーク（NGN）とは、電話やインターネット、放送など、目的ごとに異なるさまざまなネットワークを、IP技術を用いて統合した新しい情報通信ネットワークです。この次世代ネットワーク（NGN）を通じてのみ、IPファクスが利用できます。

補足

- 次世代ネットワーク（NGN）に接続するには、NTTのフレッツ光ネクストに契約する必要があり、専用のホームゲートウェイを設置する必要があります。
- 次世代ネットワーク（NGN）についてのご質問は、NTTにお問い合わせください。
- ホームゲートウェイに設定するデータは、NTTから送付される資料をご覧ください。
- ホームゲートウェイの接続方法や不具合は、NTTにお問い合わせください。
- お住まいの環境により、配線方法や接続する機器が異なる場合があります。

リサイクル・廃棄のこと

消耗品の回収リサイクルについて

弊社では環境保護に対する取り組みの一環として消耗品のリサイクルに取り組んでおります。使い終わりました消耗品の回収にご協力をお願いいたします。詳しくはホームページを参照してください。

回収対象となる消耗品
　・トナーカートリッジ　・ドラムユニット

http://brother.jp/product/support_info/printer/recycle/index.htm

ブラザー　回収



本製品の廃棄について

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。
　事業所　：産業廃棄物処理業者に委託してください。
　一般家庭：お住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

2 まずは使ってみましょう

記録紙の基本

記録紙セットの流れ

基本的な記録紙のセットの流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　セットできるトレイと記録紙を確認する

トレイの場所やセットできる記録紙の種類などを確認して、記録紙を準備します。

⇒ 25 ページ「セットできる記録紙」、⇒ 26 ページ「使用できない記録紙」

STEP 2　記録紙をセットする

記録紙トレイまたは多目的トレイ（MP トレイ）にセットします。正しくセットされていない場合、紙づまりや故障の原因になりますので、十分にご注意ください。

⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」、⇒ 29 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙をセットする」

STEP 3　セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する（必要に応じて）

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

設定した内容は次に変更するまで保存されるので、セットした記録紙と本体の設定内容があっているかを必要に応じて確認してください。

⇒ 31 ページ「セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する」

セットできる記録紙

本製品では、以下の表に記載されている種類、サイズ、枚数の記録紙をセットできます。また、記録紙トレイと多目的トレイ（MPトレイ）の他に、オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設することにより、最大800枚（80g/m^{2}の普通紙の場合）セットできます。

トレイ名称	記録紙の種類	記録紙のサイズ	枚数（80g/m^2）
標準記録紙トレイ（トレイ1）	普通紙、普通紙（薄め） (60g/m^2～105g/m^2) 再生紙 ハガキ※1（30枚）	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 A5（横置き） B6（ISO） A6 ハガキ（同等品）	250枚
多目的トレイ（MPトレイ）	普通紙、普通紙（薄め）、 普通紙（厚め）(60g/m^2～105g/m^2) 超厚紙 （105g/m^2～163g/m^2） 再生紙 ハガキ※2（10枚） ラベル紙 封筒※2（洋形4号）（3枚）	ユーザー定義サイズ （幅76.2～215.9mm 長さ127.0～355.6mm）	50枚
増設記録紙トレイ（トレイ2）	普通紙、普通紙（薄め） (60g/m^2～105g/m^2) 再生紙	A4 USレター B5（ISO/JIS） A5 B6（ISO）	500枚

※1 ：⇒27ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
※2 ：⇒30ページ「封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに 印刷する場合」を参照してください。

補足

- 宛名ラベルは、レーザープリンター用の物をお使いください。
- 印刷品質を得るために、たて目用紙を使用することをおすすめします。
- 受信したファクスはA4サイズで印刷してください。
- 特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初に印字テストを行ってください。
- 上面排紙トレイに一度に排紙できる枚数は普通紙（80g/m^{2}紙）の場合、約150枚です。

使用できない記録紙

次のような記録紙は絶対に使用しないでください。印刷品質の低下と本製品にダメージを与えるおそれがあります。これらの紙を使用した結果、生じた製品の故障・破損については保証またはサービス契約対象外となりますので、ご注意ください。

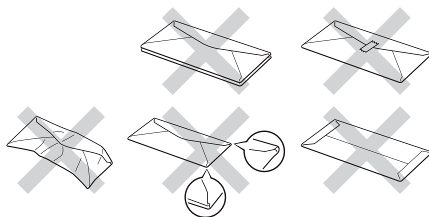
使用できない記録紙

- 光沢紙
- インクジェット紙
- ノーカーボン紙
- コート紙
- 化学紙（ラミネート紙など）
- ミシン目の入った記録紙
- 極端に滑らかな記録紙
- 極端にざらつきのある記録紙
- 極端に薄い記録紙
- カールしている記録紙
  カールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの記録紙をご使用になりますと、紙づまりなどの原因になります。
- 折り目やしわのある記録紙
- ホチキスや付箋の付いている記録紙
- 指定された坪量を超える記録紙
- 穴のあいた記録紙（ルーズリーフなど）
- 酸性、アルカリ性の記録紙
  中性紙をお使いください。
- よこ目用紙
  紙づまりや複数枚の記録紙が一度に送られる原因になります。
- 湿っている記録紙や印刷済みの記録紙
  紙づまりや故障の原因になります。
- OHPフィルム
- アイロン転写用紙

使用できない封筒

下記のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- 留め金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンターで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- 本製品の印刷可能用紙坪量指定を超える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒



注意

■いろいろな種類の封筒を同時にセットしないでください。紙づまりや給紙ミスを起こすおそれがあります。

■正しく印刷するには、アプリケーションソフトでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた記録紙のサイズの設定を同じにしてください。

ほとんどの封筒は印刷できますが、封筒の仕上りによっては、給紙や印刷品質に問題が起こる場合があります。レーザープリンター用の高品質の封筒を購入してください。
たくさんの封筒を購入する前に、必ず少部数を印刷して正しく印刷されることを確認してから購入してください。

補足

特に推奨する封筒のメーカーはありません。⇒26ページ「使用できない封筒」以外の印刷に適した封筒をお選びください。

記録紙トレイに記録紙をセットする

! 重要

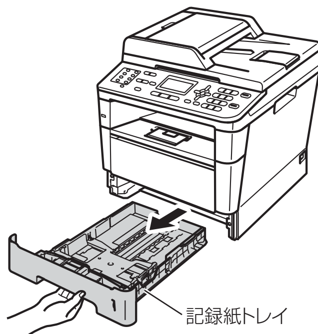
記録紙ガイドが記録紙のサイズに正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、印刷時にトレイ内で記録紙がずれ、故障の原因になります。

注意

■記録紙は数回に分けて入れてください。一度にたくさん入れると紙づまりや給紙ミスの原因になります。

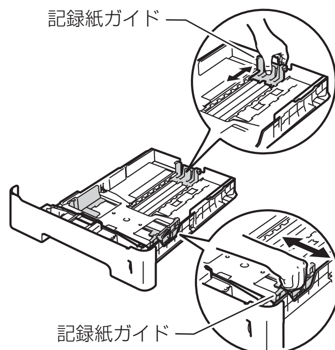
■種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

1 記録紙トレイを本製品から完全に引き出す

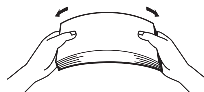


2 緑色の記録紙ガイドをつまみながらスライドさせて、使用する記録紙の表示位置に合わせる

緑色の記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

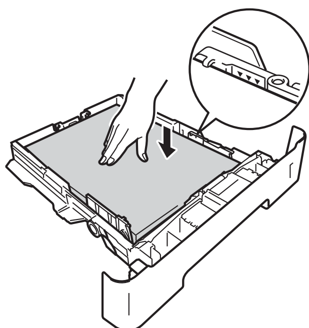


3 紙づまりや給紙ミスを防ぐために、記録紙をよくさばく



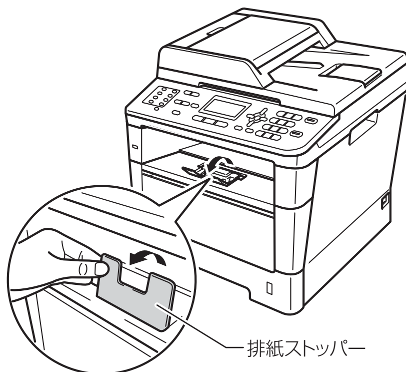
4 印字面を下にして記録紙トレイに入れる

- 記録紙がトレイの中で平らになっていること、▼▼▼マークより下の位置にあることを確認してください。
- 記録紙ガイドとセットした記録紙サイズがしっかりと合っていることを確認してください。



5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 排紙ストッパーを開く

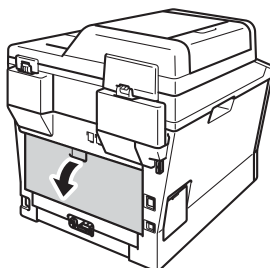


注 意

■印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた記録紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

7 ハガキに印刷する場合、バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



8 印刷が終ったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

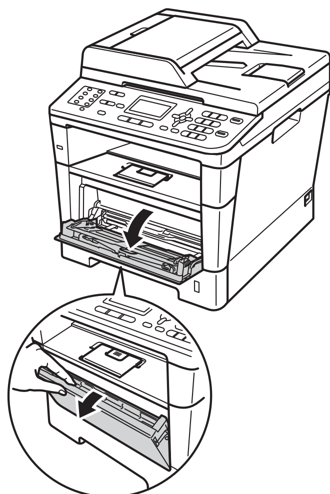
補足

紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

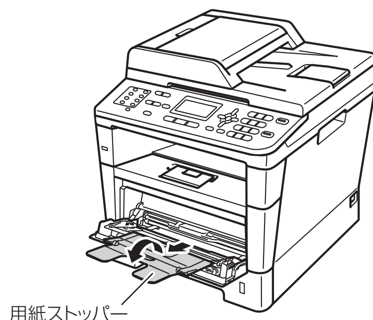
多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙をセットする

超厚紙、ラベル紙、封筒は、多目的トレイ（MPトレイ）にセットしてください。

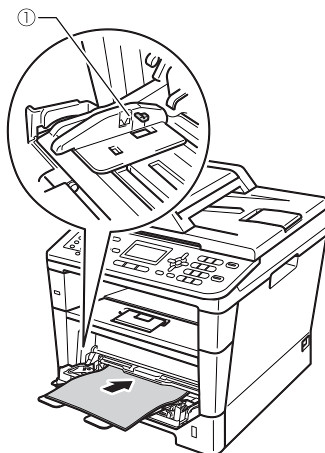
1 多目的トレイ（MPトレイ）を開ける



2 用紙ストッパーを引き出し、開く



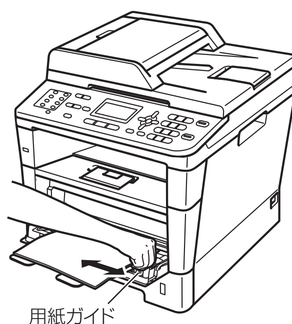
3 印字面を上にして記録紙を入れる



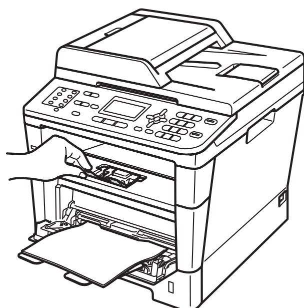
補足

記録紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。記録紙をマーク①より上になるように収めると、紙づまりを起こすおそれがあります。

4 用紙ガイドをつまみながらスライドさせ、印刷する記録紙サイズに合わせる



5 排紙ストッパーを開く



注意

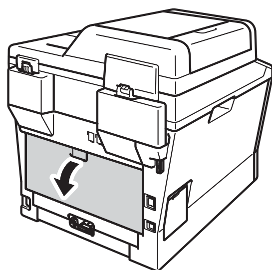
■印刷された記録紙が、上面排紙トレイから滑り落ちないように排紙ストッパーを開いてください。

■排紙ストッパーを開かない場合には、本製品から出てきた記録紙をすぐに取り除くことをおすすめします。

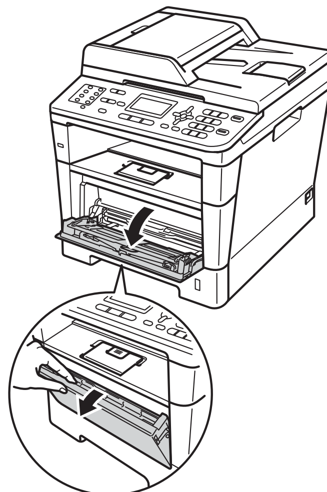
封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合

封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに印刷する場合は、印刷前に排紙場所を設定する必要があります。以下の手順に従って本製品を設定してください。

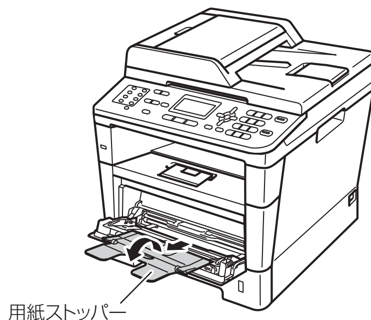
1 バックカバー（背面排紙トレイ）を開ける



2 多目的トレイ（MPトレイ）を開ける



3 用紙ストッパーを引き出し、開く



4 印字面を上にして記録紙を入れる

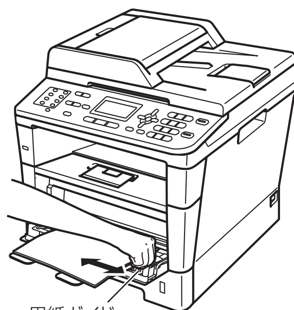




補足

封筒は最大3枚まで、厚紙（163g/m²の場合）は最大25枚まで入れることができます。

5 用紙ガイドをつまみながらスライドさせ、印刷する記録紙サイズに合わせる



6 印刷が終ったら、バックカバー（背面排紙トレイ）を閉じる

補足

紙づまりしないように、印刷後は記録紙をすぐに取り出してください。

セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する

本体で設定されている記録紙の種類やサイズ（お買い上げ時は「普通紙」「A4」）と実際にセットした記録紙の種類やサイズを合わせるため、必要に応じて本体の設定を変更します。

記録紙のタイプを設定する

記録紙トレイにセットした記録紙のタイプを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<2>→<1>を押す

2 以下の手順で記録紙タイプを選択する

1 **<▲>または<▼>（記録紙トレイを選択）→<OK>**

【記録紙トレイ #2】は、オプションの増設記録紙トレイを装着したときのみ表示され、選択できます。

2 **<▲>または<▼>（記録紙タイプを選択）→<OK>**

3 <停止/終了>を押す

記録紙のサイズを設定する

記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを選択します。

1 <メニュー>→<1>→<2>→<2>を押す

2 以下の手順で記録紙サイズを選択する

1 **<▲>または<▼>（記録紙トレイを選択）→<OK>**
【記録紙トレイ #2】は、オプションの増設記録紙トレイを装着したときのみ表示され、選択できます。

2 **<▲>または<▼>（記録紙サイズを選択）→<OK>**

3 <停止/終了>を押す

補足

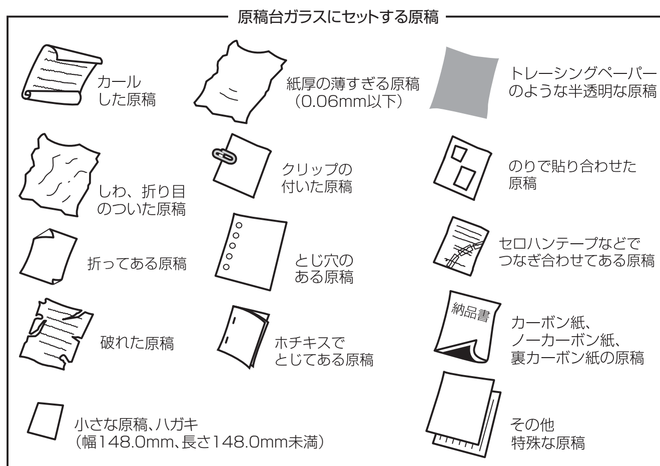
- 記録紙サイズを【フリー】にする場合、記録紙トレイを【多目的トレイ】に設定してください。
- N in 1 コピーをする場合、記録紙サイズを【フリー】に設定することはできません。
- 記録紙トレイを【記録紙トレイ #2】（オプションの増設記録紙トレイ装着時）にする場合、【A5 L（A5（横置き））】、【A6】、【B6】、【ハガキ】を設定することはできません。

原稿の基本

原稿セットで注意すること

インク、修正液、のりなどが付いている原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットするときに注意することは、以下のとおりです。

- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿を強く押しこまないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、原稿台ガラスを使用してください。ADF（自動原稿送り装置）では、キャリアシート（市販品）はお使いになれません。



注意

コピーについて

法律によりコピーが禁じられている物があります。以下のような物のコピーには注意してください。

- 法律で禁止されている物（絶対にコピーしないでください）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債、地方債
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やハガキ（郵便事業株式会社製　通常郵便葉書）
  - 政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- 著作権のある物
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内での使用目的以外でコピーすることは禁止されています。
- その他の注意を要する物
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類

原稿をセットする

原稿をセットするには、ADF（自動原稿送り装置）または、原稿台ガラスの2つの方法があります。原稿の種類や形状に応じてどちらかを選択してください。
セットできる原稿については、⇒33ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

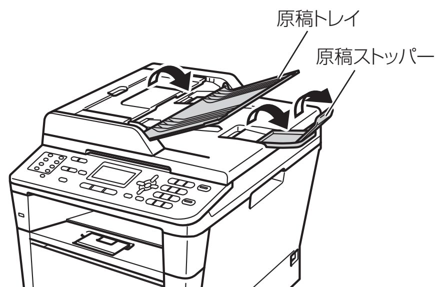
補足

原稿台ガラスやスキャナー読み取り部が汚れていると、印字品質に影響することがあります。原稿台ガラスやスキャナー読み取り部の清掃については、⇒69ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）にセットする

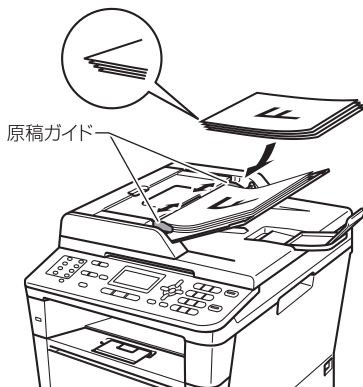
原稿は一度に35枚までセットできます。

1　原稿トレイと原稿ストッパーを開ける



2　原稿の読み取る面を上にしてイラストのように原稿の先端をずらし、原稿の先端が軽く当たるまで差し込む

原稿ガイドは原稿の幅に合わせます。



原稿台ガラスにセットする

原稿は1枚ずつセットします。本または厚い原稿なども原稿台にセットします。

！ 重 要

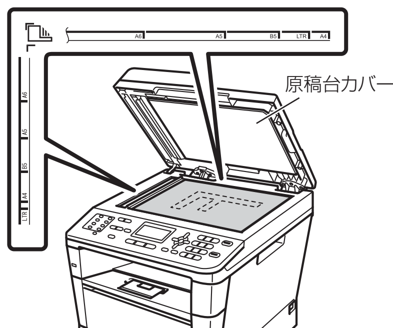
本や厚みのある原稿のときには、原稿台カバーをていねいに閉じてください。また、上からあまり強く押さないでください。

注 意

原稿台カバーは必ず閉じてからファクス送信、コピー、またはスキャンをしてください。開いたままですと画像が黒くなることがあります。

1　原稿台カバーを持ち上げる

2　原稿ガイド左奥に合わせて、原稿の読み取る面を下にセットする



3 原稿台カバーを閉じる

本や厚みのある原稿のときは、原稿台カバーを無理に閉じずに軽く押さえてください。



原稿の読み取り設定をする

使用状況に応じて原稿の読み取り設定をしてください。

原稿台スキャンサイズを設定する

原稿台ガラスからファクスやコピー、スキャンをする場合の原稿読み取りサイズを選択することができます。

1 <メニュー>→<1>→<9>→<1>を押す

2 <▲>または<▼>で読み取りサイズを選択して、<OK>を押す

3 <停止/終了>を押す

ファクス送信の基本

基本的なファクス送信の流れと機能を説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。
また、本製品はIPファクス※に対応しています。IPファクスを使ってファクス送信することができます。IPファクスを使ってのファクス送信の操作は、通常のファクス送信の操作と同じです。

※：IPファクスをご利用いただくには、NTTのフレッツ光ネクストに契約する必要があります。フレッツ光ネクストについてのご質問は、NTTにお問い合わせください。

ファクス送信の流れ

ファクス送信には、自動送信と手動送信があります。ここでは自動送信を例に操作の流れを説明します。
手動送信については、⇒39ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。

注意

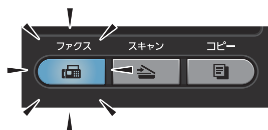
原稿台ガラスを使って複数枚の原稿を送信するときは、リアルタイム送信は【オフ】にしてください。リアルタイム送信については⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

補足

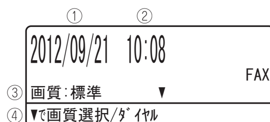
- 【メモリがいっぱいです】が表示されたときは、本製品のメモリがいっぱいです。メモリに蓄積したファクスを出力してメモリを消去してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- メモリに読み込み可能な原稿の枚数はファクス画質と原稿の内容により影響を受けます。

STEP 1　ファクスモードに切り替える

操作パネルの < ファクス > を押してファクスモードに切り替えます。ファクス操作を行う場合には、必ずファクスモードになっていることを確認してください。



ファクスモードに切り替えると、液晶ディスプレイはファクス標準画面に切り替わります。



①：年 / 月 / 日

②：現在の時刻

③：設定したファクス送信の画質モード

④：ボタンの操作

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● **ADF（自動原稿送り装置）にセットする**

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してファクスできます。

● **原稿台ガラスにセットする**

1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもファクスできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、
⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　ファクス送信の機能を設定する

必要に応じてファクスの送り方を設定します。

● 送信条件

■同じ原稿を複数の相手に送信する〔同報送信〕
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿を読み取りながら送信する〔リアルタイム送信〕
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■相手の操作で原稿を送信する〔ポーリング送信〕
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■海外へ送信する〔海外送信モード〕
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■指定時刻に送信する〔タイマー送信〕
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■メモリ内の文書を同じ相手に一括送信する〔とりまとめ送信〕
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■送付書をつけて送信する
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■IP ファクスを使ってファクス送信する
　⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」
　ただし、以下の 2 つの条件を満たす必要があります。
- 送信先の機器が次世代ネットワーク（NGN）に接続している
  ⇒ 21 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」
- TCP/IP 設定の IP 取得方法が、【Auto】または【DHCP】に設定されている
  ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」

● 原稿読み取り

■画質　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿濃度　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■原稿台ガラスの読み取りサイズ
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■両面読み取り
　両面原稿を送信するときは < 両面 > を押します。
　また、原稿の読み取り方向を設定する必要があります。
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

● 宛先情報の表示

■ファクス送信の宛先情報を液晶ディスプレイに表示する
　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

ポイント

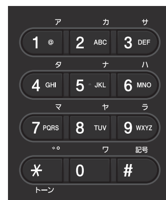
複数の設定を組み合わせたいとき

設定後、<1> を押して他の機能を設定します。他の機能を設定しないときは、<2> を押した後、「STEP4 宛先を指定する」に進みます。

STEP 4　宛先を指定する

● 直接入力

■ダイヤルボタンを使用する
ダイヤルボタンで相手のファクス番号を直接ダイヤルします。



● 電話帳を利用

■本製品の電話帳に宛先を登録する
⇒ 46 ページ「電話帳の基本」

■ワンタッチダイヤルを使用する
⇒ 39 ページ「ワンタッチダイヤルを使用する」

■短縮ダイヤルを使用する
⇒ 39 ページ「短縮ダイヤルを使用する」

■電話帳から検索する
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■LDAP サーバー※電話帳を使用する
本製品が LDAP サーバーと接続されている場合にのみ使用できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

※：LDAPサーバーを使用する場合は、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「LDAP サーバーを使用する」を参照してください。

● その他

■同じ相手にもう一度送信する〔再ダイヤル〕 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

■チェーンダイヤルを使用する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」

STEP 5　スタートする

● ADF（自動原稿送り装置）から送信するとき

<スタート> を押して、ファクスを開始します。
正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● 原稿台ガラスから送信するとき

<スタート> を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が 1 枚のとき

  <2>、または <スタート> を押して、ファクスを開始します。

- 原稿が複数枚のとき

  <1> を押して、次の原稿をセットした後、<OK> を押します。

  この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2> または <スタート> を押して、ファクスを開始します。

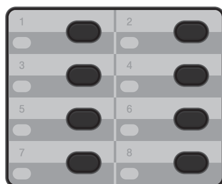
ポイント

ファクス送信を途中で中止したいとき
<停止 / 終了> → <1> を押します。

ワンタッチダイヤルを使用する

ワンタッチボタン（1～16）を押すだけで、登録されているファクス番号やEメールアドレスを指定することができます。
ワンタッチダイヤルの指定のしかたは以下のとおりです。

- 1～8を指定するとき
  ワンタッチボタンを押します。
- 9～16を指定するとき
  <シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。



補足

- ワンタッチダイヤルの登録のしかたは⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」を参照してください。
- E メールアドレスは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に登録・指定することができます。インターネットファクス機能については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

短縮ダイヤルを使用する

<▲>を2回押した後、短縮番号（001～300）を押すだけで、登録されているファクス番号やEメールアドレスを指定することができます。短縮ダイヤルには最大300件登録できます。

補足

- 短縮ダイヤルの登録のしかたは⇒ 48 ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。
- E メールアドレスは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に登録・指定することができます。インターネットファクス機能については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

ファクスを手動で送信する

ファクスを手動で送信する場合は、<オンフック>を押して相手先の受信音を確認してから送信します。

1 ファクスモードに切り替えて、原稿をセットする

2 < オンフック > を押して、相手先のファクス番号を入力する

3 相手先の受信音（ピー）を確認して <スタート>を押す

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、選択画面で<1>を押します。

補足

- ファクス送信が終了すると自動的に回線は切れます。
- IPファクスの設定にかかわらず、通常のファクス送信になります。

ファクス送信を中止する

原稿の読み込みや送信を途中で中止します。

1 <停止/終了>を押す

ファクス受信の基本

ファクス受信の流れ

受信モードの設定の流れを説明します。受信モードを設定すると、電話モード以外では自動的にファクスを受信します。ここでは、受信したファクスを自動的に本製品の記録紙で印刷する自動受信を例に操作の流れを説明します。他に本製品のメモリで受信するメモリ受信、受信操作を自分で行う手動受信、本製品に接続されている電話機を使用して受信操作を行うリモート受信などさまざまな受信方法があります。詳しくは⇒ユーザーズガイド応用編「ファクス受信」を参照してください。



ファクス受信に使用できる記録紙のサイズは、A4、USレター、リーガル、またはフォリオです。

STEP 1　受信モードを選ぶ

本製品の受信モードには以下の 4 つの種類があります。

使用目的に応じて、受信モードを選択します。

⇒ 41 ページ「受信モードの種類」

● **お使いの電話機を本製品と接続しない場合**

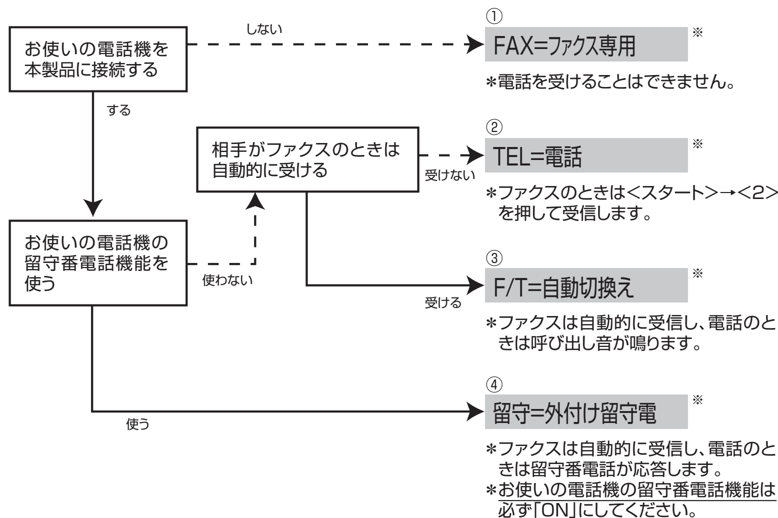
① ファクス専用モード

● **お使いの電話機を本製品と接続する場合**

② 電話モード

③ 自動切換えモード

④ 外付け留守電モード



※：受信モード設定時、液晶ディスプレイに表示される選択項目です。

STEP 2　受信モードを設定する

STEP1 で選択したモードに合わせて、本体を設定します。

⇒ 45 ページ「受信モードを設定する」

STEP 3　受信するファクスの印刷方法を設定する（必要に応じて）

必要に応じて、ファクスの印刷方法を設定します。

■自動的に縮小して印刷する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■印刷の濃さを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信スタンプを設定する　⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」
■受信したファクスを両面印刷する　⇒ 45 ページ「受信したファクスを両面印刷する」

受信モードの種類

ファクス専用モード

本製品をファクス専用として使用するモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

呼び出しベルが設定した回数だけ鳴ります。（呼び出しベル回数は0～10回の中から選択できます。）

→ **相手がファクスのとき**
自動で受信します。

→ **相手が電話のとき**
「ピー」という応答音だけを相手に返します。

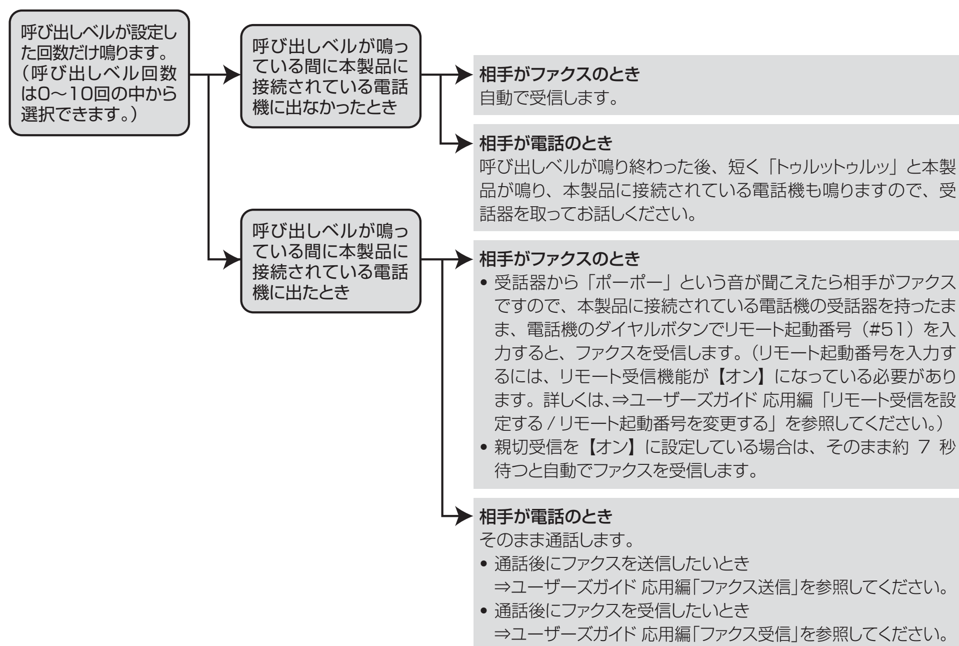
補足

● ファクス専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話機を本製品に接続してお使いになるときは、ファクス専用モードに設定しないでください。

● 呼び出し回数は、0～10回の中から選択できます。0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出し回数を0回か1回に設定してください。呼び出し回数の設定のしかたは⇒45ページ「呼び出し回数を設定する」を参照してください。

自動切換えモード

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは本製品に接続されている電話機を呼び出す便利なモードです。

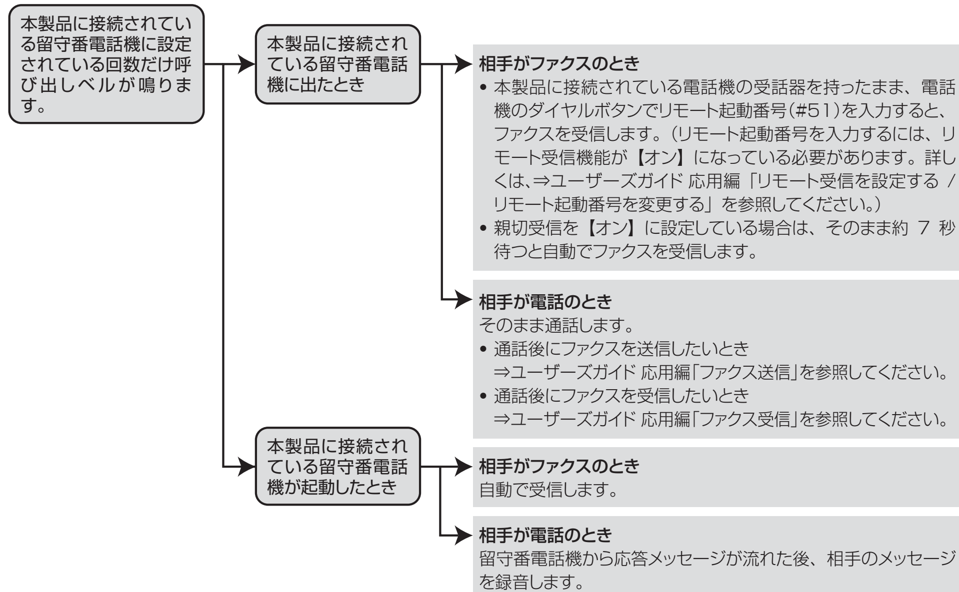


補足

- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、< スタート > → <2> を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから<スタート>→<2>を押してください。
  ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信を【オン】に設定しているとき　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 呼び出し回数の設定のしかたは⇒45ページ「呼び出し回数を設定する」を参照してください。
- 電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らし、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス無鳴動受信を設定する」を参照してください。
- 自動切換えモードでは、本製品に接続されている電話機に出なかったときでも相手に通話料金がかかります。
- 回線状態により「ポーポー」という音が聞こえてもファクスに切り替わらない場合があります。そのときは <スタート>→<2>を押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り替わってしまうときは、親切受信の設定を【オフ】にしてください。
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。
- 呼び出し回数を 7 回以上に設定すると、特定の相手からのファクスが受信できない場合があります。呼び出し回数を 6 回以下に設定することをおすすめします。
- 本製品と接続している電話機によっては電話機から呼び出しベルが鳴らない場合があります。このときは、呼び出し回数の設定を長めにしてください。
- 本製品に複数台の電話機を接続したときは、お使いの電話機のベルが鳴らない場合があります。

外付け留守電モード

ファクスを自動で受けたい場合、また、本製品に接続されている留守番電話機で電話やメッセージを受けたい場合に適したモードです。



注意

本製品に接続されている留守番電話機の設定に関する留意点を以下に示します。

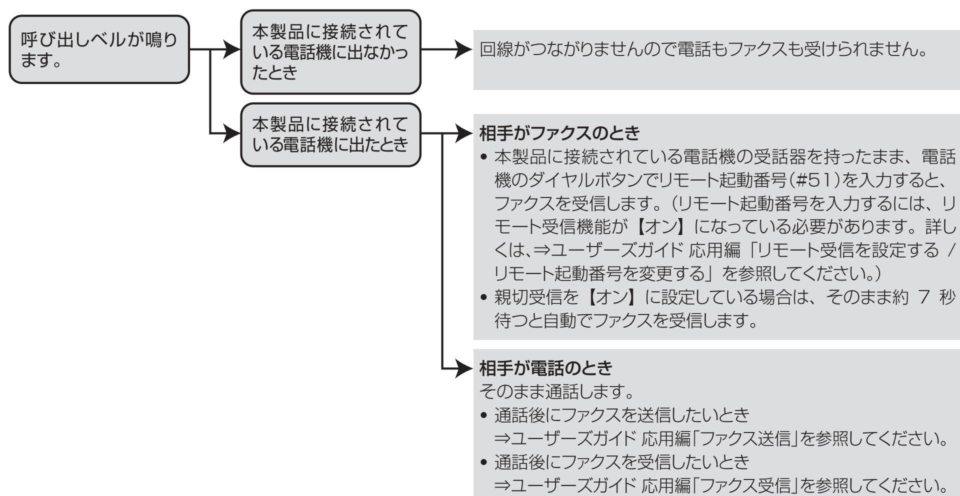
- 留守番電話機の設定は「留守」にしておいてください。
- 応答するまでのベル回数は短め(1〜2回)に設定してください。
- 応答メッセージは、最初に4、5秒くらい無音状態を入れ、できるだけ短め(20秒以内)に録音してください。
- 応答メッセージには、BGMを録音しないでください。
- 録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

補足

- ADF(自動原稿送り装置)に原稿がセットされていると、<スタート>→<2>を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから<スタート>→<2>を押してください。
  ただし、以下の場合はADF(自動原稿送り装置)に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信を【オン】に設定しているとき　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- メッセージがいっぱいで留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも自動的には応答しません。
- 留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能(転送機能など)が生じる場合があります。

電話モード

本製品に接続されている電話機に出た後、手動でファクスが受けられます。主に、本製品に接続した電話機を使い、ファクスはあまり受けない場合に適したモードです。



補足

ファクス受信について

- 本製品に接続されている電話機で電話に出たときもファクス受信できます。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
- ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていると、< スタート > → <2> を押してのファクス受信はできません。原稿を取り除いてから<スタート>→<2>を押してください。
  ただし、以下の場合はADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされていてもファクス受信します。
  - 親切受信を【オン】に設定しているとき　⇒ユーザーズガイド 応用編「親切受信で受信する」
  - リモート受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「リモート受信の操作のしかた」
  - 自動受信　⇒ユーザーズガイド 応用編「さまざまな受信方法」
- 相手が手動送信ファクスの場合は、受話器を取っても無音のときがあります。相手が電話でないことを口頭で確認して<スタート>→<2>を押してください。

キャッチホン※契約をされているとき

- NTTとキャッチホンまたはキャッチホンⅡの契約をされている方は、キャッチホン/キャッチホンⅡサービスを利用することができます（局番なしの116番にお問い合わせください）。
- キャッチホンの具体的な操作方法については、お使いの電話機の操作方法に従ってください。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンⅡのご利用をおすすめします。
- キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかる場合がありますので、最初の相手との通話が終わってからファクス受信することをおすすめします。

※：「キャッチホン」はNTTの登録商標です。ご利用の電話会社によっては同様のサービスでも名称が異なることがあります。

受信モードを設定する

1 **<メニュー >→<0>→<1>を押す**

2 **<▲>または<▼>で受信モードを選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

- 選択した受信モードは、液晶ディスプレイに日付、時刻とともに表示されます。
- 【FAX=ファクス専用】以外を設定した場合は、必ず電話機を本製品に接続してください。

呼び出し回数を設定する

受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T=自動切換え】のときに、自動受信するまでの呼び出し回数を設定します。

1 **<メニュー >→<2>→<1>→<2>を押す**

2 **<▲>または<▼>で呼び出し回数を選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

- 呼び出し回数は、0回に設定すると呼び出しベルを鳴らさずに自動受信することができます。ファクスを早く受信したいときは呼び出し回数を0回か1回に設定してください。
- 本製品に電話機を接続している場合、本製品の呼び出し回数を0回に設定しても本製品に接続されている電話機のベルが1～2回鳴ることがあります。
- 呼び出し回数を7～10回に設定すると、特定の相手からのファクスが自動で受信できない場合があります。呼び出し回数を6回以下に設定されることをおすすめします。
- 受信モードが【FAX=ファクス専用】や【F/T=自動切換え】のとき、本製品に接続されている電話機の呼び出しベルも、ここで設定された回数だけ呼び出しベルが鳴ります。
- ベルの音量を設定するには⇒ユーザーズガイド 応用編「着信音量を設定する」を参照してください。

再呼び出し回数を設定する

受信モードが【F/T=自動切換え】のときに電話がかかってくると、呼び出しベルの後に、「トゥルットゥルッ」と呼び出しベルが鳴ります。このベルの鳴る回数を設定します。

1 **<メニュー >→<2>→<1>→<3>を押す**

2 **<▲>または<▼>で再呼び出し回数を選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

本製品に接続されている電話機に出なかった場合は、設定した回数だけ再呼び出しベルが鳴った後、自動的に電話が切れます。

受信したファクスを両面印刷する

受信したファクスを出力するとき、両面印刷するように設定できます。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ（60g/m^2 ～ 105g/m^2）のみです。

1 **<メニュー >→<2>→<1>→<0>を押す**

2 **<▲>または<▼>で【オン】を選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

補足

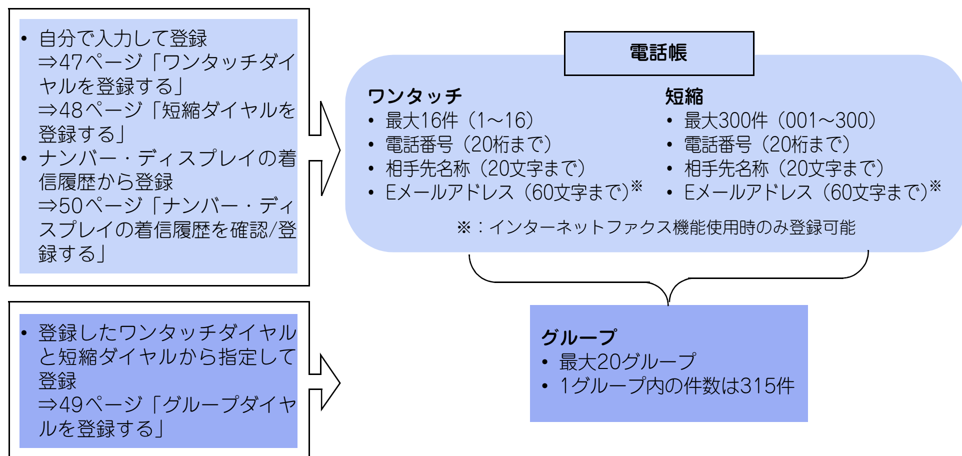
両面印刷を【オン】にすると【自動縮小】の設定に関係なく、内部的に【自動縮小】が【オン】と同じ状態で印刷されます。

電話帳の基本

電話帳について

本製品の電話帳に相手先情報を登録する方法や、電話帳を編集する方法について説明します。
電話帳に相手先の情報を登録するには、以下の図のようにワンタッチ、短縮のいずれかに登録する必要があります。
グループダイヤルは、ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録します。
電話帳を使用してファクス送信をする方法は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
また、本製品はインターネットファクス機能※1に対応しております。インターネットファクス機能を使用することにより、LDAPサーバー※2を使用したり、インターネット経由でファクス送信することができます。LDAPサーバー、インターネットファクス機能を使用する場合は、下記サイトからインターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をダウンロードしてください。
サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）　http://solutions.brother.co.jp/

※1：インターネットファクス機能の詳細については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。
※2：ネットワーク上のLDAPサーバーに接続することで、LDAPサーバーの電話帳データ（電話番号やEメールアドレス）を流用することができます。LDAPサーバーの詳細については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「LDAPサーバーを使用する」を参照してください。



電話帳に登録する

注意

■電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの名前/着信履歴が正しく表示されない場合があります。

■電話番号およびファクス番号を間違って登録しないよう注意してください。電話番号およびファクス番号を登録した後、電話帳リストを印刷して確認してください。

■登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。送付書については⇒ユーザーズガイド 応用編「送付書を付けて送信する」を参照してください。

補足

● ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録する場合で、ダイヤル回線をお使いのときは、情報番号の前に<＊>を押してください。

● 文字入力のしかたについては⇒ユーザーズガイド 応用編「文字を入力する」を参照してください。

● 電話帳は、リモートセットアップやウェブブラウザー設定から登録することもできます。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」を参照してください。

● ポーズを入力するには、<再ダイヤル / ポーズ>を押します。液晶ディスプレイに【p】が表示されます。

● 登録内容を忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷して確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストを印刷する」を参照してください。

● ADF（自動原稿送り装置）に原稿がセットされている場合、ワンタッチダイヤル、または短縮ダイヤルを登録するときは、<メニュー>を押してから登録してください。詳しくは、⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」、または⇒48ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。

ワンタッチダイヤルを登録する

20桁までの電話番号または60文字までのEメールアドレスと、漢字10文字（かな20文字）までの相手先の名称を、1～16（最大16件）に登録することができます。

補足

Eメールアドレスは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に登録することができます。インターネットファクス機能については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

1 登録するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

- インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合は、手順4に進んでください。
- 9～16に登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- すでにワンタッチダイヤルが登録されている場合、登録内容が表示されます。
- 登録内容を変更する場合は⇒ 51 ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー >→<2>→<3>→<1>からも登録することができます。

2 <▲>または<▼>を押して【ファクス/電話】、【インターネット ファクス】、【Eメール（ファイル形式）】のいずれかを選択し、<OK>を押す

【ファクス/電話】を選択した場合は、手順4に進んでください。

3 相手先のEメールアドレスを入力して<OK>を押す

- 手順４の２以降に準じて必要な情報を登録してください。
- Eメールアドレスは60文字まで入力できます。

補足

●【インターネット ファクス】を選択して登録したEメールアドレスは、ファクスモードの場合にのみ使用できます。

●【Eメール（ファイル形式）】を選択して登録したEメールアドレスは、スキャンモードの場合にのみ使用できます。

4 以下の手順で情報を登録する

1 **電話番号（20桁まで）を入力→<OK>**
カッコ【()】、ハイフン【-】は入力できません。

2 **名前を入力→<OK>**
- 名前は漢字10文字（かな20文字）まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま <OK> を押してください。

3 **読みがなを入力→<OK>**

4 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。
- **インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合：**
【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】、【写真】から選択します。
設定メニューが終了します。
- **【ファクス／電話】の場合：**
【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】、【写真】から選択します。
設定メニューが終了します。
- **【インターネット ファクス】の場合：**
【標準】、【ファイン】、【写真】から選択します。
設定メニューが終了します。
- **【Eメール カラー PDF】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順5へ進んでください。
- **【Eメール カラー JPEG】または【Eメール カラー XPS】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択します。
設定メニューが終了します。
- **【Eメール グレー PDF】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順5へ進んでください。
- **【Eメール グレー JPEG】または【Eメール グレー XPS】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択します。
設定メニューが終了します。
- **【Eメール モノクロ PDF】の場合：**
【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順5へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ TIFF】の場合：**
【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択します。
設定メニューが終了します。

5 <▲>または<▼>を押してPDF形式を選択し、<OK>を押す

短縮ダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルとは別に電話番号または60文字までのEメールアドレスと、相手先の名称を、001～300（最大300件）に登録することができます。

補足

Eメールアドレスは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に登録することができます。インターネットファクス機能については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

1 <▲>を2回押して、登録する短縮番号（001～300）をダイヤルボタンで入力した後、<1>を押す

- インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合は、手順4に進んでください。
- すでに短縮ダイヤルが登録されている場合、登録されている内容が表示されます。
- 登録内容を変更する場合は⇒52ページ「短縮ダイヤルを編集する」を参照してください。
- <メニュー>→<2>→<3>→<2>からも登録することができます。

2 <▲>または<▼>を押して【ファクス/電話】、【インターネット ファクス】、【Eメール（ファイル形式）】のいずれかを選択し、<OK>を押す

【ファクス/電話】を選択した場合は、手順4に進んでください。

3 相手先のEメールアドレスを入力して<OK>を押す

- ⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順4の2以降に準じて必要な情報を登録してください。
- Eメールアドレスは60文字まで入力できます。

補足

- 【インターネット ファクス】を選択して登録したEメールアドレスは、ファクスモードの場合にのみ使用できます。
- 【Eメール（ファイル形式）】を選択して登録したEメールアドレスは、スキャンモードの場合にのみ使用できます。

4 ⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」の手順4以降に準じて必要な情報を登録する

グループダイヤルを登録する

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録した複数の相手先を、まとめて1つのグループとして登録します。これをグループダイヤルといいます。
送信のたびに複数の相手先を指定する必要がなく、グループを指定するだけで送信できます。同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。
グループダイヤルは、1～20（最大20グループ）に登録することができます。

注意

グループダイヤルに登録するためには、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルを登録しておく必要があります。ダイヤル番号またはEメールアドレスをそのままグループダイヤルに登録することはできません。
ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの登録方法については⇒47ページ「ワンタッチダイヤルを登録する」、⇒48ページ「短縮ダイヤルを登録する」を参照してください。

1 <メニュー >→<2>→<3>→<3>を押す

2 グループダイヤルとして登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択する

- **ワンタッチダイヤルに登録するとき**
  ワンタッチボタンを押します。
  9～16を登録するときは、<シフト>を押しながらワンタッチボタンを押します。
- **短縮ダイヤルに登録するとき**
  <▲>を押して短縮番号（001～300）を入力した後、<OK>を押します。

3 グループ番号（01 ～ 20）をダイヤルボタンで入力して、<OK>を押す

- インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合は、手順5に進んでください。
- すでに登録しているグループ番号を入力したときは【やり直してください】が表示されます。登録されていないグループ番号を選んでください。

4 <▲>または<▼>を押して【ファクス/IFAX】、【Eメール（ファイル形式）】のいずれかを選択し、<OK>を押す

5 グループに登録するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを入力する

1つのグループには、最大315件まで登録できます。

例）ワンタッチボタンの <5> と短縮ダイヤルの【009】をグループダイヤルに登録したい場合

- **ワンタッチボタンの<5>→<▲>→<0>→<0>→<9>の順に押します。**

補足

手順4で【ファクス/IFAX】を選択したときは、電話帳登録の際に【ファクス/電話】、【インターネット ファクス】を選択したワンタッチ・短縮ダイヤルしかグループ登録できません。また、【Eメール（ファイル形式）】を選択したときも同様に、【Eメール】で登録されているワンタッチ・短縮ダイヤルしか同じグループ内には登録できません。

6 登録したいワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルをすべて入力したら、<OK>を押す

7 以下の手順で情報を登録する

1 **グループ名を入力→<OK>**
グループは漢字10文字（かな20文字）まで登録できます。

2 **読みがなを入力→<OK>**

3 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。

- **インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合：**
【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】、【写真】から選択し、手順9へ進んでください。
- **【ファクス／IFAX】の場合：**
【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】※、【写真】から選択し、手順9へ進んでください。
※：IFAX（Eメールアドレスの登録）の場合は、【スーパーファイン】は選択できません。
- **【Eメール カラー PDF】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順8へ進んでください。
- **【Eメール カラー JPEG】または【Eメール カラー XPS】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順9へ進んでください。
- **【Eメール グレー PDF】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順8へ進んでください。
- **【Eメール グレー JPEG】または【Eメール グレー XPS】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順9へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ PDF】の場合：**
【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順8へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ TIFF】の場合：**
【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順9へ進んでください。

8 <▲>または<▼>を押してPDF形式を選択し、<OK>を押す

9 <停止/終了>を押す

注意

グループダイヤルとして使用されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを、さらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を確認/登録する

ナンバー・ディスプレイの着信履歴を利用して以下の機能が利用できます。

- 着信履歴を検索する
- 電話番号をワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録する
- 着信履歴リストを印刷する⇒ユーザーズガイド 応用編「レポート・リストを印刷する」

1 <シフト>を押しながら<▼>を押す

2 <▲>または<▼>で電話番号を選択して<OK>を押す

確認の場合は、確認を終えたら手順6へ進んでください。

3 <OK>を押す

4 ワンタッチダイヤルに登録する場合は<1>を、短縮ダイヤルに登録する場合は<2>を押す

5 以下の手順で情報を登録する

1 **名前を入力→<OK>**
- 名前は漢字10文字（かな20文字）まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま　<OK>を押してください。

2 **読みがなを入力→<OK>**

3 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。

6 <停止/終了>を押す

注意

【外付け電話優先】でご使用の場合は、着信履歴が本製品に接続されている電話機に残りますので、本製品で着信履歴を利用することはできません。

電話帳を編集する

ワンタッチダイヤルを編集する

1 <メニュー>→<2>→<3>→<1>を押す

2 変更するワンタッチボタンを押して、<1>を押す

インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合は、手順5に進んでください。

補足

ワンタッチダイヤルを削除するには
登録しているワンタッチダイヤルを削除するには、<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

3 <▲>または<▼>を押して【ファクス/電話】、【インターネット ファクス】、【Eメール（ファイル形式）】のいずれかを選択し、<OK>を押す

【ファクス/電話】を選択した場合は、手順5に進んでください。

4 相手先のEメールアドレスを入力して<OK>を押す

- 手順５の２以降に準じて必要な情報を登録してください。
- E メールアドレスは 60 文字まで入力できます。

補足

E メールアドレスは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に登録することができます。インターネットファクス機能については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

5 以下の手順で情報を変更する

1 **電話番号（20桁まで）を入力→<OK>**
カッコ【()】、ハイフン【-】は入力できません。

2 **名前を入力→<OK>**
- 名前は漢字10文字（かな20文字）まで登録できます。
- 名前を入力しない場合はそのまま <OK>を押してください。

3 **読みがなを入力→<OK>**

4 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。
- **インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合：**
【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】、【写真】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【ファクス／電話】の場合：**
【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】、【写真】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【インターネット ファクス】の場合：**
【標準】、【ファイン】、【写真】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【Eメール カラー PDF】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順6へ進んでください。
- **【Eメール カラー JPEG】または【Eメール カラー XPS】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【Eメール グレー PDF】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順6へ進んでください。
- **【Eメール グレー JPEG】または【Eメール グレー XPS】の場合：**
【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ PDF】の場合：**
【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順6へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ TIFF】の場合：**
【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順7へ進んでください。

補足

電話番号、名前、読みがな、またはファクスの解像度を変更しない場合は、そのまま<OK>を押してください。

6 **<▲>または<▼>を押してPDF形式を選択し、<OK>を押す**

続けて編集する場合は、必要に応じて手順2～6を繰り返します。

補足

PDF形式を変更しない場合は、そのまま<OK>を押してください。

7 **<停止/終了>を押す**

短縮ダイヤルを編集する

1 **<メニュー>→<2>→<3>→<2>を押す**

2 **変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力して、<OK>を押した後、<1>を押す**

インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合は、手順5に進んでください。

補足

短縮ダイヤルを削除するには

登録している短縮ダイヤルを削除するには、<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

3 **<▲>または<▼>を押して【ファクス/電話】、【インターネット ファクス】、【Eメール（ファイル形式）】のいずれかを選択し、<OK>を押す**

【ファクス/電話】を選択した場合は、手順5に進んでください。

4 **相手先のEメールアドレスを入力して<OK>を押す**

- ⇒51ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」の手順5の2以降に準じて必要な情報を登録してください。
- Eメールアドレスは60文字まで入力できます。

補足

Eメールアドレスは、インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に登録することができます。インターネットファクス機能については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「インターネットファクスを使用する」を参照してください。

5 **⇒51ページ「ワンタッチダイヤルを編集する」の手順5以降に準じて必要な情報を変更する**

続けて編集する場合は、必要に応じて手順2～5を繰り返します。

グループダイヤルを編集する

1 **<メニュー>→<2>→<3>→<3>を押す**

2 **変更するグループが登録されているワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択する**

- ワンタッチダイヤルの場合は、ワンタッチボタンを押してください。
- 短縮ダイヤルの場合は、<▲>を押して短縮番号（001～300）を入力した後、<OK>を押してください。

3 **<1>を押す**

インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合は、手順5に進んでください。

補足

グループダイヤルを削除するには

<2>→<1>→<停止/終了>を押してください。

4 **<▲>または<▼>を押して【ファクス/IFAX】、【Eメール（ファイル形式）】のいずれかを選択し、<OK>を押す**

5 以下の手順でグループダイヤルを編集する

- **グループダイヤルに宛先を追加する**
  追加するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤル※を入力→<OK>
  ※：短縮ダイヤルの場合は、<▲>を押して短縮番号を入力してください。
- **グループダイヤルから宛先を削除する**
  <◀>または<▶>（削除するワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを選択）→<クリア>→<OK>

6 以下の手順で情報を変更する

1 **グループ名を入力→<OK>**
グループは漢字10文字（かな20文字）まで登録できます。

2 **読みがなを入力→<OK>**

3 **<▲>または<▼>（ファクスの解像度を選択）→<OK>**
必要に応じて設定します。

- **インターネットファクス機能をダウンロードしていない場合：**
  【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】、【写真】から選択し、手順8へ進んでください。
- **【ファクス／IFAX】の場合：**
  【標準】、【ファイン】、【スーパーファイン】※、【写真】から選択し、手順8へ進んでください。
  ※：IFAX（Eメールアドレスの登録）の場合は、【スーパーファイン】は選択できません。
- **【Eメール カラー PDF】の場合：**
  【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【Eメール カラー JPEG】または【Eメール カラー XPS】の場合：**
  【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【600dpi】、【自動】から選択し、手順8へ進んでください。
- **【Eメール グレー PDF】の場合：**
  【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【Eメール グレー JPEG】または【Eメール グレー XPS】の場合：**
  【100dpi】、【200dpi】、【300dpi】、【自動】から選択し、手順8へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ PDF】の場合：**
  【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順7へ進んでください。
- **【Eメール モノクロ TIFF】の場合：**
  【300dpi】、【200dpi】、【200x100dpi】から選択し、手順8へ進んでください。

補足

グループ名、読みがな、またはファクス解像度を変更しない場合は、そのまま<OK>を押してください。

7 <▲>または<▼>を押してPDF形式を選択し、<OK>を押す

補足

PDF形式を変更しない場合は、そのまま<OK>を押してください。

8 <停止/終了>を押す

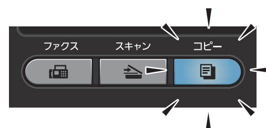
コピーの基本

コピーの流れ

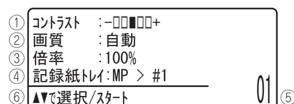
基本的なコピー操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　コピーモードに切り替える

操作パネルの＜コピー＞を押してコピーモードに切り替えます。コピー操作を行う場合には、必ずコピーモードになっていることを確認してください。



コピーモードに切り替えると、液晶ディスプレイはコピー標準画面に切り替わります。



①：コントラスト

②：コピー画質

③：倍率

④：記録紙トレイ

⑤：コピー枚数

⑥：ボタンの操作

STEP 2　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● **ADF（自動原稿送り装置）にセットする**

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してコピーできます。

原稿が正しくセットされると、液晶ディスプレイに【原稿セットOK】が表示されます。

● **原稿台ガラスにセットする**

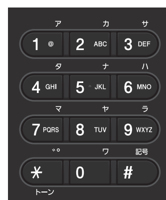
1 枚ずつ原稿を読み取ります。本や厚みのある原稿などもコピーできます。

ADF（自動原稿送り装置）に原稿がないことを確認してください。

⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

STEP 3　部数を入力する

部数（1 ～ 99）をダイヤルボタンで入力します。



ポイント

コピー部数を取り消したいとき

＜停止 / 終了＞を押します。

STEP 4　コピー設定をする

必要に応じてコピーの仕上りかたを設定します。

⇒ 56 ページ「コピー設定について」

● コピーの出力形式を設定したいとき

■ソートコピー　⇒ 57 ページ「1 部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」

■両面コピー　⇒ 58 ページ「両面コピーをする」

■レイアウトコピー（N in 1 コピー）
⇒ 59 ページ「複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1 コピー）〕」

■2 in 1 ID コピー　⇒ 60 ページ「2 in 1 ID コピーをする」

■記録紙タイプ設定　⇒ 31 ページ「記録紙のタイプを設定する」

■記録紙サイズ設定　⇒ 32 ページ「記録紙のサイズを設定する」

■記録紙トレイ設定　⇒ 60 ページ「記録紙トレイを設定する」

● コピーの倍率を変更したいとき

■拡大･縮小コピー　⇒ 57 ページ「拡大･縮小コピーをする」

● コピーの質を調整したいとき

■画質　⇒ 61 ページ「画質を設定する」

■明るさ　⇒ 61 ページ「明るさを設定する」

■コントラスト　⇒ 62 ページ「コントラストを設定する」

STEP 5　スタートする

● **ADF（自動原稿送り装置）からコピーするとき**

<スタート> を押します。

正しく原稿がセットされていない場合は、原稿台ガラスの読み取りがスタートします。

● **原稿台ガラスからコピーするとき**

<スタート> を押します。

ポイント

コピーを途中で中止したいとき

< 停止 / 終了 > を押します。

コピー設定について

必要に応じて、コピーの仕上げに関する設定を行います。
設定には、自分がコピーするときだけ一時的に設定するものと、設定内容を保存していつでも設定した内容でコピーするものの2種類があります。

分類	機能	一時的な設定（操作）	保存する設定（操作）	参照
倍率	拡大/縮小	<コピー>→<拡大/縮小>	–	⇒57ページ「拡大･縮小コピーをする」
出力形式	ソートコピー	<コピー>→<オプション>	–	⇒57ページ「1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕」
	両面コピー	<両面>	–	⇒58ページ「両面コピーをする」
	レイアウトコピー	<コピー>→<オプション>	–	⇒59ページ「複数の原稿を1枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕」
	2 in 1 IDコピー	<コピー>→<オプション>	–	⇒60ページ「2 in 1 IDコピーをする」
	トレイ選択	<コピー>→<オプション>	（<メニュー>→<1>→<6>→<1>）	⇒60ページ「記録紙トレイを設定する」
質	画質	<コピー>→<オプション>	（<メニュー>→<3>→<1>）	⇒61ページ「画質を設定する」
	明るさ	<コピー>→<オプション>	（<メニュー>→<3>→<2>）	⇒61ページ「明るさを設定する」
	コントラスト	<コピー>→<オプション>	（<メニュー>→<3>→<3>）	⇒62ページ「コントラストを設定する」

拡大･縮小コピーをする

一時的に倍率を変えてコピーすることができます。

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **<拡大/縮小>→<▶>を押し、<▲>または<▼>で倍率を選択して、<OK>を押す**

【カスタム】を選択したときは、ダイヤルボタンで倍率（25%～400%）を入力して<OK>を押してください。

補足

<▲>または<▼>で【倍率】を選択後、<▶>を押して<▲>または<▼>で選択することもできます。

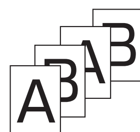
3 **<スタート>を押す**

補足

原稿によっては画像が欠ける場合があります。

1部ごとにコピーする〔ソートコピー〕

コピーした記録紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて出力します。



ソートコピー

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **以下の手順でソートコピーを設定する**

1 **<オプション>**
2 **<▲>または<▼>（【スタック/ソート コピー】を選択）→<OK>**
3 **<▲>または<▼>（【ソートコピー】を選択）→<OK>**

3 **<スタート>を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

補足

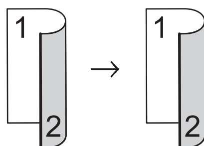
原稿の読み込み中に【メモリがいっぱいです】が表示されたときは⇒95ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

両面コピーをする

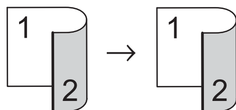
片面2枚の原稿を両面1枚にコピーすることができます。両面コピーはADF（自動原稿送り装置）から原稿送りさせることをおすすめします。
両面印刷ができる記録紙は、A4サイズ（60g/m^2～105g/m^2）のみです。

両面→両面

縦

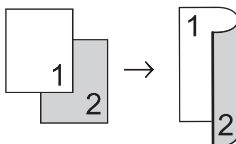


横

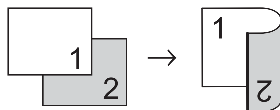


片面→両面 長辺綴じ原稿

縦

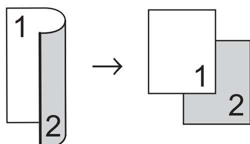


横

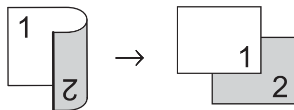


両面→片面 長辺綴じ原稿

縦

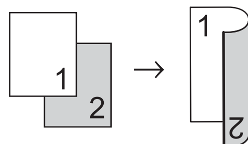


横

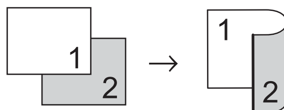


片面→両面 短辺綴じ原稿

縦

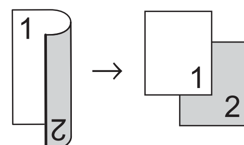


横

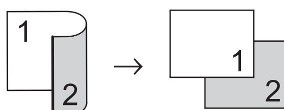


両面→片面 短辺綴じ原稿

縦



横



1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **以下の手順でコピー方法を設定する**

- **長編綴じの場合**
  1 <両面>
  2 <▲>または<▼>（コピー方法を選択）→<OK>
- **短編綴じの場合**
  1 <両面>
  2 <▲>または<▼>（【拡張設定】を選択）→<OK>
  3 <▲>または<▼>（コピー方法を選択）→<OK>

3 **<スタート>を押す**

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。

この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

補足

原稿台ガラスからの両面コピーは、「片面→両面」のみです。

複数の原稿を１枚にまとめてコピーする〔レイアウトコピー（N in 1コピー）〕

2枚または4枚の原稿を1枚にコピーすることができます。コピーのしかたは以下の種類から選択できます。

補足

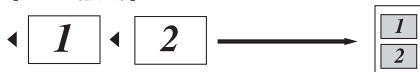
2 in 1 IDコピーの場合は、⇒60ページ「2 in 1 IDコピーをする」を参照してください。

ADF（自動原稿送り装置）の場合

【2in1（縦長）】



【2in1（横長）】



【4in1（縦長）】



【4in1（横長）】

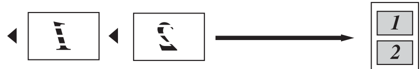


原稿台ガラスの場合

【2in1（縦長）】



【2in1（横長）】



【4in1（縦長）】



【4in1（横長）】



1 コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する

2 以下の手順でレイアウトコピーを設定する

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（【レイアウト コピー】を選択）→<OK>
3 <▲>または<▼>（レイアウトを選択）→<OK>

3 <スタート>を押す

原稿を原稿台ガラスにセットしている場合は<1>を押して、次の原稿をセットした後、<OK>を押します。
この操作を繰り返し、最後の原稿を読み取ったら、<2>を押します。

補足

- レイアウトコピー（N in 1コピー）では、拡大／縮小機能は使えません。
- 記録紙のサイズは「A4」または「USレター」がセットされていることを確認してください。

2 in 1 IDコピーをする

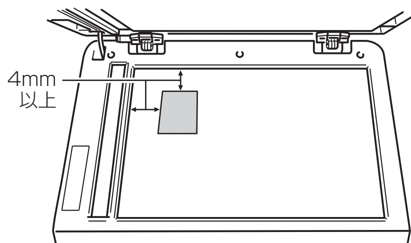
ID カードや身分証明書などカードサイズの裏表を、そのサイズのままコピーすることができます。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。ADF（自動原稿送り装置）からコピーはできません。

補足
IDカードや身分証明書などの個人情報の取り扱いには十分、注意してください。

1 **コピーモードに切り替えて、部数を入力する**

2 **原稿台ガラスの左側に、裏向きにして印刷するカードをおく**

イラストのように、原稿台ガラスの左上に、端から4mm以上空けてカードをセットしてください。



3 **以下の手順でレイアウトコピーを設定する**

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（【レイアウト コピー】を選択）→<OK>
3 <▲>または<▼>（【2in1（IDカード）】を選択）→<OK>

補足
【2in1（IDカード）】を選択すると、画質の設定は【写真】、コントラストの設定は【−□□□□■+】になります。

4 **<スタート>を押す**

カードの片面のスキャンが終わると、液晶ディスプレイに【IDカードを裏返してください　スタートボタンを押してください】が表示されます。

5 **原稿台ガラスのカードを裏返して<スタート>を押す**

記録紙トレイを設定する

一時的に設定する

コピーするときに使用するトレイを、一時的に変更することができます。

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **以下の手順でトレイを設定する**

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（【トレイ 選択】を選択）→<OK>
3 <◀>または<▶>（トレイを選択）→<OK>

3 **<スタート>を押す**

補足
- 【A>B】を選択すると、A トレイ、B トレイの順に記録紙を給紙します。
- 【＃2】は、オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときに表示されます。

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 **<メニュー>→<1>→<6>→<1>を押す**

2 **<▲>または<▼>で記録紙トレイを選択して、<OK>を押す**

<OK>を押すと、設定した内容が保存されます。

3 **<停止/終了>を押す**

画質を設定する

【画質】の設定を変更します。
画質は以下の中から選択することができます。

- 【自動】：
  自動的に画質を調整します。
- 【テキスト】：
  薄い文字をはっきりと印刷します。
- 【写真】：
  グラデーションをきれいに印刷します。
- 【カーボン】：
  カーボン紙の文字をきれいに印刷します。

一時的に設定する

一時的に画質を変えてコピーすることができます。

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **以下の手順で画質を設定する**

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（【コピー画質】を選択）→<OK>
3 <◀>または<▶>（画質を選択）→<OK>

3 **<スタート>を押す**

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 **<メニュー>→<3>→<1>を押す**

2 **<▲>または<▼>で画質を選択して、<OK>を押す**

<OK> を押すと、設定した内容が保存されます。

3 **<停止/終了>を押す**

明るさを設定する

一時的に設定する

一時的に明るさを変えてコピーすることができます。
明るさは以下のように設定することができます。

- <▶>：
  明るくなります。
- <◀>：
  暗くなります。

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **以下の手順で明るさを設定する**

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（【明るさ】を選択）→<OK>
3 <◀>または<▶>（明るさを選択）→<OK>

3 **<スタート>を押す**

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 **<メニュー>→<3>→<2>を押す**

2 **<◀>または<▶>で明るさを選択して、<OK>を押す**

3 **<停止/終了>を押す**

コントラストを設定する

【コントラスト】の設定を変更します。
コントラストは以下のように設定することができます。

- ＜▶＞：
  原稿の濃淡がよりはっきりとなります。
  （濃い部分はより濃く、薄い部分はより薄くなります。）
- ＜◀＞：
  原稿の濃淡の差が少なくなります。
  （濃い部分と薄い部分の差がなくなり、同じような濃淡になります。）

一時的に設定する

一時的にコントラストを変えてコピーすることができます。

1 **コピーモードに切り替えて、原稿をセットした後、部数を入力する**

2 **以下の手順でコントラストを設定する**

1 <オプション>
2 <▲>または<▼>（【コントラスト】を選択）→<OK>
3 <◀>または<▶>（コントラストを選択）→<OK>

3 **<スタート>を押す**

設定内容を保存する

ここで設定した内容は、次に変更するまで有効です。

1 **<メニュー >→<3>→<3>を押す**

2 **<◀>または<▶>でコントラストを選択して、<OK>を押す**

<OK> を押すと、設定した内容が保存されます。

3 **<停止/終了>を押す**

USBダイレクトプリントの基本

USBダイレクトプリントの流れ

コンピューターを使用しないで、USBメモリから直接データをプリントする操作の流れを説明します。

補足

- セキュリティ設定や USB ハブ機能付きの USB メモリなど、ご使用の USB メモリによっては、本製品に接続しても動作しない場合があります。
- 本製品は、PictBridge（ピクトブリッジ）に対応していません。ただし、お使いのデジタルカメラがマスストレージモードに対応している場合は、デジタルカメラをマスストレージ接続モードに設定し、本製品とUSBケーブルで接続することにより、デジタルカメラ内のメモリカードをUSBメモリと同様に記憶装置として認識します。本製品の操作パネルを操作して写真データを印刷してください。
- セキュリティ機能ロック2.0が【オン】※の場合は、USB ダイレクトプリントを使用することができません。詳しくは、⇒ユーザーズガイド 応用編「使用できる機能を制限する［セキュリティ機能ロック2.0］」を参照してください。

  ※：USBダイレクトプリントが制限されているときのみ

STEP 1　データ形式を確認する

USB ダイレクトプリントで印刷できるデータ形式は以下のとおりです。

ただし、PRN 形式の場合は、STEP4 で印刷の設定をすることができません。

- PDF version1.7（JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルは未対応です。）
- JPEG
- Exif+JPEG
- PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）
- TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）
- XPS version1.0 形式

ポイント

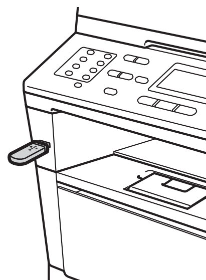
PRN 形式のファイルを保存したいとき

プリンタードライバー画面で［ファイルへ出力］項目にチェックをつけます。

STEP 2　USB メモリを本製品に接続する

USB メモリを USB メモリ差込口に接続します。本製品が USB メモリを認識すると、USB ダイレクトプリントモードに切り替わり、液晶ディスプレイに選択メニューが表示されます。

- 本製品がディープスリープモードのときは、USB メモリを接続しても認識しません。<停止 / 終了>を押して待ち受け状態にしてください。



STEP 3　印刷するフォルダーやデータを選択する

＜▲＞または＜▼＞で【1. ダイレクト プリント】を選択し、<OK> を押します。

＜▲＞または＜▼＞でフォルダーやデータを選択した後、<OK> を押します。

● 操作方法

・フォルダー内を表示するときは、<OK> を押します。

・一つ上の階層に戻るときは、＜クリア＞を押します。

● フォルダー名やデータ名の表示

・フォルダー名の前に【/】が表示されます。

・半角 30 文字以上のデータ名を選択しているときは、データ名が液晶ディスプレイの最下段にスクロールで表示されます。

・液晶ディスプレイに表示できない特殊な文字は【?】が表示されます。

▼

STEP 4　印刷内容を設定する

＜▲＞または＜▼＞で以下の設定項目を選択した後、<OK> を押します。

・記録紙サイズ

・記録紙タイプ

・レイアウト

・印刷の向き（JPEG 形式選択時のみ）

・両面印刷：
JPEG 形式選択時は設定できません。
両面印刷できる記録紙は、A4 サイズ（60g/m^2 ～ 105/m^2）のみです。

・部単位

・トレイ選択

・プリント画質

・PDF オプション（PDF 形式選択時のみ）

ポイント

印刷内容をあらかじめ設定したいとき

操作パネルからのメニューで設定しておくことができます。詳しくは⇒ユーザーズガイド 応用編「USB ダイレクトプリント」を参照してください。

▼

STEP 5　プリントを開始する

以下の順で操作を行い、プリントを開始します。

● ＜スタート＞を押して、プリントしたい部数（1 ～ 999）をダイヤルボタンで入力する

● ＜スタート＞を押す

【印刷中。デバイスを抜かないでください。】というメッセージが表示されている間は、USB メモリを抜かないでください。

● ＜停止 / 終了＞を押す

プリントの基本

プリントの流れ

コンピューターからプリントする操作の流れを説明します。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（プリンタードライバーのインストール）

付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM の中にあるプリンタードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 2　コンピューターで印刷を選択する

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 3　プリンターを選択する

［印刷］ダイアログボックスで本製品のプリンター名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

STEP 4　印刷内容を設定する

［プロパティ］ダイアログボックスで印刷の詳細を設定し［OK］をクリックします。

用紙サイズ、印刷の向き、部数、用紙種類、解像度、レイアウト、両面印刷／小冊子印刷、給紙方法などを設定します。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」

STEP 5　プリントを開始する

［OK］をクリックします。

スキャンの基本

スキャンの流れ

原稿をコンピューターに読み込みます。スキャンには、操作パネルからスキャンする方法とコンピューターからスキャンする方法があります。手順の詳細については、参照先をご確認ください。

STEP 1　準備する（スキャナードライバーのインストール、ネットワーク設定）

スキャンする前に以下の 2 つを準備します。すでに準備が終了している場合は、STEP2 から操作してください。

● スキャナードライバーをインストールする

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMの中にあるスキャナードライバーをインストールします。

⇒かんたん設置ガイド「STEP2 コンピューターに接続する」、
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

● ネットワークを設定する

ネットワークプリンターとして使用している場合は、ネットワークの設定は終了しています。

まだネットワークの設定が終了していない場合は本製品に TCP/IP を設定します。

⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークの設定」

STEP 2　スキャンのしかたを決める

スキャンの目的や特長によってスキャンのしかたが異なります。ご都合に応じて最適なスキャン方法を決めてから操作を始めてください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 3　原稿をセットする

原稿をセットするには次の 2 つの方法があります。

● ADF（自動原稿送り装置）にセットする

複数枚数の原稿をセットして、自動的に連続してスキャンできます。また、自動両面スキャンもできます。

● 原稿台ガラスにセットする

1 枚ずつ手動でスキャンします。本や厚みのある原稿などもスキャンできます。

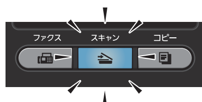
⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」

●操作パネルからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4 スキャンモードに切り替える

操作パネルの < スキャン > を押してスキャンモードに切り替えます。
スキャン操作を行う場合には、必ずスキャンモードになっていることを確認してください。



STEP 5 スキャンの機能を選択する

機能を選択します。

- スキャン to USB
- スキャン to ネットワークファイル※1
- スキャン to Eメール※2
- スキャン to PC
  (Eメール/イメージ/ OCR /ファイル)
- スキャン to FTP
- Webサービススキャン※3

※1:Windows® のみ
※2:インターネットファクス機能のファームウェア(本体ソフトウェア)をサポートサイト(ブラザーソリューションセンター)からダウンロードした場合に使用することができます。(http://solutions.brother.co.jp/)
※3:Windows Vista® SP2以降、またはWindows® 7のみ

STEP 6 保存先を選択する

- スキャンしたデータの保存先/送信先を選択します。USB接続の場合は保存先の選択は必要ありません。
- 必要に応じて画質やファイル名、両面スキャンの読み取り(ADFに原稿をセットした場合)などを設定します。

STEP 7 スキャンを開始する

< スタート > を押します。

●コンピューターからスキャンする

以降の操作の詳細は以下を参照してください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「スキャナーとして使う」

STEP 4 アプリケーションでスキャンを選択する

アプリケーション側でスキャンボタンまたはスキャンメニューを選択します。

STEP 5 スキャンの詳細を設定する

ダイアログボックスで解像度、明るさ、画像の種類などスキャンの詳細を設定します。

STEP 6 スキャンを開始する

ダイアログボックスでスキャン開始を指示します。

3 日常のお手入れ

定期メンテナンス

下記の部品を定期的に清掃することをおすすめします。
• 記録紙トレイ　• 原稿台ガラス　• ドラムユニット　• コロナワイヤー　• 給紙ローラー

警告





■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。
トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

本製品外部を清掃する

! 重要

■ 中性洗剤を使ってください。シンナーやベンジンを浸した布で拭かないでください。

■ アンモニアの成分を含んでいる洗剤は使わないでください。

■ 操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネルにひびが入ったり、パネル上の印刷が消えたりすることがあります。

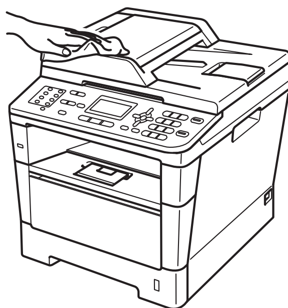
本製品は柔らかい布で軽く拭いてください。

1 電源スイッチをOFFにする

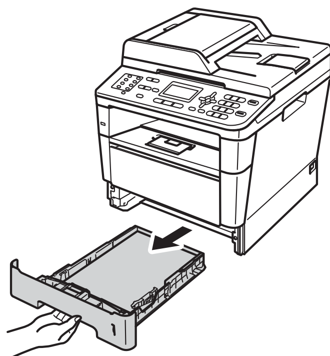
2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

3 本製品の外側を拭く



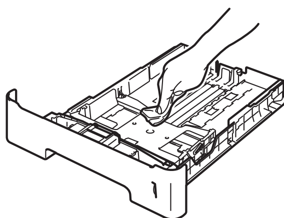
4 記録紙トレイを完全に引き出す



5 記録紙トレイから記録紙を取り出す

記録紙トレイ内につまった記録紙がある場合は取り除いてください。

6 記録紙トレイの内側と外側を拭く



7 記録紙をセットして、記録紙トレイを本製品に戻す

8 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

9 電源スイッチをONにする

原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する

いつもきれいな画質を得るためにスキャナーの清掃を行ってください。スキャナーが汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーがされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには、スキャナーを清掃してください。

警 告



ベンジンやシンナー、可燃性スプレー、アルコールなどの有機溶剤、液体を使用しないでください。火災の原因になります。

! 重 要

操作パネルはアルコールを浸した布で拭かないでください。操作パネル上の印刷が消えることがあります。

補足

清掃には水やぬるま湯を含ませた柔らかい布を固く絞ってご使用ください。

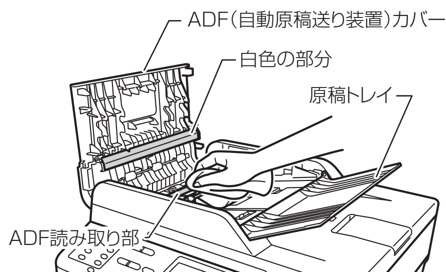
1 電源スイッチをOFFにする

2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

3 原稿トレイと ADF（自動原稿送り装置）カバーを開く

4 ADF（自動原稿送り装置）カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く



5 ADF（自動原稿送り装置）カバーと原稿トレイを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

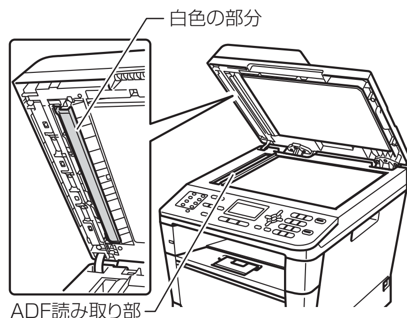
6 原稿台カバーを開く

7 清掃する

1 原稿台ガラスと原稿台カバーを拭く

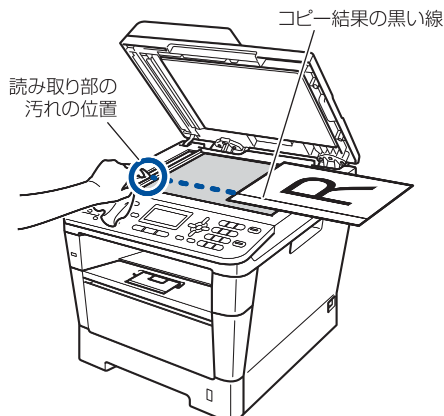


2 原稿台カバー（白い部分）とADF読み取り部を拭く



注意

■コピーで黒く細い線が入るときには、ADF 読み取り部の清掃を行ってください。非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、ていねいに拭いてください。



■汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触れて汚れの位置を確認し、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。最後にADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしてコピーし、黒い線が消えたか確認してください。

8 原稿台カバーを閉じる

9 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

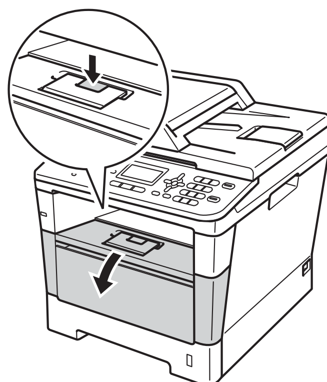
10 電源スイッチをONにする

コロナワイヤーの清掃

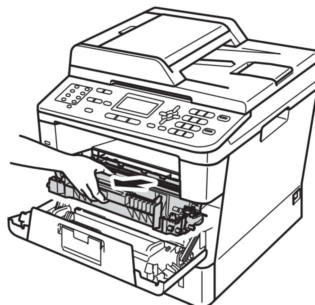
コロナワイヤーが汚れていると、印刷された画像が黒っぽく汚れたり、垂直の線が入ることがあります。印刷したページに汚れが入る場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



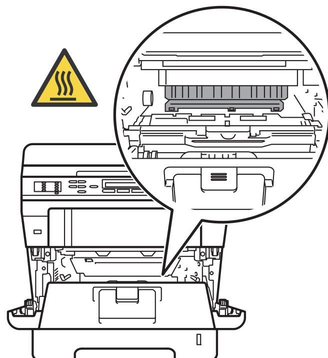
3 ドラムユニットを取り出す



警告



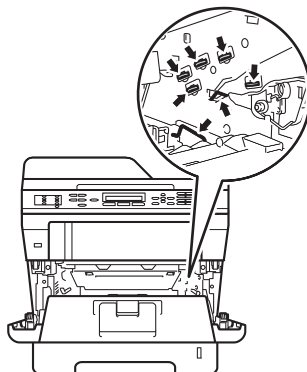
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



本製品内部（前面）

重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

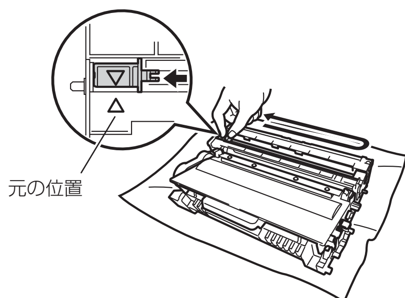


4 清掃する

1 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

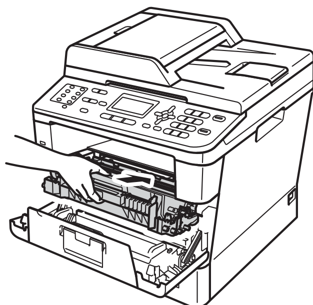
2 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す

元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。



5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す



2 フロントカバーを閉じる

ドラムユニットの清掃

印刷したページに約94mm間隔で規則的な汚れが見つかったときは、ドラムユニットの清掃が必要です。

1 ドラムチェックシートを印刷する

1 本製品が待機状態であることを確認する

2 <メニュー>→<6>→<7>を押し<スタート>を押す

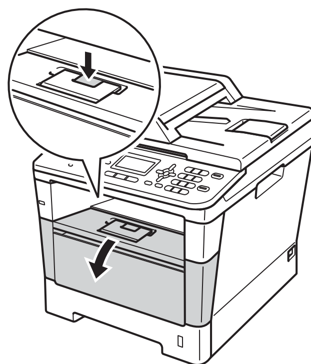
ドラムチェックシートが印刷されます。

2 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

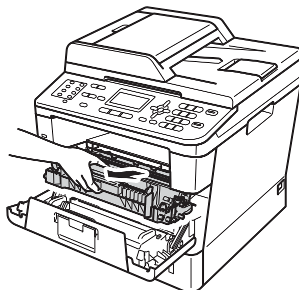
3 本製品が冷めたら、電源スイッチをOFFにする

4 ドラムユニットを取り出す

1 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



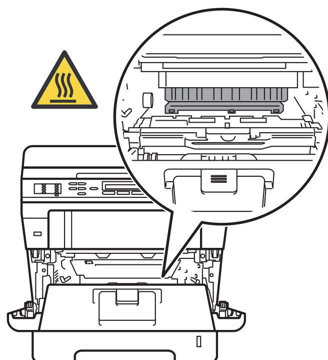
2 ドラムユニットを取り出す



警 告



本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



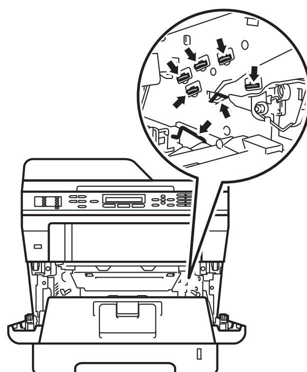
本製品内部（前面）

重 要

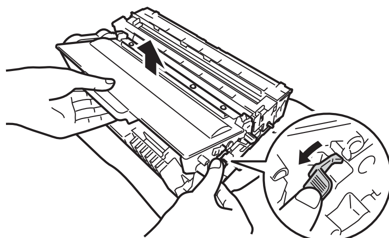
■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

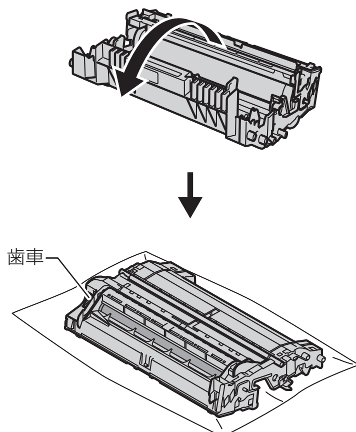


3 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す



5 清掃する

1 **イラストのように、ドラムユニットの歯車が左側になるようにドラムユニットを裏返す**

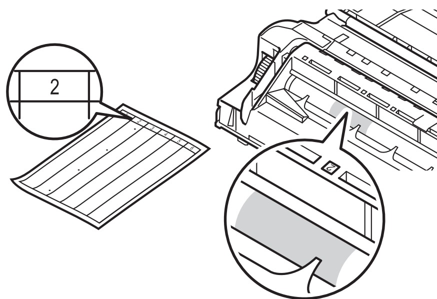


2 **印刷したドラムチェックシートを確認する**

該当する番号を確認します。

3 **ドラムチェックシートの番号と、ドラムユニットのコラム番号を照らし合わせて、感光ドラムの汚れの場所を探す**

感光ドラムの汚れの場所を特定します。

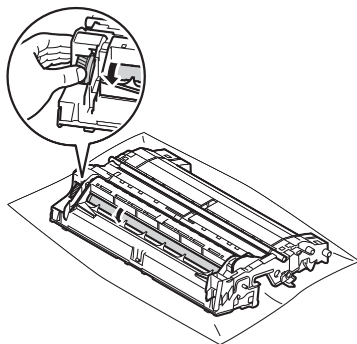


補足

例）イラストのように、ドラムチェックシートの「2」の欄に点がある場合は、ドラムユニットのコラム番号「2」の範囲内の感光ドラム上に汚れがあります。

4 **ドラムユニットの歯車を手前にゆっくり回しながら、感光ドラムの汚れの場所を手前にする**

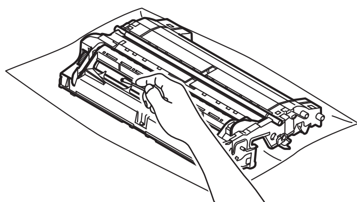
感光ドラムの汚れの場所を確定します。



補足

ドラムユニットの歯車側の側面に、ドラムの回転方向の矢印があります。
矢印の方向にゆっくり回してください。

5 **感光ドラムの表面に付いた汚れや付着物を綿棒で拭き取る**



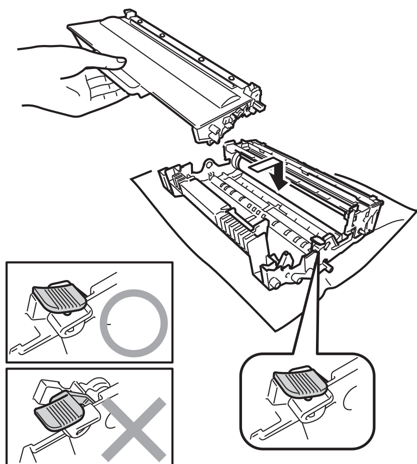
! 重 要

- 感光ドラムの表面は指で触れないでください。
- 感光ドラムの表面をとがったもので拭かないでください。
- 電動器具は使用しないでください。

6 ドラムユニットを裏返す

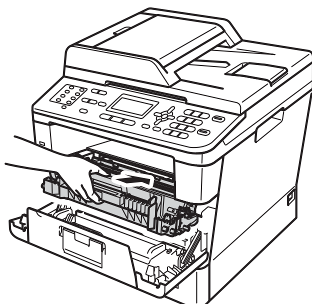
7 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。



8 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す



2 フロントカバーを閉じる

9 電源スイッチをONにする

給紙ローラーの清掃

給紙ローラーが汚れていると、記録紙をうまく給紙しないことがあります。その場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

1 電源スイッチをOFFにする

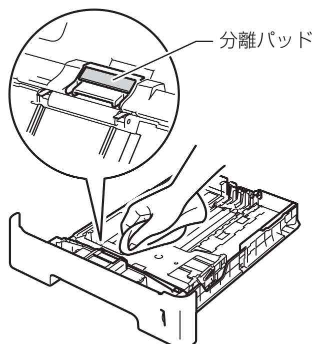
2 コード、ケーブルを取り外す

1 電話機コードとすべてのケーブルを取り外す
2 電源コードをコンセントから抜く

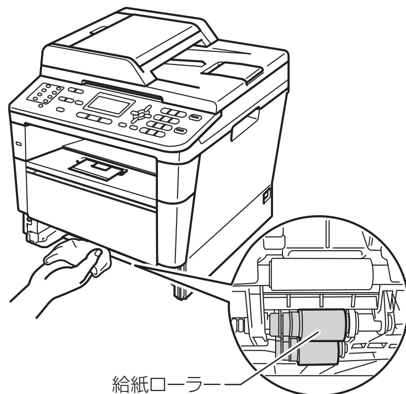
3 記録紙トレイを完全に引き出す

4 清掃する

1 水または、ぬるま湯を浸した柔らかい布を固く絞り、記録紙トレイ内の分離パッドを拭く



2 本製品内部にある給紙ローラー（2つ）を拭く



5 記録紙トレイを本製品に戻す

6 コードやケーブルを元の状態に戻す

1 接続していたケーブルを取り付ける
2 電源スイッチが OFF になっていることを確認する
3 電話機コードを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

7 電源スイッチをONにする

消耗品の交換

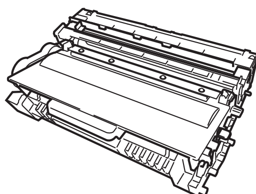
消耗品

トナーカートリッジ (TN-53J/TN-56J)	ドラムユニット (DR-51J)
⇒82ページ	⇒87ページ

トナーカートリッジとドラムユニットについて

注意

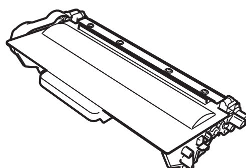
本製品では、画像を作成するドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けて使用する仕組みになっています。トナーの残量がなくなったり、ドラムユニットが寿命により使用できなくなったりしたときには、必ず分離して、使用できなくなった部品のみを廃却し交換してください。



ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けた状態

トナーカートリッジ

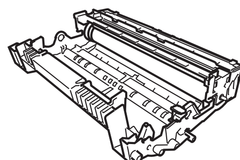
型番：TN-53J/TN-56J



印刷するための粉末（トナー）が入っています。

ドラムユニット

型番：DR-51J



トナーを記録紙に写すユニットです。

交換のしかたについては、⇒82ページ「トナーカートリッジの交換」、または⇒87ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

補足

本製品に付属のトナーカートリッジは、約2,000枚※印刷できます。
標準トナーカートリッジ（TN-53J）は、約3,000枚※印刷できます。
大容量トナーカートリッジ（TN-56J）は、約8,000枚※印刷できます。
ドラムユニット（DR-51J）は約30,000枚印刷できます。

※：印刷可能枚数はJIS X 6931（ISO/IEC 19752）*規格に基づく公表値を満たしています。

* JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法

お近くの家電量販店で取り扱っておりますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。

●ご注文先

ブラザー販売（株）ダイレクトクラブ
インターネット：http://direct.brother.co.jp
携帯サイト　　：右の二次元コードにアクセス
フリーダイヤル：０１２０－１１８－８２５
（土･日･祝日、長期休暇を除く9時～12時、13時～17時）



トナーカートリッジとドラムユニット交換時の注意

警 告





- ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。
  また、火気のある場所に保管しないでください。
  トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。
- 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
  また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
  可燃性スプレーの例は次のとおりです。
  ・ほこり除去スプレー　・殺虫スプレー　・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
  ・アルコールなどの有機溶剤や液体など
- トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

注 意

- トナーをまき散らして、目に入ったりしないように注意してください。
- 誤ってトナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

! 重 要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- 使用済みのトナーカートリッジにはトナーの粉が残っている場合があるので、取り扱いには注意してください。
- トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。
- トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（型番：TN-53J/TN-56J）をご使用ください。⇒ 78 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- ドラムユニットは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品（型番：DR-51J）をご使用ください。⇒ 78 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。純正品以外のドラムユニットを使用した場合、本製品の保証が無効になります。
- 純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、故障の原因となり、本製品の保証が無効になります。また、お使いになる純正品以外のトナーカートリッジによっては正しく検知されず、トナー容量に関係なく標準トナーとして検知される場合があります。

注意

■トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

■使用済みのトナーカートリッジを廃棄するときは、アルミニウムバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒22ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

■ドラムユニットは本製品に取り付ける直前に開封してください。

■使用済みのドラムユニットを廃棄するときは、プラスチックバッグ※に入れ、しっかりと封をして、粉末がドラムユニットからこぼれないようにしてください。販売店またはサービス実施店にお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。⇒22ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。なお、お客様で処理される場合は、地域の規則に従って廃棄してください。

※：新品のトナーカートリッジ、またはドラムユニットが入っていた袋をご利用ください。

トナーカートリッジの交換

ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。⇒22ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

まもなくトナーカートリッジ交換のメッセージ

本製品はトナーカートリッジの寿命を検知し、交換時期が近づくと液晶ディスプレイに表示して、お知らせします。
トナーカートリッジが交換時期に近づくと、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

まもなくトナー交換
新しいトナーを用意してください。

補足

- 液晶ディスプレイに【まもなくトナー交換】のメッセージが表示されたときは、トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを購入し、【トナー交換】が表示される前に準備しておいてください。
- 印刷結果がかすれる場合は、トナーカートリッジ内のトナーを均等にするために、両手でドラムユニット（トナーカートリッジを装着したまま）を持ち、数回左右にゆっくりと振ってください。

トナーカートリッジ交換のメッセージ

さらに使い続けると液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。

トナー交換
フロントカバーを開けて、新しいトナーを取り付けてく

一度この表示になるとトナーカートリッジを交換しないと印刷やコピーができなくなります。新しいトナーカートリッジに交換してください。

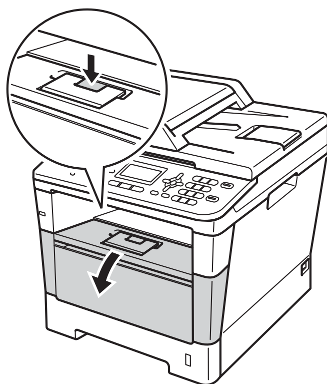
補足

- トナーの寿命は、トナーがなくなった場合やトナーが劣化した場合に検知され、どちらかに該当するとトナーの寿命となります。
- お近くでトナーカートリッジが手に入らないときは、⇒79ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

トナーカートリッジを交換する

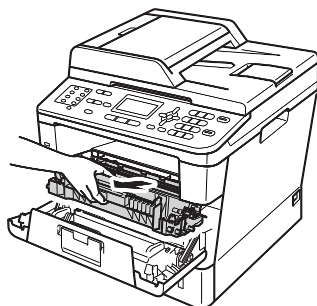
1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



3 トナーカートリッジを取り出す

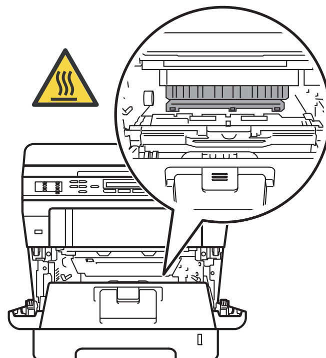
1 ドラムユニットを取り出す



警告



本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

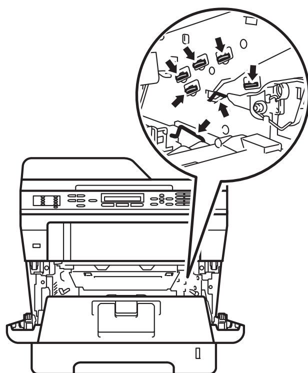


本製品内部（前面）

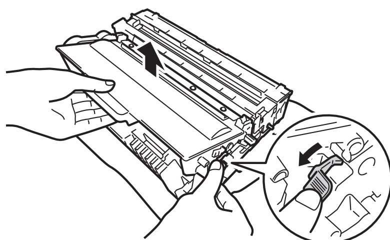
！ 重 要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



2 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す



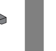
警 告



■ ドラムユニットやトナーカートリッジを火の中に投げ込まないでください。







また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

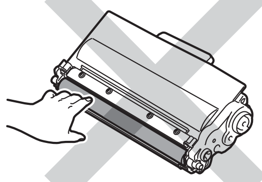
■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

！ 重 要

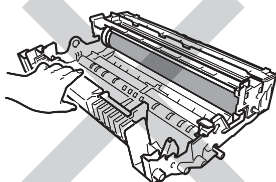
■ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようにしてください。

<トナーカートリッジ>



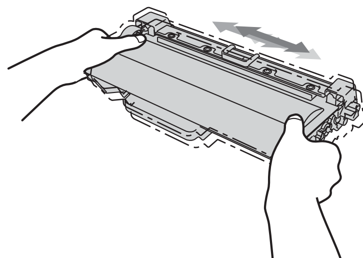
<ドラムユニット>



■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

4 交換する

1 新しいトナーカートリッジを開封し、トナーが均等になるように左右に5～6回ゆっくりと振る



！ 重 要

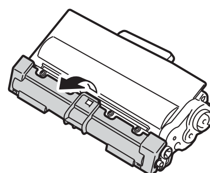
■ トナーカートリッジは、印刷品質を保証するように特別に調整されたブラザー純正品をご使用ください。⇒ 78 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。
純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、本製品の保証が無効になります。

■ 純正品以外のトナーカートリッジやリサイクルトナーを使用した場合、故障の原因となり、本製品の保証が無効になります。また、お使いになる純正品以外のトナーカートリッジによっては正しく検知されず、トナー容量に関係なく標準トナーとして検知される場合があります。

注 意

トナーカートリッジは、本製品に取り付ける直前に開封してください。トナーカートリッジを開封したまま長期間放置すると、トナーの寿命が短くなります。

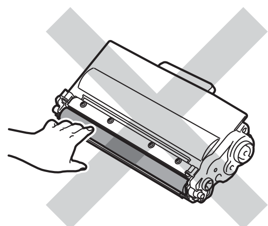
2 保護カバーを取り除く



! 重要

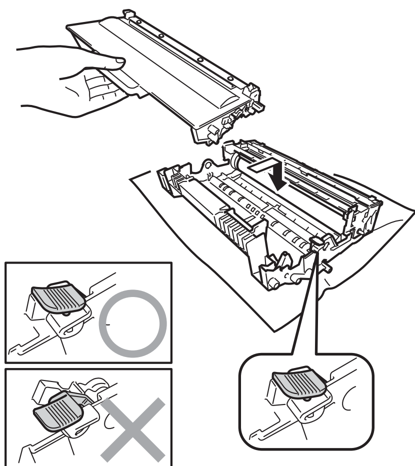
新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外した後、トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けてください。

印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレー部分には触れないようにしてください。

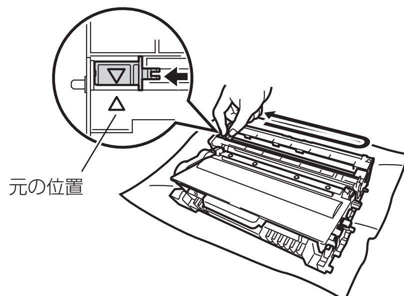


3 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。



4 緑色のつまみを2～3回往復させ、ドラムユニット内部のコロナワイヤーを清掃する

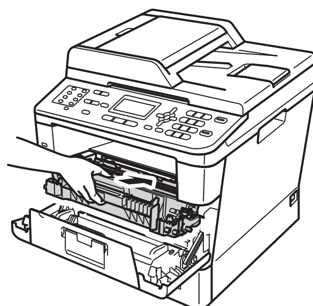


5 緑色のつまみを元の位置（▲）に戻す

元の位置に戻っていないと、印刷した記録紙に縦縞が入る場合があります。

5 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す



2 フロントカバーを閉じる

注意

液晶ディスプレイに【お待ちください】が表示されるまで、そのままお待ちください。途中で本製品の電源スイッチをOFFにしたり、フロントカバーを開けると、新しいトナーを検知できない場合があります。

ドラムユニットの交換

本製品は、ドラムの回転数によってドラムユニットの交換時期が決定され、あらかじめ設定されている回転数に達すると、液晶ディスプレイにドラムユニットの交換をお知らせするメッセージが表示されます。印刷を続けることもできますが、印刷品質が低下します。
ブラザー製消耗品のリサイクルにご協力をお願いいたします。詳しくは⇒ 22 ページ「消耗品の回収リサイクルについて」を参照してください。

ドラムユニットエラーのメッセージ

【ドラムエラー】のメッセージが表示されたときは、コロナワイヤーが汚れています。コロナワイヤーの清掃をしてください。⇒71ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。
コロナワイヤーの清掃をしても、【ドラムエラー】表示が消えない場合は、新しいドラムユニットを購入し、交換してください。
⇒88ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。

ﾄﾞﾗﾑｴﾗｰ
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰを開け､ﾄﾞﾗﾑに付いているｸﾞﾘｰﾝの

ドラムユニット交換のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、新しいドラムユニットに交換してください。

部品交換
ﾄﾞﾗﾑ寿命

ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

ドラムユニット停止のメッセージ

液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されたときは、印刷品質を保証できません。

ﾄﾞﾗﾑ停止
印刷品質を維持できません｡ﾄﾞﾗﾑを交換して

新しいドラムユニットに交換してください。
ドラムユニットを交換したときは、ドラムユニットのカウンターをリセットしてください。

！ 重 要

最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正のドラムユニットおよびトナーカートリッジを使用してください。本製品は、清潔でちりやほこりが発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。

補足

- ドラムユニットの交換時期に影響する要因は、温度や湿度、記録紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数などです。理想的な印刷条件下での平均的なドラムユニットの交換周期は約 30,000 枚です。実際のドラムユニットの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- ドラムユニットを交換するタイミングに合わせて、本製品も掃除することをおすすめします。
⇒68ページ「定期メンテナンス」を参照してください。
- お近くでドラムユニットが手に入らないときは、⇒ 79 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットの購入方法」を参照してください。

ドラムユニットを交換する

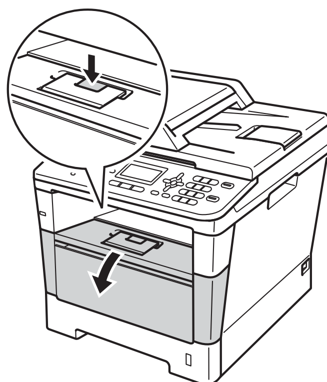
新しいドラムユニットに交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットする必要があります。

! 重 要

使用済みのドラムユニットを交換する場合は、トナーの粉が残っていることがあるので、取り扱いには注意してください。

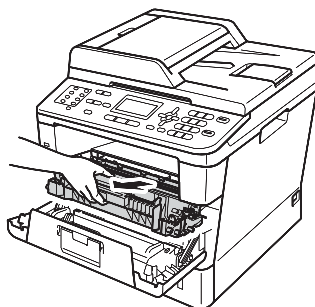
1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押して、フロントカバーを開く



3 ドラムユニットを取り出す

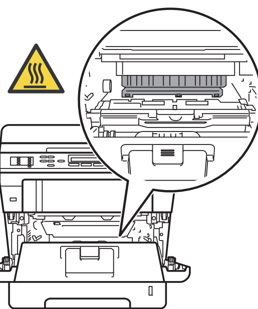
1 ドラムユニットを取り出す



警 告



本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。

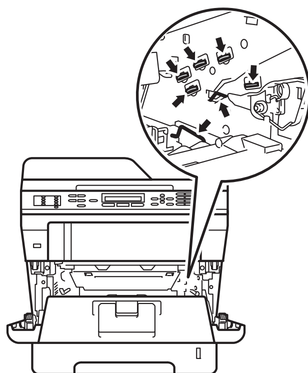


本製品内部（前面）

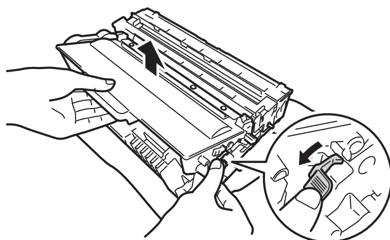
! 重要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



2 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す



警告



■ ドラムユニットやトナーカートリッジ    
を火の中に投げ込まないでください。
また、火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、火災ややけどの原因となります。

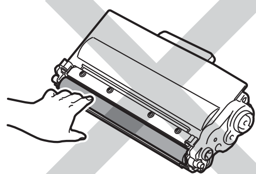
■ 本製品を清掃する際、可燃性のスプレー、有機溶剤などは使用しないでください。
また、近くでのご使用もおやめください。火災・故障・感電の原因になります。
可燃性スプレーの例は次のとおりです。
・ほこり除去スプレー
・殺虫スプレー
・アルコールを含む除菌、消臭スプレー
・アルコールなどの有機溶剤や液体など

■ トナーがこぼれたときは、ほうきで掃除するか、水で湿らせ固く絞った布で拭き取ってください。掃除機は使用しないでください。掃除機でトナーを吸い取ると、掃除機内で粉塵が発火し、故障や火災の原因となります。

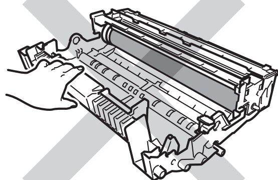
! 重 要

- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 印刷品質の劣化を防止するため、イラストのグレーの部分には触れないようしてください。

<トナーカートリッジ>



<ドラムユニット>



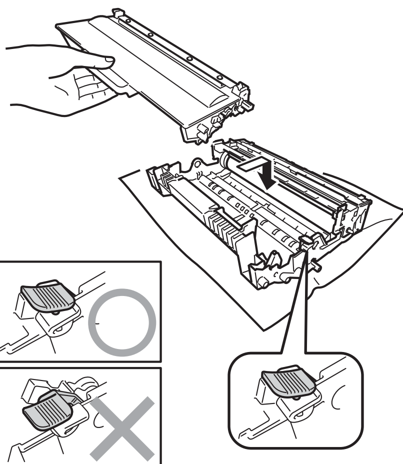
- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

4 交換する

1 新しいドラムユニットを開封する

2 トナーカートリッジを新しいドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、ロックレバーが自動的に上がります。

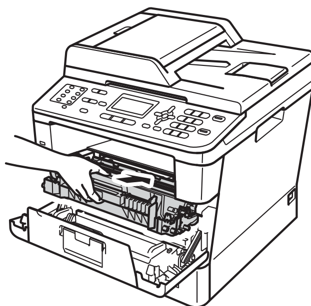


! 重 要

開封したドラムユニットが過度の直射日光や室内光を受けると、ユニットが損傷することがあります。

5 ドラムユニットを本製品に戻す

ドラムユニットのカウンターをリセットするため、フロントカバーは閉じないでください。



6 ドラムカウンターをリセットする

1 <クリア>を押す

```
ドラム交換しましたか?

▲    1.はい
▼    2.いいえ
▲▼で選択&OKボタン
```

2 <1>を押す
液晶ディスプレイに【受付けました】が表示されます。

注意

トナーカートリッジのみを交換した場合は、ドラムユニットのカウンターをリセットしないでください。

7 フロントカバーを閉じる

定期交換部品の交換

液晶ディスプレイに以下のエラーメッセージが表示されたときは、お客様相談窓口へご連絡ください。

- 部品交換
  PF キット MP
- 部品交換
  PF キット 1
- 部品交換
  PF キット 2
- 部品交換
  ヒーター
- 部品交換
  レーザーユニット

補足

- PFキットMPとは、多目的トレイ（MPトレイ）用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- PF キット 1/PF キット 2 とは、記録紙トレイ 1 および記録紙トレイ 2 用のローラーホルダー、分離パッド、分離パッドバネのキットです。
- PFキットMPの概算寿命は50,000枚、その他の定期交換部品の概算寿命は100,000枚です。残り寿命の確認は⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

本製品を再梱包するときは

本製品を引越などで移動させるときには、購入時に梱包されていた箱や部品を使って再梱包します。以下に再梱包する手順を説明します。

警 告

- 本製品の重量は約 16.0kg です。本製品を置くときには、指をはさまないように注意してください。
- オプションの増設記録紙トレイをご使用の場合は、本製品から取り外してください。
  増設記録紙トレイを取り付けたまま本製品を移動させると、けがをしたり、増設記録紙トレイが損傷するおそれがあります。

注 意

再梱包を行う場合は、前もって電源スイッチを OFF にし、本製品内部を十分に冷ましてください。

重 要

- 輸送中の破損を防ぐために、お買い上げ時に使用されていた梱包材を使用してお買い上げ時の状態に再梱包してください。お買い上げ時に使用されていた梱包材は、開梱時に捨てずに大切に保管しておいてください。
- 本製品には、相応の輸送保険を掛けてください。

1 電源スイッチを OFF にし、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

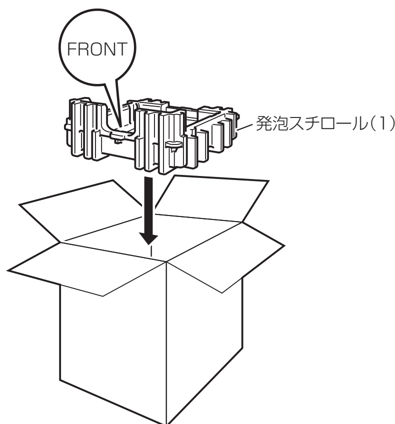
2 コード、ケーブルを取り外す

1 **電話機コードとすべてのケーブルを取り外す**

2 **電源コードをコンセントから抜いて、本製品から電源コードを取り外す**
本製品の背面と壁側のコンセントを両方とも外してください。

3 発泡スチロール（1）を外箱に入れる

発泡スチロール（1）の「FRONT」の印を確認してください。

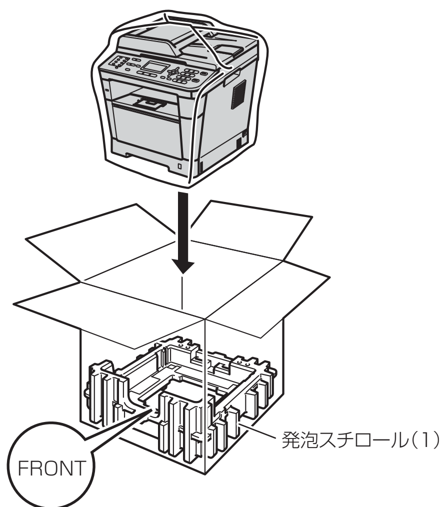


4 本製品や付属品を梱包する

1 本製品をビニール袋に入れる

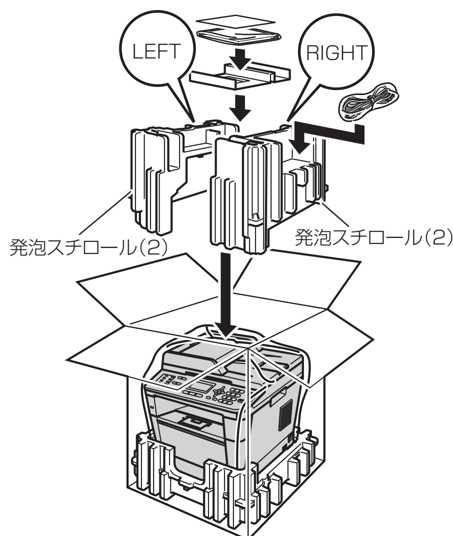
2 本製品をセットする

発砲スチロール（1）の「FRONT」の印と本製品の前面を合わせてセットしてください。



3 イラストのように、本製品の上に発泡スチロール（2）をセットし、箱型トレイボックス、電源コードなどを入れる

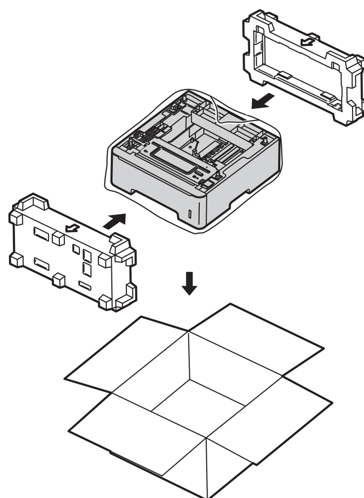
発泡スチロール（2）の「RIGHT」と本製品の右面、発泡スチロール（2）の「LEFT」と本製品の左面を合わせてセットしてください。



4 箱を閉じ、テープを貼って完全に閉じる

増設記録紙トレイ（LT-5400）を再梱包する

増設記録紙トレイ（LT-5400）をお持ちの方は、イラストのように増設記録紙トレイを再梱包してください。



解決のステップ～修理依頼される前に～

本製品を使用中にトラブルが起きたときの解決までのステップを説明します。
修理依頼される前にここを読んでみてください。

ランプが点滅、または液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていますか

表示されている

①液晶ディスプレイに従って処置をしてください
②以下の項目を確認してください
⇒ 95 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」
⇒102ページ「紙がつまった！」

表示されていない

①以下の項目を確認してください
⇒114ページ「原因がよくわからない！」
②サポートサイトのよくあるご質問（Q＆A）を確認してください
（http://solutions.brother.co.jp/）

どうしても解決しない！

- 表示されているメッセージをメモしてください
  → サポートサイトのよくあるご質問（Q&A）を確認してください（http://solutions.brother.co.jp/）
  → やっぱり、どうしても解決しない！
  → お客様相談窓口にご連絡ください
- 本製品が正常に動作しない または どこに問題があるかわからない
  → 以下の２点をメモしてください
  • 製品名
  • シリアル番号
  ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」-「製品情報の確認/印刷」
  → お客様相談窓口にご連絡ください
- コピー、プリント、スキャンは正常に動作する
  回線種別は正しく設定されている
  ⇒21ページ「自動で回線種別を設定する」
  ⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」-「電話回線設定」
  → 電話やファクス回線に問題がある可能性があります。ご利用している電話会社、またはプロバイダーにご相談ください
- コピー、ファクスは正常に動作する
  プリンタードライバーは正しくインストールされている
  → コンピューターに問題がある可能性があります。コンピューターのメーカーまたは購入された販売店にご相談ください

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）

本製品や電話回線に異常が発生した場合は、エラーメッセージとともに対処方法が液晶ディスプレイに表示されます。（説明文が長い対処方法は、スクロール表示します。）液晶ディスプレイに表示された対処方法や、下記の処置を行ってもエラーが解決しないときは、エラーメッセージを控えた後でお客様相談窓口へ連絡してください。

①紙詰まり　内部

②フロントカバーを開けてドラム ユニットを取り外し

①：エラー内容など
②：エラーの対処方法など

液晶ディスプレイ表示	解決方法
DIMM Error	**本製品の電源スイッチを OFF にし、メモリ（SO-DIMM）をいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** 数秒後電源スイッチを ON にします。再度エラーメッセージが表示された場合は、本製品で使用できるメモリ（SO-DIMM）の仕様を確認し、メモリ（SO-DIMM）を新しいものに交換してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
IP 取得方法を Auto にして下さい	**TCP/IP 設定の IP 取得方法を【Auto】に設定してください** ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」を参照してください。
アクセス エラー	**<停止/終了>を押して、USBメモリを接続し直してください**
印刷できません	**電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **本製品の電源スイッチを OFF にし、フロントカバーを完全に開けます。そのままの状態で 30 分放置し水蒸気などを取り除いた後、フロントカバーを閉じて、電源スイッチを ON にしてください**
印刷ページ数超過	**セキュリティ機能ロック 2.0 で、印刷枚数の制限を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。
書き込み禁止のUSBメモリ	**USB メモリの書き込み禁止機能をオフにしてください**

液晶ディスプレイ表示	解決方法
カバーが開いています	**定着ユニットカバーを完全に閉じてください** バックカバーを開けて、定着ユニットカバーを閉め直してください。紙がつまっている場合は、紙を取り除き、定着ユニットカバーを閉めてから＜スタート＞を押してください。 **フロントカバー、または ADF（自動原稿送り装置）カバーを完全に閉じてください**
紙詰まり　MP トレイ	**多目的トレイ（MP トレイ）でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 104 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　後ろ	**本製品の背面でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 106 ページ「背面に記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　トレイ 1	**記録紙トレイ 1 でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 105 ページ「記録紙トレイ／増設記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　トレイ 2	**記録紙トレイ 2 でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 105 ページ「記録紙トレイ／増設記録紙トレイに記録紙がつまったとき」を参照してください。
紙詰まり　内部	**本製品の内部でつまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 109 ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。 **トナーカートリッジがドラムユニットに装着されているか確認してください** ⇒ 83 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
紙詰まり　両面	**記録紙トレイの裏側につまっている記録紙を取り除いてください** ⇒ 112 ページ「両面印刷時に記録紙がつまったとき」を参照してください。
機能がロックされています	**セキュリティ機能ロック 2.0 で、パスワードによる使用制限されている機能の確認をしてください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
記録エラー回復中	**ファンの音を聞き、回転しているかどうか確認してください** ファンが回転している場合は、排気口が塞がれていないか確認してください。排気口の前に障害物があるときは取り除き、電源スイッチを ON にしたまま約 10 分お待ちください。 ファンが回転していない場合は、電源スイッチを OFF にして、数分間 OFF のままにした後、もう一度 ON にしてください。メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。
記録紙サイズ間違い	**正しい記録紙をセットしてください** メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
記録紙を送れません 記録紙がありません	**記録紙を補給するか、記録紙を正しくセットしてください** それでも問題が解決しない場合は、給紙ローラーが汚れている可能性があります。給紙ローラーを清掃してください。⇒ 76 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。 **多目的トレイの記録紙を正しくセットしてください**
原稿詰まり ADF	**ADF(自動原稿送り装置) につまっている原稿を取り除いてください** 原稿を取り除いたら、＜停止 / 終了＞を押してください。 **読み込む原稿を短くして、読み込ませてください** ＜停止 / 終了＞を押して、原稿をセットし直してください。
サイズ エラー 両面	**両面印刷可能な正しい記録紙サイズ（A4）をセットしてください** ＜停止 / 終了＞を押します。両面印刷できない記録紙がセットされている可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。 両面印刷可能な記録紙をプリンタードライバーで設定してください。両面印刷できる記録紙サイズの詳細は、⇒ 162 ページ「用紙仕様」を参照してください。
使用できないデバイス	**接続したデバイスを取り外して、電源を入れ直してください** 本製品に対応していない、または壊れている USB 機器が接続されている可能性があります。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された 機器はご利用できません とり外して On/Off ボタン でリセットしてください	**接続したデバイスを取り外して、電源を入れ直してください** 本製品に対応していない、または壊れている USB 機器が接続されている可能性があります。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
使用不能なUSB機器です	**接続したデバイス（USB メモリなど）を確認してください** 接続しているデバイス（USB メモリなど）が、フォーマットされていない、壊れている、または互換性がない可能性があります。また、正しく差し込まれているか確認してください。
スキャンできません	**電源スイッチを OFF にして、もう一度 ON にしてください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。ファクスデータをコンピューターに保存するときは、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。 **<停止 / 終了> を押して、両面スキャン用の原稿サイズかどうかを確認してください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「原稿のこと」、⇒ 33 ページ「原稿セットで注意すること」を参照してください。
切断されました	**少し時間を置いて、もう一度、送信または受信をしてください**
通信エラー	**相手先のポーリング設定を確認してください** **別のファクスから送信するか、接続をし直して送信できるか確認してください** 電話回線の状況が悪くなっているか、接続が誤っている可能性があります。通信できない場合は、お客様相談窓口へご連絡ください。
手差し印刷	**記録紙を多目的トレイ（MP トレイ）にセットしてください**
登録されていません	**ワンタッチボタンまたは短縮ダイヤルに登録してください** ⇒ 46 ページ「電話帳の基本」を参照してください。
トナーが確認できません	**ドラムユニットを取り出し、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外してください** 再度トナーカートリッジをドラムユニットに戻し、ドラムユニットを本製品に戻してください。
トナーがセットされていません	**トナーカートリッジをいったん取り外し、再度正しく取り付けてください** ⇒ 83 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
トナー交換	**トナーカートリッジを交換してください** ファクスを印刷中、液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示された場合は、ファクスデータはメモリに保存されます。 ⇒82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
ドラムエラー	**コロナワイヤー（ドラムユニット）を掃除してください** ⇒71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 **トナーカートリッジがドラムユニットに装着されているか確認してください** ⇒83 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
ドラム停止	**ドラムユニットを交換してください** ⇒87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
トレイが開いています	**トレイ 1/ トレイ 2 を本製品に取り付けてください**
ネットワークファクスをオフにして下さい	**IP ファクスの設定を【オフ】にしてください** ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
話し中/応答がありません	**電話番号を確認し、もう一度かけ直してください**
ハブはサポートしていません	**USB メモリ差込口から USB ハブを外してください** USB メモリ差込口は、USB ハブに対応していません。
ヒーターエラー	**電源スイッチを OFF にします。2 ～ 3 秒後、もう一度、電源スイッチを ON にして、そのまま 15 分お待ちください** メモリに保管されたファクスデータは電源スイッチを OFF にしても、消去されません。
ファイルが多すぎます	**USB メモリ内のファイル数を減らしてください**
ファイル名を変えてください	**USB メモリ内に同じファイル名がある場合は、ファイル名を変更してください**
部品交換 PF キット 1	**PF キット 1 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 PF キット 2	**PF キット 2 の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 PF キット MP	**PF キット MP の交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。

液晶ディスプレイ表示	解決方法
部品交換 ドラム寿命	**ドラムユニットの交換時期です** 印刷品質が目立って低下したら消耗品を交換してください。 **ドラムユニットのカウンターをリセットしてください** ⇒ 88 ページ「ドラムユニットを交換する」を参照してください。
部品交換 ヒーター	**ヒーターの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
部品交換 レーザーユニット	**レーザーユニットの交換が必要です** お客様相談窓口にご連絡ください。
まもなくトナー交換	**新しいトナーカートリッジを購入し、液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示される前に準備しておいてください** 液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示されるまでトナーカートリッジをご使用できますが、しだいに印刷品質は低下しますので、新しいトナーカートリッジに交換することをおすすめします。 ⇒ 83 ページ「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。
メモリがいっぱいです	**<停止/終了>を押し、受信できなかったジョブデータを消去してください** セキュリティ印刷のデータを保存している場合、印刷するかデータを消去してメモリの空き容量を確保してください。 **ファクス送信・コピー実行中のとき** <停止/終了>を押してからもう一度試してください。原稿が複数枚の場合は、<スタート>を押して読み込まれた分だけを送信、またはコピーしてください。 **印刷中のとき** 印刷する文書の複雑さを減らすか、解像度を下げてからもう一度試してください。または保存されているデータを消去して、メモリの空き容量を確保してください。市販の SO-DIMM メモリで本製品のメモリを増やしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。
用紙サイズが合いません	**正しい記録紙をセットしてください** メニューの記録紙サイズ設定で設定した記録紙とトレイにセットしている記録紙が違う可能性があります。確認して正しい記録紙をセットしてください。
利用できません	**セキュリティ機能ロック 2.0 で、使用制限されている機能を確認をしてください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

液晶ディスプレイ表示		解決方法
両面印刷できません		**バックカバー（背面排紙トレイ）を完全に閉じ、両面トレイを正しく取り付けてください** **両面印刷可能な正しい用紙サイズ（A4）を選択してください** ＜停止 / 終了＞を押し、プリンタードライバーで設定を確認してください。 設定した用紙サイズの用紙をトレイに入れ＜スタート＞を押してください。
ログの書き込みができません		**印刷ログ機能の設定内容を確認してください** 詳しくは、管理者にお問い合わせください。

紙がつまった！

紙づまりのときのメッセージ

紙づまりが起きた場合、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。長いメッセージはスクロール表示します。

原稿がつまったとき ⇒102ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。	**原稿詰まり ADF** **詰まった紙を取り除いて停止ボタンを押してください。**
記録紙がつまったとき ⇒104ページ「記録紙がつまったとき」を参照してください。	**紙詰まり XXXX** **XXXXXXX**

【XXXXXXX】は、紙づまりの場所によって表示が異なります。

！重要

使用できない記録紙は紙づまりや故障の原因になります。⇒26ページ「使用できない記録紙」を参照してください。

原稿がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、ADF（自動原稿送り装置）に原稿がつまっています。

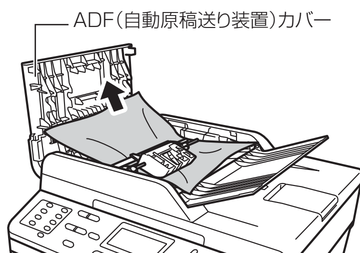


ADF（自動原稿送り装置）の入口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 ADF（自動原稿送り装置）カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり上に引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

3 ADF（自動原稿送り装置）カバーを閉じる

ADF（自動原稿送り装置）カバーの中心を押して、左右が閉じていることを確認してください。

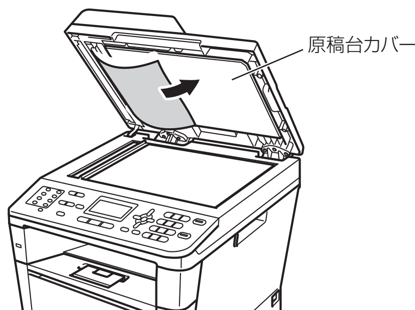
4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 原稿台カバーを開き、つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

つまった原稿を取り除いたときに原稿が破れた場合は、内部に原稿が残っていないか確認してください。

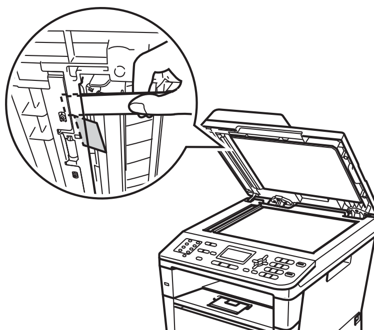
3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）内に破れた原稿（紙片）などがつまったときは

1 原稿台カバーを開く

2 かたい紙などを使い、破れた原稿（紙片）を取り除く



3 原稿台カバーを閉じる

4 <停止/終了>を押す

ADF（自動原稿送り装置）の出口で原稿がつまったときは

1 送り込まれていない原稿を取る

2 つまった原稿を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

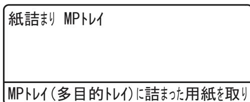


3 <停止/終了>を押す

記録紙がつまったとき

多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙がつまったとき

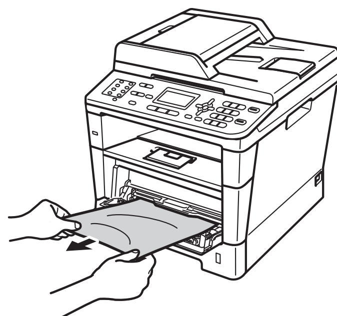
液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、多目的トレイ(MPトレイ)に記録紙がつまっています。



1 **多目的トレイ（MPトレイ）からつまっていない記録紙を取り除く**

2 **多目的トレイ（MPトレイ）からつまった記録紙を取り除く**

両手でゆっくり引き出してください。



補足

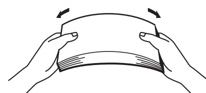
つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

3 **多目的トレイ（MPトレイ）内部や周辺につまっている記録紙を取り除く**

補足

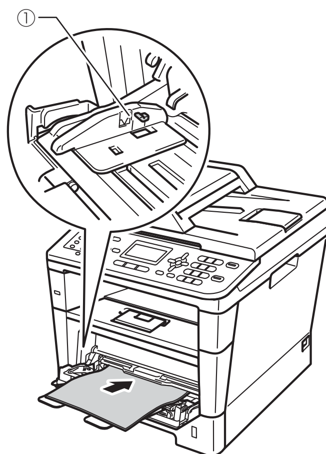
ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。

4 **紙づまりや給紙ミスを防ぐため、記録紙をよくさばく**



5 **多目的トレイ（MPトレイ）に記録紙をセットする**

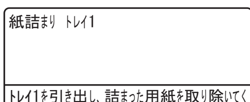
記録紙は用紙ガイドの両側にあるマーク①より下に収まるように入れてください。

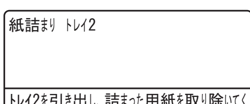


6 **<スタート>を押す**

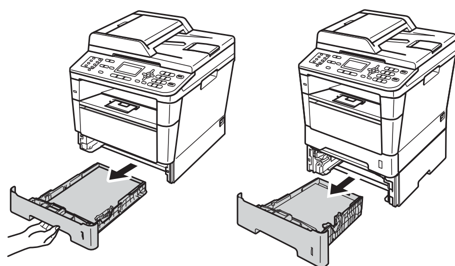
記録紙トレイ／増設記録紙トレイに記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、記録紙トレイ（トレイ1）/増設記録紙トレイ（トレイ2）に記録紙がつまっています。



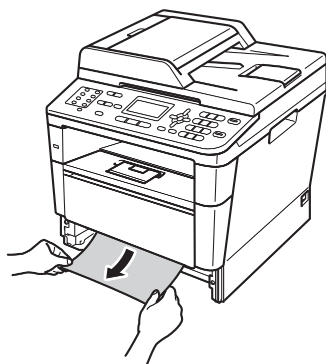


1 本製品から該当の記録紙トレイを完全に引き出す



2 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。



補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

3 記録紙が該当する記録紙トレイの適切な位置にセットされているか確認する

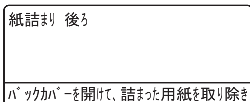
- 記録紙ガイドの両端にある▼ ▼ ▼マークより下に収まっていることを確認してください。
- 緑色の記録紙ガイドをつまみながら記録紙ガイドをスライドさせて、印刷する用紙のサイズに合わせます。
- 記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。

4 該当の記録紙トレイを本製品に戻す

しっかりと奥までセットされているか確認してください。

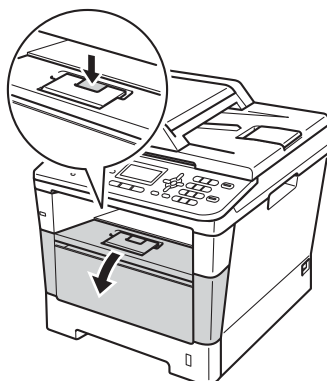
背面に記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、バックカバー内に記録紙がつまっています。



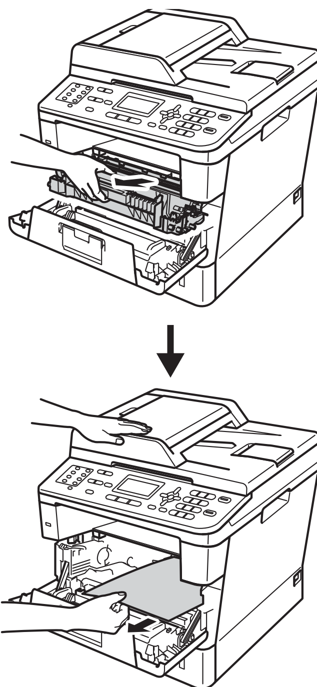
1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く



3 ドラムユニットを取り出す

ドラムユニットを取り出すことで、つまった記録紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部からつまった記録紙を取り除くことができます。



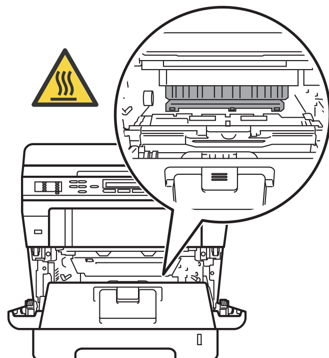
補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。



警告

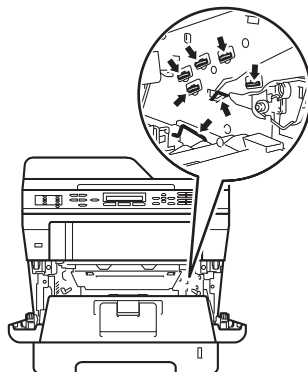
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



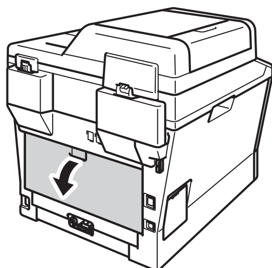
本製品内部（前面）

! 重要

- ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。
- ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。
- 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。



4 バックカバーを開く

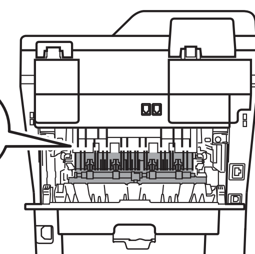




警告

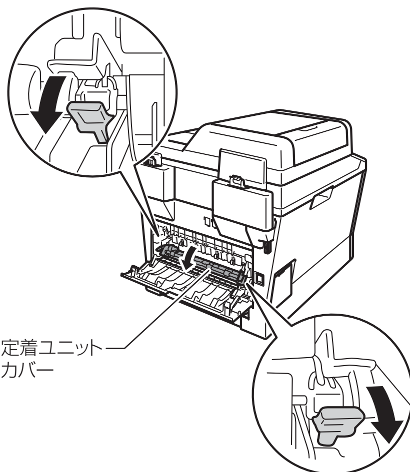


本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



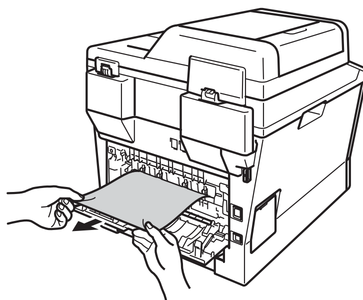
本製品内部（背面）

5 左右の緑色のつまみを手前に引き、定着ユニットカバーを開く



6 定着ユニットからつまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

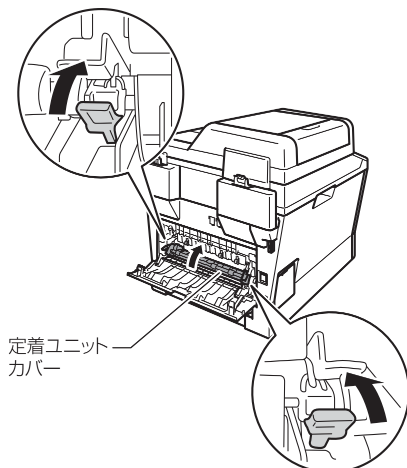


補足

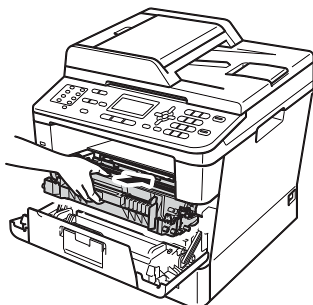
- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

7 元の状態に戻す

1 定着ユニットカバーを閉じる



2 バックカバーを閉じる
3 ドラムユニットを本製品に戻す



4 フロントカバーを閉じる

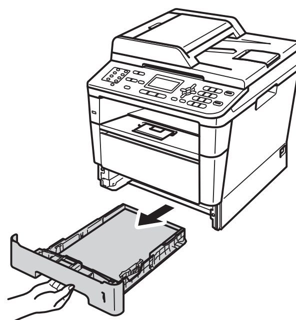
本製品の内部に記録紙がつまったとき

液晶ディスプレイに次のように表示されたときは、本製品の内部に記録紙がつまっています。

紙詰まり 内部
ﾌﾛﾝﾄｶﾊﾞｰを開けてﾄﾞﾗﾑ ﾕﾆｯﾄを取り外し

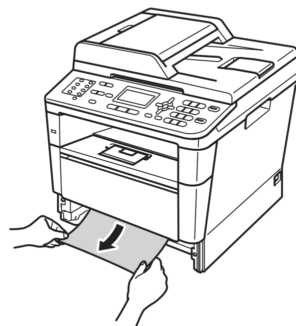
1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す



3 つまった記録紙を取り除く

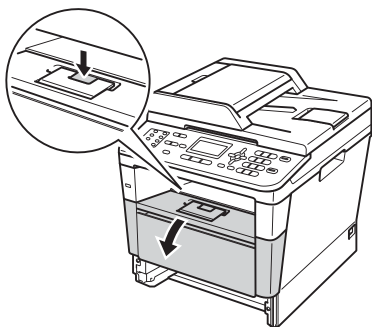
両手でゆっくり引き出してください。



補足

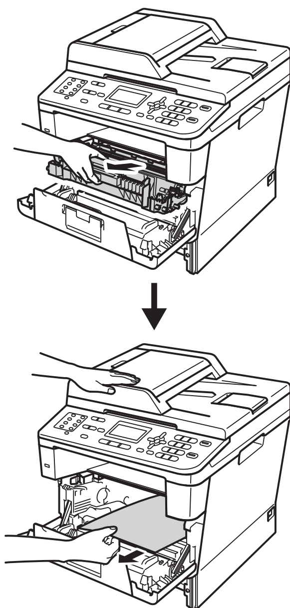
ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。

4 フロントカバーリリースボタンを押してフロントカバーを開く



5 ドラムユニットを取り出す

ドラムユニットを取り出すことで、つまった記録紙を取り除くことができる場合があります。また、本製品内部からつまった記録紙を取り除くことができます。



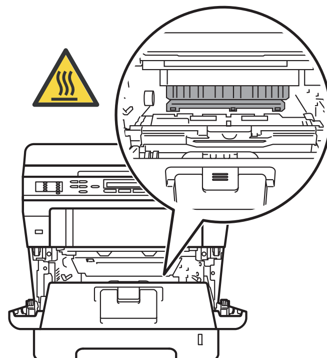
補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。

警告



本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のフロントカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



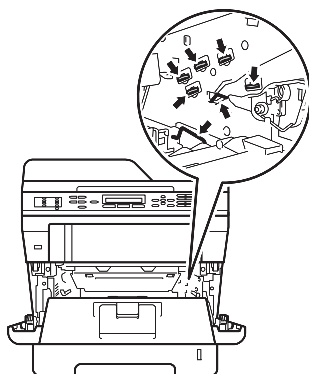
本製品内部（前面）

! 重 要

■ ドラムユニット、トナーカートリッジを本製品から取り外した場合は、あらかじめ平らな場所に新聞紙などを用意し、その上に置いてください。トナーが飛び散ることがありますので、汚れてもよい紙を用意してください。

■ ドラムユニットとトナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが飛び散って手や衣服が汚れた場合は、すぐに拭き取るか冷たい水で洗い流してください。

■ 本製品の内部を操作するときは、イラストの矢印で示す電極部分には手で触れないでください。静電気で本製品が破損するおそれがあります。

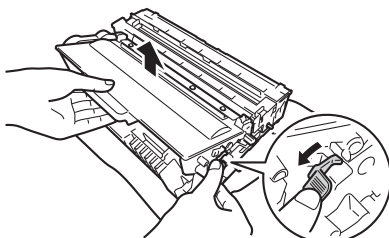


補足

本製品では、ドラムユニットにトナーカートリッジを装着して使用する仕組みになっています。必ず、本製品内のドラムユニットにトナーカートリッジが装着されているか確認してください。
トナーカートリッジのみを本製品に取り付けた場合、液晶ディスプレイに【紙詰まり 内部】または【ドラムエラー】が表示されることがあります。

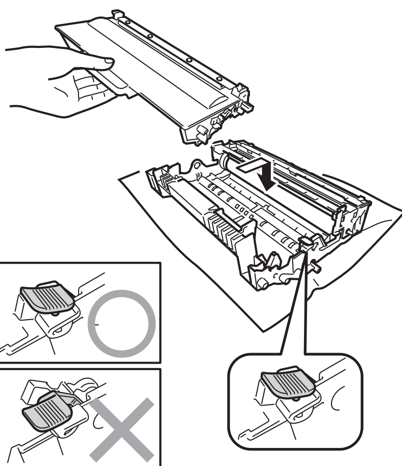
6 緑色のロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジを取り外す

ドラムユニット内部につまった記録紙があるときは、取り除いてください。



7 トナーカートリッジがロックされるようにドラムユニットに取り付ける

正しく装着されるとカチッと音が鳴り、緑色のロックレバーが自動的に上がります。



補足

トナーカートリッジが正しく装着されていることを確認してください。装着が正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

8 元の状態に戻す

1 ドラムユニットを本製品に戻す
2 フロントカバーを閉じる
3 記録紙トレイを本製品に戻す
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

補足

- 本製品の内部からつまった紙や破れた紙を取り除いた後、本製品にコンピューターからのデータが残っている場合は、残りのデータが印刷されます。
- 本製品の内部に記録紙がつまっているときに本製品の電源スイッチをOFFにした場合は、印刷開始後、不完全なデータを印刷します。
本製品の電源スイッチをONにする前に、コンピューターの印刷実行ジョブを削除してください。

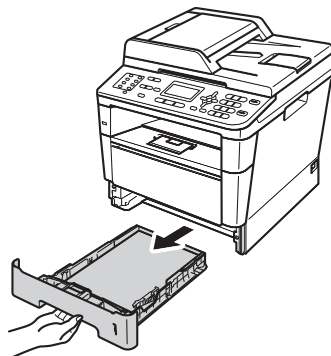
両面印刷時に記録紙がつまったとき

紙詰まり　両面

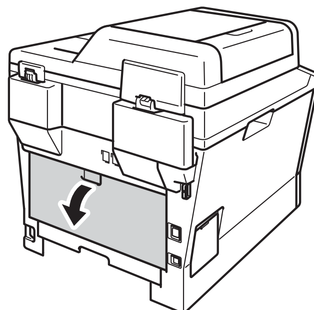
背面の両面トレイを引き出して、詰まった用紙

1 電源スイッチをONにしたまま、本製品の熱が冷めるまで10分以上待つ

2 本製品から記録紙トレイを完全に引き出す



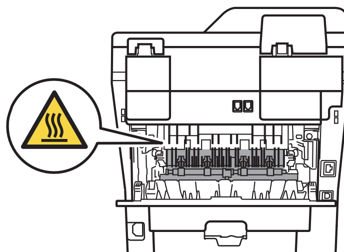
3 バックカバーを開く



警 告



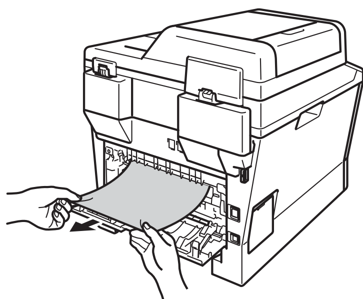
本製品の使用直後は、内部は非常に高温になっている部分があります。本製品のバックカバーを開けたときは、イラストのグレーの部分には触れないでください。やけどのおそれがあります。



本製品内部（背面）

4 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

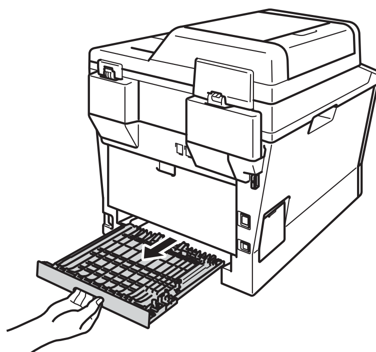


補足

- ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。
- つまった記録紙を取り除いたときに記録紙が破れた場合は、本製品の内部に記録紙が残っていないか確認してください。詳しくは、⇒109ページ「本製品の内部に記録紙がつまったとき」を参照してください。

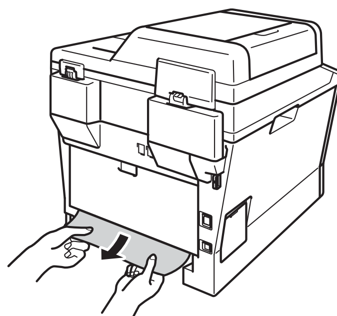
5 本製品のバックカバーをしっかりと閉じる

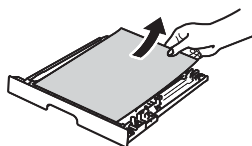
6 本製品から両面トレイを完全に引き出す



7 つまった記録紙を取り除く

両手でゆっくり引き出してください。

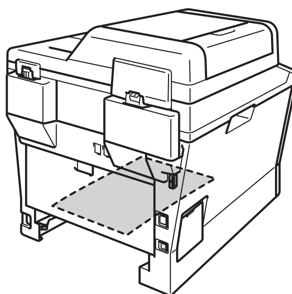




補足

ペンやはさみのような先のとがったもので記録紙を取り除かないでください。

8 本製品の底面につまった記録紙がないかを確認する



9 両面トレイを本製品に戻す

10 記録紙トレイを本製品に戻す

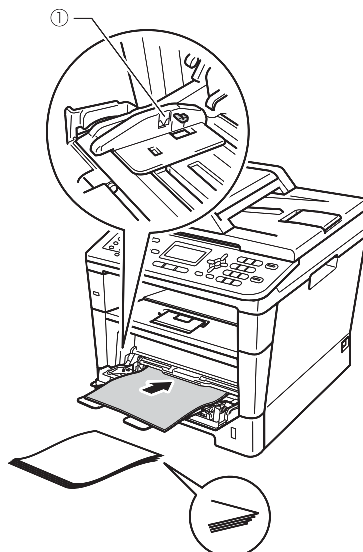
しっかりと奥までセットされているか確認してください。

原因がよくわからない！

困ったときには（コピー／印刷）

コピー／印刷ができない

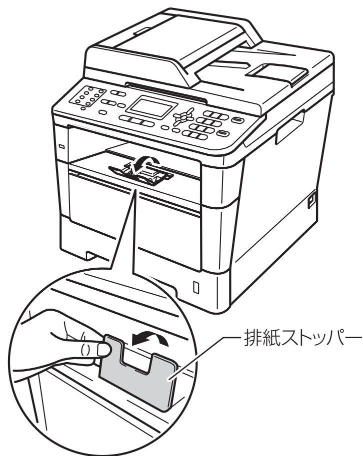
ここを確かめてください	対処方法
電源コードは差さっていますか	電源コード（壁側、本体側）を確実に差し込んでください。
本製品の電源スイッチは ON になっていますか	本製品の電源スイッチを ON にしてください。 < 電源が入らない場合 > • （落雷やパワーサージなどの）瞬間的に発生する大電流によって、本製品内部で安全装置が動作した可能性があります。 • 本製品の電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。10 分後に電源プラグを差し込み、本製品の電源スイッチを ON にしてください。
トナーカートリッジが正しく取り付けられていますか	トナーカートリッジとドラムユニットを正しく取り付けてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」、⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
給紙ローラーが汚れていませんか	⇒ 76 ページ「給紙ローラーの清掃」を参照してください。
液晶ディスプレイに【記録紙を送れません】が表示されていませんか	記録紙がまっすぐにセットされていることを確認してください。また、記録紙が丸まっていないか、記録紙が折れ曲がっていないか確認してください。
記録紙トレイに記録紙を多くセットしていませんか	記録紙を少し減らしてセットしてください。
原稿が正しく送り込まれていますか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	• 原稿を一度取り出し、もう一度確実に挿入してください。 • ADF（自動原稿送り装置）カバーをもう一度閉じ直してください。 • 原稿が薄すぎたり、厚すぎたりしている場合や原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっている場合は、原稿台ガラスからファクスやコピーをしてください。 ⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。 • 原稿のサイズを確認してください。 • 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっている場合があります。ADF（自動原稿送り装置）カバーを開け、つまっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 102 ページ「原稿がつまったとき」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの給紙方法は正しいですか	プリンタードライバーの給紙方法を確認してください。 **（多目的トレイ（MP トレイ）使用時）** • 記録紙をよくさばいてからセットし直してください。 • プリンタードライバーの給紙方法が多目的トレイ（MP トレイ）を選択しているか確認してください。
原稿が斜めになって送り込まれていませんか（ADF（自動原稿送り装置）使用時）	原稿ガイドを原稿に合わせてください。
記録紙トレイに記録紙を正しくセットしていますか	⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。
多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙を正しくセットしていますか	記録紙をよくさばき、イラストのように記録紙の先端をずらし、記録紙の先端が軽く当たるまで差し込んでください。記録紙が用紙ガイドの両端にあるマーク①より下に収まっているか確認してください。 または、⇒ 29 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙をセットする」を参照してください。 
記録紙がつまってないか確認してください	⇒ 102 ページ「紙がつまった！」を参照してください。 フロントカバー、またはバックカバーを確実に閉めてください。

両面印刷ができない

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの設定は正しいですか	プリンタードライバーが［両面印刷］に設定されているか確認してください。
用紙サイズを正しく設定していますか	用紙サイズが正しく設定されているか確認してください。
バックカバーが完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。
両面トレイが正しく取り付けられていますか	両面トレイが正しく取り付けられているか確認してください。

排紙トレイから記録紙が落ちる

ここを確かめてください	対処方法
排紙ストッパーを開いていますか	上面排紙トレイの排紙ストッパーを開いてください。

コピーできない

ここを確かめてください		対処方法
コピーモードになっていますか		• ＜コピー＞が点灯しているか確認してください。 • 初期設定では、2分後に自動的にファクスモードに戻ります。最後に使ったモードを保持したい場合は、モードタイマーの設定を【切】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「モード設定」を参照してください。
セキュリティ機能ロック 2.0 が設定されていませんか		本製品の管理者にセキュリティ機能ロック 2.0 が設定されていないか確認してください。

コンピューターから印刷できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください		対処方法
①ケーブルが正しく接続されていますか		• 本製品側とコンピューター側の両方のケーブルを差し直してください。（USB ハブなどを経由しては接続できません。） • 複数の機器がコンピューターに接続されている場合は、一時的に本製品以外を取り外して、印刷・コピー・ファクス・スキャンができるか試してください。
②本製品が通常ご使用になるプリンターに設定されていますか		本製品のアイコンにチェックマークが付いているか確認してください。付いていない場合は、次の手順に従って、チェックマークを付けます。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［通常使うプリンターに設定］にカーソルを合わせ、通常使うプリンタードライバーにチェックを入れます。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを入れます。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［通常使うプリンタに設定］をクリックしてチェックを入れます。
③液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか		⇒ 95 ページ「液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示された！（エラーメッセージ一覧）」を参照してください。

ここを確かめてください	対処方法
④オフラインの状態になっていませんか	 本製品がオフラインになっていないか確認します。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］にカーソルを合わせ、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。［プリンター］をクリックし、［プリンターをオフラインで使用する］にチェックがある場合は、オフラインの状態です。［プリンターをオフラインで使用する］をクリックし、チェックを外してください。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンタをオンラインで使用する］がメニューにある場合は、オフラインの状態です。［プリンタをオンラインで使用する］をクリックしてください。
⑤一時停止の状態になっていませんか	 本製品が一時停止の状態になっていないか確認します。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］にカーソルを合わせ、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。［Brother MFC-XXXX Printer- 一時停止］が表示されていたら、再開させたい印刷データを右クリックし、［再開］をクリックしてください。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷の再開］がメニューにある場合は、一時停止の状態です。［印刷の再開］をクリックしてください。

ここを確かめてください	対処方法
⑥印刷待ちのデータがありませんか	• 印刷に失敗した古いデータが残っている場合があります。以下の方法でデータを削除してください。 <Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［印刷ジョブの表示］にカーソルを合わせ、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。印刷データを選択し、［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンをダブルクリックして、印刷データを選択します。［ドキュメント］メニューから［キャンセル］を選択します。 • 本製品内に残っているデータを消去する場合は、＜停止 / 終了＞を押してください。
⑦印刷先（ポート）の設定が間違っていませんか	<Windows® 7> メニューから［デバイスとプリンター］をクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］にカーソルを合わせ、ご使用のプリンタードライバーをクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows Vista®> メニューから［コントロール パネル］-［ハードウェアとサウンド］-［プリンタ］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。 <Windows® XP> ［スタート］-［コントロール パネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。本製品のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを正しく設定します。
⑧セキュリティ機能ロック 2.0 が設定されていませんか	ネットワーク管理者に連絡して、セキュリティ機能ロック2.0が設定されていないか確認してください。
⑨アドビ・イラストレーターを使用していますか	印刷解像度が高すぎる可能性があります。印刷解像度を低く設定してください。
⑩お使いのコンピューターを再起動して、本製品の電源を入れ直してください	本製品とコンピューターを確認しても印刷できない場合は、コンピューターを再起動し、本製品の電源を入れ直してください。

ここを確かめてください	対処方法
⑪ プリンタードライバーをアンインストールし、再インストールしてください	本製品の電源を入れ直しても印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてからコンピューターを再起動し、⇒「かんたん設置ガイド」に従ってもう一度ドライバーをインストールしてください。

コピー／印刷結果が悪い

印刷した内容に問題がある場合は、はじめに次の手順を確認してください。
それでも解決しない場合は、「こんなコピー/印刷結果のときは」の問題例やイラストを確認し、対処方法に従ってください。

1. 本製品の仕様を満たしている記録紙を使用しているか確認してください。⇒ 24 ページ「記録紙の基本」、⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。

補足

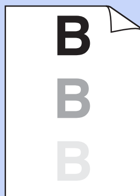
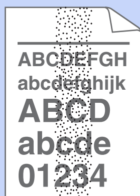
最適な印刷品質で印刷するために、推奨紙の使用をおすすめします。⇒ユーザーズガイド 応用編「推奨紙」を参照してください。

2. ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく取り付けられているか確認してください。

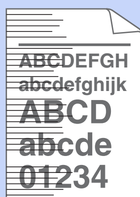
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果が圧縮され、水平の縞が現れるまたは、上下左右の文章が切れる	原稿の上下左右に、印刷不可能領域があるので、余白を調整して印刷し直してください。
A4 サイズより小さい原稿を原稿台ガラスからコピーする場合に印刷結果が切れる	コピーするときに使用する記録紙トレイの設定を【記録紙トレイ ＃1 のみ】、【記録紙トレイ ＃2 のみ】(オプションの増設記録紙トレイ装着時)、または【多目的トレイ のみ】のいずれかに設定し、選択した記録紙の記録紙サイズを原稿と同じサイズに設定してください。 コピー終了後、元の設定に戻してください。 記録紙トレイの設定は、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」、記録紙サイズの設定は、⇒ 31 ページ「セットした記録紙に合わせて本体の設定を変更する」を参照してください。
色つきの文字・鉛筆などで書いた薄い文字の原稿をコピーしたときに、印刷結果が薄い	画質の設定を【テキスト】に設定し、コントラストのレベルを変更してください。 ⇒ 61 ページ「画質を設定する」、⇒ 62 ページ「コントラストを設定する」を参照してください。

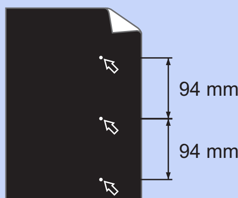
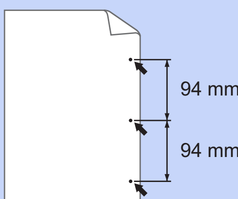
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
何も印刷されない（真っ白）	• 原稿を表と裏を間違えてセットしている可能性があります。ADF（自動原稿送り装置）の場合は、コピーする面を上にして、原稿台ガラスの場合は、コピーする面を下にして原稿をセットしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒69 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り出し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく取り付け直し、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。
印刷結果が薄すぎるか濃すぎる	• コントラストまたは明るさを印刷条件に合わせて調整してください。お買い上げ時は中央に設定されています。 ⇒ 62 ページ「コントラストを設定する」、⇒ 61 ページ「明るさを設定する」を参照してください。 原稿の先端に色が付いていると、濃い原稿と判断することがあります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。 • 複写式の原稿は文字が読み取りにくい場合があります。推奨している記録紙を使用してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「必要なときに確認してほしいこと」を参照してください。 • 薄い色や、青色や緑色の文字で書かれた原稿は、文字が読み取りにくい場合があります。文字の色を濃くしてください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白い部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒69 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニットとトナーカートリッジが正しく装着されていない可能性があります。ドラムユニットを取り出し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してください。トナーカートリッジを正しく取り付け直し、ドラムユニットを本製品に正しく装着してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。⇒ 78 ページ「トナーカートリッジとドラムユニットについて」を参照してください。

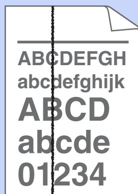
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷結果がかすれる  	• ドラムユニットを取り出してください。両手でドラムユニット（トナーカートリッジを装着したまま）を持ち、トナーが均等になるように、左右に5～6回ゆっくりと振ってください。 • 液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示されていたら、トナーカートリッジを新しいものに交換してください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジ交換のメッセージ」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 原稿台ガラスを清掃してください。 • すべてのページが薄い場合には、トナー節約モードが【オフ】になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
背景が灰色になる  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

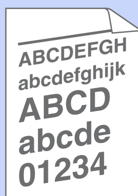
こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
同じイメージが等間隔で繰り返し印刷される  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • プリンタードライバーの設定で［高湿度下での残像を改善する］チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • 新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題の原因になる場合があります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。
トナー汚れが生じる  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • ドラムユニットとドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。⇒ 73 ページ「ドラムユニットの清掃」、⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

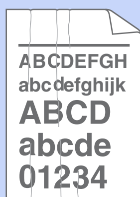
こんなコピー／印刷結果のときは		対処方法
印字部がところどころ白く欠ける 		• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • プリンタードライバーの［用紙種類］で［超厚紙］を選択するか、現在ご使用のものより薄い記録紙をご使用ください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
黒い点々が不規則に現れる 		• トナーカートリッジから本製品内部にトナーが漏れていないか確認してください。漏れている場合は、新しいトナーカートリッジに交換してください。 • コピーを数枚してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒ 77 ページ「消耗品の交換」を参照してください。
真っ黒なページが印刷される 		• 原稿台カバーが完全に閉じているか確認してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、 白い線が横方向に現れる  	• ご使用の記録紙が本製品に適しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択しているか確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • この問題は本製品が自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページを印刷してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットを本製品から取り出し、トナーカートリッジをドラムユニットから取り外してドラムユニット内部に紙片など異物がないか確認してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒77ページ「消耗品の交換」を参照してください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、平行な線が現れる  	• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
印刷されたページに、 帯状の白い線が横方向に現れる  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択してください。 • 本製品の設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。 • 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
黒い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる  白い文章や画像が印刷されたページに周期な点が現れる  	• 数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、感光ドラム表面にのりが付着していることがあります。 ⇒ 73 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。
黒い汚れが平行に繰り返し入る  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • ラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着することがあります。ドラムユニットを清掃してください。⇒ 73 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラム表面を傷つけるおそれがありますので、クリップやホチキスが付いた記録紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれることがあります。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
印刷されたページに、 線が縦方向に現れる 	• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 69 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • 感光ドラムの表面にトナーや粘着性の汚れが付いている場合は、乾いた布で拭きとってください。⇒ 73 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒ 77 ページ「消耗品の交換」を参照してください。 • 定着ユニットが汚れていることがあります。お客様相談窓口へお問い合わせください。

こんなコピー／印刷結果のときは		対処方法
印刷されたページに、 白い線が縦方向に現れる  		• 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていない、または異物（付箋、ほこりなど）が付着していないことを確認してください。 • 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 69 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • トナー残量が少なくなっている、またはトナーカートリッジが破損していることがあります。新しいトナーカートリッジに交換して試してみてください。⇒ 82 ページ「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 • ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 • ドラムユニットを清掃してください。⇒ 73 ページ「ドラムユニットの清掃」を参照してください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 • 本製品内部で結露している可能性があります。複数ページを印刷してください。改善されない場合は、2 時間程度放置してください。 • ブラザー純正のトナーカートリッジとドラムユニットを使用しているか確認してください。 ⇒ 77 ページ「消耗品の交換」を参照してください。
斜めに印刷される  		• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • 記録紙やその他のメディアが記録紙トレイに正しく挿入されているか確認してください。また、記録紙ガイドが記録紙の大きさに合っているか確認してください。 • 記録紙ガイドを正確にセットしてください。記録紙ガイドが固定され動かないことを確認してください。⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 多目的トレイ（MP トレイ）をご使用の場合は⇒ 29 ページ「多目的トレイ（MP トレイ）に記録紙をセットする」を参照してください。 • 本製品の中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。 • この問題が両面印刷時に起こるときは、両面トレイの中につまった紙や破れた紙が残っていないことを確認してください。また、両面トレイが完全に本製品に戻してあること、バックカバー（背面排紙トレイ）が完全に閉じられていることを確認してください。 • 記録紙トレイ内の紙の枚数が多すぎる場合があります。⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • 原稿ガイドが原稿の幅に正しく合わせられているか確認してください。⇒ 34 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットする」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
カールしたり波打って印刷される  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • 本製品を長時間使用していないと、記録紙が記録紙トレイの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の記録紙を裏返すか、記録紙をさばいてから向きを 180 度回転させてみてください。 • 高温多湿の場所で放置していない用紙をセットしてください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開いて、印刷してみてください。詳しくは、⇒ 30 ページ「封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに 印刷する場合」を参照してください。 • プリンタードライバーで、［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。
しわが寄ったり折れ曲がって印刷される  	• 用紙の種類と品質を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「記録紙のこと」を参照してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）が正しく閉められているか確認してください。 • 記録紙が正しく給紙されているか確認してください。⇒ 27 ページ「記録紙トレイに記録紙をセットする」を参照してください。 • トレイの中の記録紙を裏返すか、向きを 180 度回転させてみてください。
封筒にしわが寄ったり折れ曲がって印刷される  	• バックカバー（背面排紙トレイ）を開けて、封筒がバックカバー（背面排紙トレイ）に排出されているか確認してください。 • 封筒が多目的トレイ（MP トレイ）から正しく給紙されているか確認してください。 • 封筒の種類と品質を確認してください。⇒162ページ「用紙仕様」を参照してください。
印刷された箇所を指でこすると汚れる  	• プリンタードライバーの設定で［トナーの定着を改善する］チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • 数ページしか印刷しない場合は、［用紙種類］で、より厚い用紙に変更してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

こんなコピー／印刷結果のときは	対処方法
丸まって印刷される  	• プリンタードライバーの設定で［用紙のカールを軽減する］チェックボックスをチェックしてください。 ［印刷結果の改善］を選択して、設定を確認してください。詳しくは⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • バックカバー（背面排紙トレイ）を開いて、印刷してみてください。詳しくは、⇒ 30 ページ「封筒、超厚紙、ラベル紙、ハガキに 印刷する場合」を参照してください。
細線の画像が欠けている	• トナー節約モードが【オフ】になっているか確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • プリンタードライバーで印刷の解像度を変更してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。 • Windows® プリンタードライバーを使用している場合は、［パターン印刷を改善する］、または［細線の印刷を改善する］のチェックボックスにチェックを入れてください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「プリンターとして使う」を参照してください。

困ったときには（スキャン）

スキャンできない

このような場合は	対処方法
スキャン中にエラーが表示される	Windows®の場合、Presto! PageManagerで［ファイル］-［ソースの選択］-［ソースを選択］ダイアログボックスで［TW-Brother MFC-8520DN］を選択し、［OK］をクリックしてください。 Macintosh の場合、［ファイル］-［取り込みデバイスを選択］の選択をして、Brother TWAIN ドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。（Mac OS X 10.5.8 の場合）
OCR が使用できない	解像度を上げてもう一度スキャンしてください。
ネットワークスキャンが使用できない	⇒「ユーザーズガイド ネットワーク編」を参照してください。

困ったときには（電話／ファクス）

ファクスできない

ここを確かめてください	対処方法
本製品が正しく設定されていますか	回線種別を正しく設定してください。 ⇒21 ページ「電話回線のこと」、⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ファクスを送信／受信できる相手とできない相手がいますか	【安心通信モード】を設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP)】の順にお試しください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ダイヤルできますか	• 電話線を正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド「電話機コードを接続する」を参照してください。 • 接続されている電話機の受話器が上がっている場合は受話器を戻し、本製品の＜オンフック＞を押して相手先のファクス番号を入力し、ファクスを送信してください。詳しくは、⇒39 ページ「ファクスを手動で送信する」を参照してください。
送信確認レポートで、「結果エラー」と印刷される	もう一度ファクスを送信してください。問題が続いている場合、電話会社に問い合わせ、回線を確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
原稿を正しくセットしていますか	原稿を正しくセットしているか確認してください。
登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っていませんか	登録している電話番号に、ポーズ【p】が入っている場合は、削除してください。
IP フォンを使用していますか	ご利用しているプロバイダーへファクス通信が保障されていることを確認してください。
IP 網を使用した専用線を使用していますか	【安心通信モード】を【標準】に変更してください。 または、一般電話回線を選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
ADSL 環境ですか	• ブランチ接続（並列）接続をしないでください。 • ラインセパレータ（分岐器）を使用すると改善する場合があります。

ファクスできない（応用編）

こんなときは	対処方法
自動受信できない	• 呼び出し回数が多すぎないか確認してください。受信モードのときは呼び出し回数を 6 回以下に、留守モードのときは呼び出し回数を 2 回以下に設定してください。⇒ 45 ページ「呼び出し回数を設定する」を参照してください。 または、手動で受信してください。 • 自動で記録紙に印刷したいときは、【転送/メモリ受信】の設定を【オフ】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「転送・リモコン」を参照してください。
リモート受信できない	•【リモート受信】の設定を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • リモート起動番号を本製品に接続されている電話機のダイヤルボタンで正しくダイヤルしてください。 お買い上げ時は「＃５１」に設定されています。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。 • メモリがいっぱいになっている場合があります。 メモリ内部のデータを印刷するか、メモリの内容を消去してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

こんなときは	対処方法
構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない	【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 それでも受信できないときは、「お客様相談窓口」にご連絡ください。
IP 網を使用している	「0000」や選択番号をダイヤルした後、約 3 秒間待ってから相手の番号や電話帳をダイヤルしてください。
ファクスを複数枚送信できない	• ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合 リアルタイム送信が【オン】になっていることを確認して送信してください。 • 原稿台ガラスを使用する場合 リアルタイム送信が【オフ】になっていることを確認して送信してください。それでも送信に失敗する場合は、メモリーの容量が不足している可能性があります。その場合は、ADF（自動原稿送り装置）を使用して送信してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

リモコン機能が使えない

ここを確かめてください	対処方法
トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。

ファクスの画質が悪い

こんなときは	対処方法
受信したファクスが分割されて 2 ページに印刷される	【自動縮小】を【オン】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。
受信したファクスの画像が乱れる	• 相手に画質を変更して送信してもらってください。 • キャッチホンが途中で入っていませんか。「キャッチホンⅡ」のサービスに変更し、「キャッチホンⅡ」の呼び出しベル回数を 0 回に設定してください。「キャッチホンⅡ」の詳しい内容は NTT の 166 番にお問い合わせください。 • ブランチ接続（並列接続）はしないでください。 ⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。

こんなときは		対処方法
受信したファクスに縦の線が現れる		• ドラムユニット内にあるコロナワイヤーを清掃することで問題が解決することがあります。緑色のつまみを 2 ～ 3 回往復させてください。緑色のつまみが必ず元の位置（▲）に戻してあるか確認してください。⇒ 71 ページ「コロナワイヤーの清掃」を参照してください。 清掃後も線が現れる場合は、ドラムユニットを新しいものに交換してください。⇒ 87 ページ「ドラムユニットの交換」を参照してください。 それでも改善されない場合は、定着ユニットに汚れがある可能性があります。お客様相談窓口へご連絡ください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
受信したファクスに、水平の線が現れるまたは、行が抜ける		• 回線状況が悪い可能性があります。相手にファクスを再送するように依頼してください。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。 • 相手側のファクス読み取り部が汚れている可能性があります。相手にファクス読み取り部の汚れを確認してもらってください。
相手側で受信したファクスが鮮明でない		• 原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 69 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。 • ファクスの送信時に選択した解像度が適切でないことがあります。【ファイン】または【スーパーファイン】モードを使用してファクスを再送信してください。原稿が写真の場合は、【写真】モードを選択して送信してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。
送信したファクスに縦の線が現れる		原稿台ガラスの読み取り部と原稿台カバー（白色の部分）、ADF 読み取り部を清掃してください。⇒ 69 ページ「原稿台ガラスとスキャナー読み取り部を清掃する」を参照してください。
送信したファクスに横の線が現れる		• キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。⇒ 44 ページ「電話モード」を参照してください。 •【安心通信モード】の設定を【標準】または【安心(VoIP)】にしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス送信」を参照してください。

電話がかけられない

ここを確かめてください	対処方法
受話器から「ツー」という音が聞こえますか	本製品に接続している電話機が本製品の外付け電話（EXT.）端子に接続していることを確認してください。
ひかり電話を使用していますか	• 手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。 • 一部つながらない番号があります。ご利用の電話会社へのお問い合わせください。

着信音が鳴らない

ここを確かめてください	対処方法
電源は入っていますか	本製品の電源スイッチが ON になっているか確認してください。また電源コードも確認してください。
ひかり電話を使用していますか	VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になってるか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
ISDN を使用していますか	• ターミナルアダプタの電源が入っているか確認してください。また、設定を何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。 それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。 • ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認してください。 異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。 • 本製品を接続しているアナログポートの設定を「電話」にしてください。 • 「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。 ターミナルアダプタの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
ISDN 回線で、複数の回線を契約していますか	• ダイヤルイン番号またはiナンバーを着信させるアナログポートはグローバル着信を「しない」に設定してください。 • まだ問題がある場合は、お使いになっているターミナルアダプタのメーカーまたは最寄りのNTTにお問い合わせください。

「声」をファクス信号音として誤って検出する

ここを確かめてください		対処方法
【親切受信】が【オン】に設定されていませんか		本製品の【親切受信】が【オン】に設定されていると、音に対して敏感になります。本製品は回線上の特定の音声をファクス機器の呼び出しと間違って、ファクスの受信トーンで応答することがあります。本製品に接続している電話機をお使いの場合は、⇒ユーザーズガイド 応用編「ファクス受信」を参照してください。

キャッチホン、ナンバー・ディスプレイが使用できない

ここを確かめてください		対処方法
雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない		ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、正しく接続し直してください。⇒「安全にお使いいただくために」を参照してください。
電話番号が表示されない		• ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、ブランチ接続（並列接続）をしないでください。 • NTT のナンバー・ディスプレイサービスの契約をしてください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。
ISDN を使用していますか		本製品を接続しているターミナルアダプタのアナログポートから、番号情報が送出される設定になっているか確認してください。
ひかり電話を使用していますか		VoIP アダプタ側が、ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になってるか確認してください。 場合によっては、VoIP アダプタの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプタの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。

IPファクスで送受信できない

以下の順番で確認してください。

ここを確かめてください	対処方法
①NTT のフレッツ光ネクストに契約していますか	NTT のフレッツ光ネクストに契約し、専用のホームゲートウェイを設置してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
②ホームゲートウェイの光ファイバーケーブル、LAN ケーブルが正しく接続されていますか	配線の接続を確認してください。 ⇒ 21 ページ「次世代ネットワーク（NGN）に接続する場合」を参照してください。
③ホームゲートウェイの電源スイッチが On になっていますか	電源スイッチが On になっているときは、電源コードを確認してください。
④ホームゲートウェイが正しく設定されていますか	ホームゲートウェイの設定を変更した場合は、本製品の電源を入れ直してください。 正しく設定されていても、うまくいかないときは NTT にお問い合わせください。
⑤次世代ネットワーク（NGN）のサービスが、正常に提供されていますか	最寄りの NTT 窓口にお問い合わせください。
⑥（送信時のみ）データコネクト設定の IP ファクスが、【オフ】になっていませんか	【専用】または【優先】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編「IP ファクスの設定をする」を参照してください。
⑦TCP/IP 設定の IP 取得方法が、【Auto】または【DHCP】に設定されていますか	【Auto】または【DHCP】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「IP 取得方法」を参照してください。
⑧ホームゲートウェイの設定を変更していませんか	本製品の電源を入れ直してください。
⑨相手側の設定は正しいですか	①～⑧を相手側に確認してもらってください。

困ったときには（その他）

突然印刷が開始されたり、無意味なデータが印刷される

ここを確かめてください	対処方法
USB ケーブル、LAN ケーブルが長すぎないか、破損または故障していませんか	• USBケーブルは長さが2.0m以下のものをおすすめします。 • ケーブルが破損、故障している場合は交換してください。
インターフェイス切替器を使用していますか	インターフェイス切替器を取り外して、直接本製品と接続してください。

マイクロソフト「エクセル」または「パワーポイント」をご使用中にオブジェクトに設定したハッチパターンがうまくプリントできない（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
プリンタードライバーの［基本設定］タブで［印刷設定］の［パターン印刷を改善する］にチェックが入っていますか	以下の手順で設定を確認してください。 1 ［基本設定］タブで［印刷設定］のプルダウンメニューから［手動設定］を選択する。 2 ［手動設定］をクリックし、［パターン印刷を改善する］のチェックボックスにチェックが入っていることを確認する。

コンピューターの画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない

ここを確かめてください	対処方法
ヘッダーまたはフッターの設定が間違っていませんか	ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した（Windows®のみ）

ここを確かめてください	対処方法
ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「リモートセットアップ」

スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる

ここを確かめてください	対処方法
スピーカーの近くにアンテナがありませんか	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。

印刷速度がとても遅い

ここを確かめてください	対処方法
印刷品質が高品質になっていませんか	プリンタードライバーの設定を変更してください。
静音モードにしていませんか	静音モードの設定を確認してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「静音モードについて」を参照してください。
バックカバーが完全に閉じていますか	バックカバーが完全に閉じているか確認してください。
両面トレイが正しく取り付けられていますか	両面トレイが正しく取り付けられているか確認してください。

液晶ディスプレイの文字が読みにくい

ここを確かめてください	対処方法
液晶ディスプレイのコントラストの設定が適切ですか	液晶ディスプレイのコントラストの設定を変更してください。⇒ユーザーズガイド 応用編「全体にかかわる設定」を参照してください。

Macintoshに接続したプリンターが表示されない

ここを確かめてください	対処方法
ケーブルが正しく接続されていますか	ケーブルを正しく接続してください。⇒「かんたん設置ガイド」を参照してください。
プリンタードライバーはインストールされていますか	• プリンタードライバーが正しくインストールされているかを確認してください。 • ［システム環境設定］-［プリントとファクス］※をクリックし、本製品が選択されているか確認してください。 ※：Mac OS X 10.5.8、10.6.x の場合。 Mac OS X 10.7.x の場合は、［プリントとスキャン］をクリックします。

本製品の動作中にUPSから警告音が鳴る

ここを確かめてください	対処方法
UPS（無停電電源装置）を使用していませんか	本製品の電源プラグを直接コンセントに差し込んでください。

その他

ここを確かめてください	対処方法
USBxxx: への書き込みエラーが表示される	液晶ディスプレイに【トナー交換】が表示されていませんか。 • トナーカートリッジを交換してください。⇒ 82ページ「トナーカートリッジ交換のメッセージ」を参照してください。
印刷すると照明がちらついたり、コンピューターのディスプレイ表示が不安定になっていませんか	コンセントの容量が不足していると、このような現象が起きる場合があります。 本製品の電源を別系統のコンセントに接続してください。

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。操作パネルの＜メニュー＞を押し、液晶ディスプレイに表示されるメッセージに従って、登録や設定を行います。
下線付きの選択項目は、初期設定（お買い上げ時の設定）を示します。

初期設定機能

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
0. 初期設定	1. 受信モード	―	FAX=ファクス専用 F/T=自動切換え 留守=外付け留守電 TEL=電話	受信モードを設定します。	⇒45ページ
	2. 時計セット	1. 時計セット	2013 01/01 00:00	現在の日付・時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. タイム ゾーン	UTCXXX：XX UTC+09：00	タイムゾーンを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	3. 発信元登録	―	ファクス 電話 名前	ファクスに印刷される発信元の名前、ファクス番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	4. 回線種別設定	―	プッシュ回線 ダイヤル 10PPS ダイヤル 20PPS 自動設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5. ダイヤルトーン設定	―	検知する 検知しない	ダイヤルトーン検知を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6. 特別回線対応	―	一般 ISDN PBX	回線種別を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7. ナンバー プレフィックス	―	―	外線にダイヤルするときに必要な番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	8. リセット	1. 機能設定	1. 決定 2. キャンセル	コピー、ファクスなど各種機能でご使用に合わせて設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ネットワーク	1. 決定 2. キャンセル	ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
0. 初期設定	8. リセット	3. 電話帳 & ファクス	1. 決定 2. キャンセル	電話帳や着信履歴、メモリなどをすべて消去します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4. 全設定	1. 決定 2. キャンセル	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	0. 表示言語	―	日本語 English	液晶ディスプレイに表示される言語を設定します。 This setting allows you to change LCD Language to English.	⇒ユーザーズガイド 応用編

基本設定機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択		選択項目	内　　容	参照 ページ
1. 基本設定	1. モードタイマー	―		0 秒 30 秒 1 分 2 分 5 分 切	ファクスモードに戻る時間を設定します。 【切】を選択すると、最後に使ったモードを保持します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	2. 記録紙設定	1. 記録紙タイプ	1. 多目的トレイ	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 ラベル紙	記録紙トレイにセットする記録紙のタイプを設定します。	⇒31ページ
			2. 記録紙トレイ #1	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙		
			3. 記録紙トレイ #2※	普通紙 普通紙(厚め) 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙		

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択		選択項目	内　　容	参照 ページ
1. 基本設定	2. 記録紙設定	2. 記録紙サイズ	1. 多目的トレイ	A4 USレター リーガル A5 A5 L（A5（横置き）） A6 B5 B6 フォリオ ハガキ フリー	記録紙トレイにセットする記録紙のサイズを設定します。	⇒31ページ
			2，記録紙トレイ #1	A4 USレター リーガル A5 A5 L（A5（横置き）） A6 B5 フォリオ ハガキ		
			3，記録紙トレイ #2※	A4 USレター リーガル A5 B5 フォリオ		
	3. 音量	1. 着信音量		小 中 大 切	着信音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ボタン確認音量		小 中 大 切	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3. スピーカー音量		小 中 大 切	スピーカーの音量を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
1. 基本設定	4. 省エネモード	1. トナー節約モード	オン オフ	トナーの使用量をセーブします。【オン】に設定すると、印字結果が薄くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. スリープ　モード	03分 (00−5 分)	スリープ状態になるまでの時間を設定します。消費電力を節約することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5. 静音モード	−	オン オフ	プリンターの印刷時の動作音を静かにします。【オン】に設定すると、印字速度が遅くなります。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6. トレイ選択	1. コピー	記録紙トレイ #1 のみ 記録紙トレイ #2 のみ※ 多目的トレイ のみ 多目的トレイ > トレイ#1 多目的 > #1 > #2※ トレイ#1 > 多目的トレイ #1 > #2 > 多目的※	コピーするときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ファクス	記録紙トレイ #1 のみ 記録紙トレイ #2 のみ※ 多目的トレイ のみ 多目的トレイ > トレイ#1 多目的 > #1> #2※ トレイ#1 > 多目的トレイ #1 > #2 > 多目的※	ファクスを印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3. プリンター	記録紙トレイ #1 のみ 記録紙トレイ #2 のみ※ 多目的トレイ のみ 多目的トレイ > トレイ#1 多目的 > #1 > #2※ トレイ#1 > 多目的トレイ #1 > #2 > 多目的※	プリンター印刷するときに給紙する記録紙トレイを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7. 画面のコントラスト		−□□■□□+	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メインメニュー	サブメニュー	メニュー選択	選択項目	内　容	参照ページ
1. 基本設定	8. セキュリティ	1. セキュリティ機能ロック	ー	暗証番号を設定しファクス送信などの機能をユーザごとにロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. セキュリティ設定ロック	ー	暗証番号を設定し機能設定をロックします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	9. 原稿読み取り設定	1. 原稿台スキャンサイズ	A4 USレター	ー	⇒35ページ
		2. ファイルサイズ　1. カラー	小 中 大	ユーザーズガイド パソコン活用編を参照してください。	
		2. ファイルサイズ　2. グレー	小 中 大		
		3. 両面読み取り方向	長辺とじ 短辺とじ	両面印刷、両面コピー、または両面スキャンするときに原稿の読み取り方向を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときにメニューが表示されます。

ファクス機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	1. 受信設定	1. ファクス無鳴動受信	オン オフ	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. 呼出回数	00 : 04 : 10	受信モードが【FAX=ファクス専用】と【F/T= 自動切換え】のとき、着信してから自動受信するまでの呼び出し回数を0～10回の間で設定します。	⇒45ページ
		3. 再呼出回数	8 15 20	受信モードが【F/T= 自動切換え】のとき、本製品が自動受信後に鳴る呼び出し音の回数を設定します。	⇒45ページ
		4. 親切受信	オン オフ	ファクスを自動受信する前に本製品と接続されている電話をとってしまった場合でも、本製品の＜スタート＞を押さずに、ファクスを受信する機能を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		5. リモート 受信	オン（起動番号：#51） オフ	本製品と接続されている電話機からファクスを受信させるときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		6. 自動縮小	オン オフ	A4サイズより長い原稿が送られてきたときに自動的に縮小する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		7. 印刷濃度	−□□■□□+	受信したファクスを印刷する濃度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		8. ポーリング受信	標準 機密 タイマー	ポーリング受信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		9. 受信スタンプ	オン オフ	ファクス印刷するときに受信した日時を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		0. 両面印刷	オン オフ	両面印刷を設定します。	⇒45ページ

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択		選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	2. 送信設定	1. 原稿濃度		自動 濃く 薄く	原稿に合わせて濃度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ファクス画質		標準 ファイン スーパーファイン 写真	送信時の画質の設定をします。ここで設定した内容は次に変更するまで有効です。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3. タイマー送信		指定時刻=00：00～23：59	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4. とりまとめ送信		オン オフ	同一の相手に一括してタイマー送信を行うときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		5. リアルタイム送信		今回のみ：オン 今回のみ：オフ オン オフ	メモリを使わずに原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		6. ポーリング送信		標準 機密	ポーリング送信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		7. 送付書	1. 設定	今回のみ：オン 今回のみ：オフ オン オフ 印刷サンプル	送付書を付加する／しないを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
			2. コメント編集	―	送付書のコメントを作成します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		8. 海外送信モード		オン オフ	海外にファクスを送るときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		9. 送信先表示		表示 非表示	ファクス送信の宛先情報を液晶ディスプレイに表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		0. 自動再ダイヤル		オン オフ	自動再ダイヤルの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	3. 電話帳登録	1. 電話帳／ワンタッチ		―	ワンタッチボタン1～16に相手先番号と名前を登録します。	⇒47ページ
		2. 電話帳／短縮		―	3桁の短縮番号（001～300）に相手先番号と名前を登録します。	⇒48ページ
		3. 電話帳／グループ		―	複数の相手先をグループ（01～20）として登録します。	⇒49ページ

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
2. ファクス	4. レポート設定	1. 送信結果レポート	オン オン+イメージ オフ オフ+イメージ	ファクス送信後に送信結果を印刷するかどうかの設定をします。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. 通信管理間隔	50件ごと 6時間ごと 12時間ごと 24時間ごと 2日ごと 7日ごと レポート出力しない	通信管理レポートを印刷する間隔を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5. 応用機能	1. 転送／メモリ受信	ファクス転送 電話呼び出し メモリ受信 PCファクス受信 オフ	ファクスを転送したり、メモリ受信を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. 暗証番号	暗証番号:－－－＊	外出先から本製品を操作するときの暗証番号を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3. ファクス出力	－	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスを印刷するときに使用します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6. ダイヤル制限機能	1. 直接入力	2度入力 オン オフ	ファクス送信を禁止したり、誤って間違った相手にファクスを送信しないように制限することができます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ワンタッチダイヤル	2度入力 オン オフ		⇒ユーザーズガイド 応用編
		3. 短縮ダイヤル	2度入力 オン オフ		⇒ユーザーズガイド 応用編
		4. LDAPサーバー※	2度入力 オン オフ		⇒ユーザーズガイド 応用編
	7. 通信待ち一覧	－	－	メモリ送信の設定を確認したり、解除できます。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	8. データコネクト設定	1. IPファクス	専用 優先 オフ	IPファクスを使ってファクスを送信するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
2. ファクス	8. データコネクト設定	2. 通信速度	自動 標準 高速 最高速	IPファクスを使ってファクスを送信するときの通信速度を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	0. その他	1. 安心通信モード	高速 標準 安心（VoIP）	ファクスをより確実に送信したいときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ナンバーディスプレイ	オン オフ 外付け電話優先	NTTのナンバー･ディスプレイサービスを利用するときに設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

※：インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしたときに、メニューが表示されます。

コピー機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
3. コピー	1. コピー画質	—	自動 テキスト 写真 カーボン	画質を調整します。	⇒61ページ
	2. 明るさ	—	−□□■□□+	明るさを調整します。	⇒61ページ
	3. コントラスト	—	−□□■□□+	コントラストを調整します。	⇒62ページ

プリンター機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容	参照 ページ
4. プリンター	1. エミュレーション	―	自動 HP Laser Jet Epson FX-850	オペレーティングシステムとアプリケーションが異なった場合は、それぞれのエミュレーションモードを使用して印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	2. プリンター オプション	1. フォント リスト	―	本製品の内蔵フォントを印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		2. プリンター 設定	―	プリンターの設定値内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		3. テスト プリント	―	印刷品質のテスト印刷をします。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	3. 両面印刷	―	オン（長辺とじ） オン（短辺とじ） オフ	両面印刷時の内容を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	4. エラー解除	―	オン オフ	【オン】に設定すると、記録紙サイズのエラーを自動解除して、エラーにより給紙不可になったトレイから、給紙可能なトレイに自動的に切り替わり、給紙を継続します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
	5. プリンター リセット	―	1. 決定 2. キャンセル	プリンターの設定をお買い上げ時の状態に戻します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

USBダイレクト機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
5. USB ダイレクト	1. ダイレクトプリント	1. 記録紙サイズ	A4 USレター リーガル A5 A5 L （A5（横置き）） A6 B5 B6 フォリオ ハガキ	記録紙サイズを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. 記録紙タイプ	普通紙 普通紙（厚め） 厚紙 ハガキ 超厚紙 再生紙 ラベル紙	記録紙タイプを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		3. レイアウト	1in1 2in1 4in1 9in1 16in1 25in1 縦2×横2倍 縦3×横3倍 縦4×横4倍 縦5×横5倍	Nin1を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		4. 印刷の向き	縦長 横長	印刷方向を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		5. 部単位	オン オフ	部単位で印刷するかどうかを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		6. プリント画質	標準 きれい	印刷画質を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		7. PDF オプション	文書 文書&注釈 文書&スタンプ	PDFオプションを設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		8. インデックスプリント	簡易 詳細	インデックスシートの方式を設定します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目		内　　容	参照 ページ
5. USB ダイレクト	2. スキャン to USB	1. 解像度	カラー　100 dpi カラー　200 dpi カラー　300 dpi カラー　600 dpi カラー　自動 グレー　100 dpi グレー　200 dpi グレー　300 dpi グレー　自動 モノクロ　300 dpi モノクロ　200 dpi モノクロ　200x100dpi	（カラー/グレーを選んだ場合） PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS （モノクロを選んだ場合） PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
		2. ファイル名	—		保存するファイル名を入力します。	⇒ユーザーズガイド パソコン活用編

レポート印刷機能

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
6. レポート印刷	1. 送信結果レポート	1. 表示	—	送信した最新の最大 200 件分の結果を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. 印刷	—	最後に送ったファクスの送信結果を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	2. 電話帳リスト	1. メモリ番号順	—	電話帳に登録されている内容をメモリ番号順に印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. 名前順	—	電話帳に登録されている内容を名前順に印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	3. 通信管理レポート	—	—	送信･受信した最新の最大200件分の結果を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	4. 設定内容リスト	—	—	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	5. 着信履歴リスト	—	—	着信した履歴を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	6. ネットワーク設定リスト	—	—	ネットワークの設定値内容を印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	7. ドラム汚れ印刷	—	—	感光ドラムの汚れの場所を特定するためのチェックシートを印刷します。	⇒ユーザーズガイド 応用編

LAN（ネットワーク）設定機能

本製品をネットワークで使用する際の詳細については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編を参照してください。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　容
7. ネットワーク	1. TCP/IP設定	1. IP取得方法	Auto Static RARP BOOTP DHCP ※【Static】以外を選択した場合は、IPアドレスの取得を試みる回数［00000-32767］（00003）の入力を要求されます。	IPアドレスの取得方法を指定します。
		2. IP アドレス	[000−255]．[000−255]. [000−255]．[000−255] (000. 000. 000. 000)	IPアドレスを設定します。
		3. サブ ネット マスク	[000−255]．[000−255]. [000−255]．[000−255] (000. 000. 000. 000)	サブネットマスクを設定します。
		4. ゲートウェイ	[000−255]．[000−255]. [000−255]．[000−255] (000. 000. 000. 000)	ゲートウェイのアドレスを設定します。
		5. ノード名	BRNxxxxxxxxxxxx (32文字以内)	ノード名を設定します。
		6. WINS設定	Auto Static	WINS サーバーのアドレスの取得方法を設定します。
		7. WINS サーバー	プライマリ [000−255]．[000−255]. [000−255]．[000−255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000−255]．[000−255]. [000−255]．[000−255] (000. 000. 000. 000)	WINS サーバーを設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容
7. ネットワーク	1. TCP/IP設定	8. DNS サーバー	プライマリ [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000) セカンダリ [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	DNS サーバーを設定します。
		9. APIPA	オン オフ	APIPA を設定します。
		0. IPv6	オン オフ	IPv6を設定します。
	2. イーサネット	—	Auto 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD	Auto：自動接続により選択します。 100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：それぞれのリンクモードに固定されます。
	3. 接続状態	—	アクティブ　100B-FD アクティブ　100B-HD アクティブ　10B-FD アクティブ　10B-HD 未接続	接続状態を表示します。
	4. MACアドレス	—	—	MAC アドレスを表示します。
	5. Eメール／IFAX※1	1. メール アドレス	—	メールアドレスを設定します。 （最大60文字）
		2. サーバー設定 / 1. SMTP	1. SMTP サーバー： サーバー名 IPアドレス [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000. 000. 000. 000)	SMTPサーバーを設定します。 （最大64文字）
			2. SMTP ポート： [00001−65535] (00025)	SMTP 認証を行うポート番号を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択		選択項目		内　容
7. ネットワーク	5. Eメール/IFAX※1	2. サーバー設定	1. SMTP	3. SMTP認証	認証しない SMTP認証 POP bef. SMTP	SMTPの認証方式を設定します。
				4. SMTP over SSL/TLS	認証しない SSL TLS	SMTPの暗号化方式を設定します。
				5. 証明書の検証	オン オフ	SMTPサーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
			2. POP3	1. POP3 サーバー	サーバー名 IPアドレス [000−255]. [000−255]. [000−255]. [000−255] (000.000.000.000)	POP3サーバーを設定します。 (最大64文字)
				2. POP3 ポート	[00001−65535] (00110)	POP3 で使用するポート番号を設定します。
				3. アカウント名	―	アカウント名を設定します。 (最大60文字)
				4. パスワード	パスワード:******	POP3サーバーにログインするパスワードを設定します。
				5. POP3 over SSL/TLS	認証しない SSL TLS	POP3の暗号化方式を設定します。
				6. 証明書の検証	オン オフ	POP3サーバーから受信したサーバー証明書の検証を行うかどうかの設定をします。
				7. APOP	オン オフ	アカウントやパスワードのセキュリティを保つため、APOPの設定を行います。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目		内　容
7. ネットワーク	5. Eメール／IFAX※1	3. メール 受信設定	1. 自動受信	オン オフ	メールの自動受信を設定します。
			2. ポーリング間隔	[01分-60分] (10分)	自動受信で【オン】を選んだ場合に、POP3サーバーへアクセスする間隔を設定します。
			3. ヘッダー印刷	全て ヘッダーのみ なし	メールヘッダー印刷を設定します。
			4. エラーメール削除	オン オフ	エラーメールの自動削除を設定します。
			5. 受信確認	オン MDN オフ	通知メッセージを設定します。
		4. メール 送信設定	1. メール タイトル	―	メールタイトルを設定します。
			2. サイズ制限	オン オフ	メールサイズ制限を設定します。【オン】に設定すると 1MBより大きいときは警告が表示され、メールを送信することができません。
			3. 受信確認要求	オン オフ	通知メッセージを設定します。
		5. リレー 設定	1. リレー 許可	オン オフ	インターネット経由で受け取ったドキュメントを電話回線でファクスに転送します。
			2. 許可 ドメイン	リレー XX： リレー 01*YYYYY	転送を許可するドキュメント名を登録します。
			3. リレー レポート	オン オフ	転送した後のレポート出力を設定します。

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目		内　　容
7. ネットワーク	6. スキャン to Eメール※1 7. スキャン to FTP※2 8. スキャン to ネットワークファイル※3	—	カラー　100 dpi カラー　200 dpi カラー　300 dpi カラー　600 dpi カラー　自動 グレー　100 dpi グレー　200 dpi グレー　300 dpi グレー　自動 モノクロ　300 dpi モノクロ　200 dpi モノクロ　200x100dpi	(カラー/グレーを選んだ場合) PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF JPEG XPS (モノクロを選んだ場合) PDF PDF/A セキュリティPDF 電子署名付PDF TIFF	スキャンする解像度とファイル形式を設定します。
	0. ネットワーク設定リセット	—	1. 決定		ネットワークに関して設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。
			2. キャンセル		設定メニューに戻ります。

※１：インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしたときに、メニューが表示されます。

※２：インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をダウンロードしていない場合は、【5. スキャン to FTP】とメニューに表示されます。

※３：インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をダウンロードしていない場合は、【6. スキャン to ネットワークファイル】とメニューに表示されます。
スキャン to ネットワークファイルは Windows® のみの機能です。

製品情報

メイン メニュー	サブ メニュー	メニュー 選択	選択項目	内　　容	参照 ページ
8. 製品情報	1. シリアル No.	ー	ー	シリアルNo.を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	2. 印刷枚数表示	ー	合計 ファクス/リスト コピー プリンター	お買い上げ時から今までに印刷したそれぞれの枚数を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
	3. 消耗品寿命	1. ドラム寿命	ー	ドラムユニット寿命までの残り%を表示します。	⇒ユーザーズガイド 応用編
		2. ヒーター寿命	ー	定着器ユニット（ヒーター）（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
		3. レーザー寿命	ー	レーザーユニット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
		4. PF キット MP 寿命	ー	多目的トレイ PF キット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
		5. PF キット 1 寿命	ー	記録紙トレイ 1 PF キット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	
		6. PF キット 2※ 寿命	ー	記録紙トレイ 2 PF キット（定期交換部品）寿命までの残り%を表示します。	

※：オプションの増設記録紙トレイ（LT-5400）を増設したときにメニューが表示されれます。

本製品の仕様

基本設定

プリントタイプ			レーザー
プリント方式			半導体レーザー +乾式電子写真方式
メモリ	標準		128MB
	オプション		256MB（DIMM スロット x 1）
液晶ディスプレイ			漢字15文字（かな30文字）×5行
電源			AC100V（50/60Hz）
ウォームアップタイム※ 1			5.5秒以下（スリープモードから） 27秒以下（電源投入から）
消費電力※ 2	ピーク時		約1200W（25℃）
	コピー時		約697W※3（25℃）
	コピー時（静音モード）		約290W（25℃）
	スタンバイ時		約7.9W（25℃）
	ディープスリープ時		約1.1W
外形寸法			405 mm × 415 mm × 423 mm（図）
重量（消耗品を含む）			16.0kg
稼動音	音圧レベル	動作時	LpAm 59dB（A）以下
		スタンバイ時	LpAm 37dB（A）以下
		印刷時（静音モード）	LpAm 54dB（A）以下
	音響レベル	動作時	LWAd 6.64B（A）
		スタンバイ時	LWAd 4.62B（A）
		印刷時（静音モード）	LWAd 6.4B（A）

温度	操作時	10～32.5℃（結露なきこと）
	保管時	0～40℃
湿度	操作時	20～80%（結露なきこと）
	保管時	10～90%
ADF（自動原稿送り装置）		最大35枚まで 温度：20～30℃ 湿度：50～70% 用紙坪量：64～90g/m^2

※１：温度 23 ℃、湿度 50%で測定した値です。
※２：本製品とパソコンを USB ケーブルで接続した場合
※３：原稿１枚に対してコピーを１枚したときの消費電力です。コピーの状況によって異なります。

原稿サイズ

両面：ADF（自動原稿送り装置）使用時	原稿サイズ幅	147.3～215.9mm
	原稿サイズ長さ※	147.3～355.6mm

※：両面読み取りは A4 サイズまでです。

用紙仕様

給紙	記録紙トレイ（標準）	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、再生紙、ハガキ（30枚）
		用紙サイズ	A4、レター、B5（ISO/JIS）、A5、A5（横）、B6（ISO）、A6、ハガキ（同等品）
		用紙坪量	60～105g/m^2（ハガキ：185g/m^2）
		最大給紙枚数	250枚（80g/m^2）　ハガキ：30枚（185g/m^2）
	多目的トレイ（MP トレイ）	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、普通紙（厚め）、超厚紙、再生紙、封筒※4、封筒（厚め）、封筒（薄め）、ハガキ（10枚）、ラベル紙
		用紙サイズ	ユーザー定義サイズ（幅：76.2～215.9mm　長さ：127.0～355.6mm）
		用紙坪量	60～163g/m^2（ハガキ：185g/m^2）
		最大給紙枚数	50枚（80g/m^2）　ハガキ：10枚（185g/m^2）
	増設記録紙トレイ（オプション）	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、再生紙
		用紙サイズ	A4、レター、B5（ISO/JIS）、A5、B6（ISO）
		用紙坪量	60～105g/m^2
		最大給紙枚数	500枚（80g/m^2）

排紙※ 1	上面※ 2		150枚（80g/m²）
	背面排紙トレイ※ 3		1枚（ハガキ：15枚）
両面	自動両面印刷	用紙種類	普通紙、普通紙（薄め）、再生紙
		用紙サイズ	A4
		用紙坪量	60〜105g/m²

※ 1：ラベル紙は汚れ防止のため、印刷後排紙トレイからすぐに取り出してください。
※ 2：上面排紙トレイからは、印字面が下向きに排紙されます。
※ 3：背面排紙トレイからは、印字面が上向きに排紙されます。
※ 4：封筒は洋形４号（3 枚）

ファクス

互換性		スーパー G3
圧縮方式		MH/MR/MMR/JBIG/JPEG
通信速度		33600bps（自動フォールバック付き）
受信ファクスの両面印刷		あり
自動両面送信		あり
ファクス読み取り幅		ADF：208mm　原稿台：204mm
受信ファクスの印刷幅		208mm
グレースケール		8ビット/256階調
走査線密度	主走査	8ドット/mm
	副走査	3.85本/mm（標準） 7.7本/mm（ファイン/写真） 15.4本/mm（スーパーファイン）
ワンタッチダイヤル		16（8×2）件
短縮ダイヤル		300件
グループダイヤル		20件
同報送信		366件
自動再ダイヤル		3回/5分間隔
メモリ送信		500枚
メモリ代行受信※		500枚

※：A4 版 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で蓄積した場合（MMR 圧縮時）

コピー

コピー読み取り幅	A4（ADF/原稿台）：204mm
自動両面コピー	あり
連続複写枚数	スタック/ソート　最大99枚
複写倍率	1:1±1.4% / 50・70・83・87・91・94・97・100・115・141・200%・自動、25～400%の1%刻み
コピー解像度	最高1200dpi×600dpi
ファーストコピーアウトタイム	10.5秒以下
階調	256階調

スキャナー

カラー / モノクロ		あり
TWAIN ドライバー対応 OS		Windows® XP /Windows Vista® / Windows® 7 Mac OS X 10.5.8，10.6.x，10.7.x※1
WIA ドライバー対応 OS		Windows® XP / Windows Vista® / Windows® 7
ICA ドライバー対応 OS		Mac OS X 10.6.x，10.7.x
階調	フルカラー	入力：48ビット、出力：24ビット
スキャナー解像度		ADF使用時：1200×600dpi※2 原稿ガラス使用時：1200×1200dpi※2
スキャナー読み取り幅		A4（ADF/原稿台ガラス）：204mm
自動両面スキャン		あり（ADF使用時のみ）
グレースケール		256階調

※ 1 ：Mac OS X の最新のドライバーはサポートサイト（http://solutions.brother.co.jp/）よりダウンロードすることができます。

※ 2 ：WIA ドライバー（Windows®XP、Windows Vista®、Windows®7 対応）では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。
（「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。）

プリンター

自動両面印刷		あり
エミュレーション		PCL6、Epson FX-850
解像度		1200dpi × 1200dpi HQ 1200dpi（2400dpi × 600dpi）相当 600dpi × 600dpi
プリントスピード（A4）	片面	最高36枚/分※1 ※2
	両面	最高9枚/分※1 ※2
ファーストプリントタイム（レディ時）※3		8.5秒以下

※ 1 ：標準記録紙トレイおよびオプションの記録紙トレイから印刷した場合。
※ 2 ：プリントスピードは、印刷する文章のタイプにより異なります。
※ 3 ：標準記録紙トレイ使用時、レディモードから印刷した場合。

インターフェイス

USB	Hi-Speed USB 2.0※1 ※2 ※3
イーサネット※4	10BASE-T※5/100BASE-TX※5

※ 1 ：2.0m 以下の USB ケーブル（タイプ A/B）を推奨します。
※ 2 ：ご使用のコンピューター、または Macintosh が Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合。
また、USB 1.1 に対応しているコンピューターでも接続することができます。
※ 3 ：サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
※ 4 ：ネットワークの仕様については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「付録」を参照してください。
※ 5 ：カテゴリ 5（10BASE-T/100BASE-TX 用）以上のストレートタイプのツイストペアケーブルをお使いください。

ダイレクトプリント

互換性	PDF version1.7※、JPEG、Exif+JPEG、 PRN（本製品のプリンタードライバーで作成されたデータ）、 TIFF（ブラザー製品でスキャンしたデータ）、XPS version 1.0
インターフェイス	USB

※ ：JBIG2 イメージファイル、JPEG2000 イメージファイルおよびレイヤ情報を持つファイルには対応しておりません。

消耗品

トナーカートリッジ	付属品	約2,000枚※1 ※2
	標準（型番）	約3,000枚※1 ※2（TN-53J）
	大容量（型番）	約8,000枚※1 ※2（TN-56J）
ドラムユニット（型番）		約30,000枚※3 ※4（DR-51J）

※ 1：印刷可能枚数は JIS X 6931（ISO/IEC 19752）規格に基づく公表値を満たしています。
（JIS X 6931（ISO/IEC 19752）とはモノクロ電子写真方式プリンター用トナーカートリッジの印刷枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。）

※ 2：使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数、印刷内容などによって異なります。

※ 3：A4 を 1 回に 1 ページ印刷した場合

※ 4：使用環境や記録紙の種類、連続印刷枚数などによって異なります。

ネットワーク

LAN		本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-Fax 送信機能、PC-Fax 受信機能（Windows®のみ）、リモートセットアップ機能を使用することができます。また、ネットワーク接続されている本製品の初期設定用ユーティリティ BRAdmin Light ※1 ※2も使用できます。
ネットワークのプロトコル	IPv4	ARP，RARP，BOOTP，DHCP，APIPA（Auto IP），WINS/NetBIOS name resolution，DNS Resolver，mDNS，LLMNR responder，LPR/LPD，Custom Raw Port/Port9100，POP3※3，SMTP Client，IPP/IPPS，FTP Client and Server，LDAP Client※3，CIFS Client，TELNET Server，SNMPv1/v2c/v3，HTTP/HTTPS server，TFTP client and server，ICMP，Web Services （Print/Scan），SNTP Client
	IPv6	NDP，RA，DNS resolver，mDNS，LLMNR responder，LPR/LPD，Custom Raw Port/Port9100，IPP/IPPS，FTP Client and Server，LDAP Client※3，CIFS Client，TELNET Server，SNMPv1/v2c/v3，HTTP/HTTPS server，TFTP client and server，SMTP Client，ICMPv6，SNTP Client，Web Services （Print/Scan）
ネットワークのセキュリティ	有線 LAN	APOP，POP before SMTP，SMTP-AUTH，SSL/TLS （IPPS，HTTPS，SMTP，POP），SNMP v3，802.1x （EAP-MD5，EAP-FAST，PEAP，EAP-TLS，EAP-TTLS），Kerberos

※ 1：Windows® をご使用の場合は、本製品に付属の⇒「かんたん設置ガイド」を参照し、付属のドライバー&ソフトウェア CD-ROM から BRAdmin Light をインストールしてください。
Macintosh をご使用の場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）からダウンロードしてください。

※ 2：さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows® 版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））より最新版をダウンロードしてご使用ください。

※ 3：インターネットファクス機能のファームウェア（本体ソフトウェア）をサポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードした場合に利用できます。

動作環境

<table>
<tr><th rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">CPU</th><th rowspan="2">必要なメモリ</th><th rowspan="2">推奨メモリ</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th><th rowspan="2">インターフェイス※1</th></tr>
<tr><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td colspan="7">Windows®</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Home Edition</td><td rowspan="2">Intel® Pentium® II相当のプロセッサ</td><td rowspan="2">128MB</td><td rowspan="2">256MB</td><td rowspan="3">150MB</td><td rowspan="3">500MB</td><td rowspan="5">USB2.0、10 Base-T/100 Base-TX（イーサネット）</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional x64 Edition</td><td>64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td><td>256MB</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®</td><td rowspan="2">Intel® Pentium® 4相当の64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td>500MB</td><td rowspan="2">1.2GB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7</td><td>1GB (32-bit)
2GB (64-bit)</td><td>1GB (32-bit)
2GB (64-bit)</td><td>650MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003※2</td><td>Intel® Pentium® III相当のプロセッサ</td><td rowspan="2">256MB</td><td rowspan="2">512MB</td><td rowspan="4">50MB</td><td rowspan="4">なし</td><td rowspan="4">10 Base-T/100 Base-TX（イーサネット）</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 x64 Edition※2</td><td>64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008※2</td><td>Intel® Pentium® 4相当の64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td><td rowspan="2">512MB</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 R2※2</td><td>64ビット（Intel® 64またはAMD64）をサポートするプロセッサ</td></tr>
<tr><td colspan="7">Macintosh</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.5.8</td><td>PowerPC G4/G5 Intel® プロセッサ</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td rowspan="3">80MB</td><td rowspan="3">400MB</td><td rowspan="3">USB2.0、10 Base-T/100 Base-TX（イーサネット）</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.6.x</td><td rowspan="2">Intel® プロセッサ</td><td>1GB</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.7.x</td><td>2GB</td></tr>
</table>

※１：サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
※２：ネットワーク接続によるプリント機能のみ

補足

- 最新のドライバーは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp/) でご確認ください。
- お使いの機能により、必要な動作環境は異なります。CPUのスペックやメモリの容量に余裕があると、動作が安定します。

索　引

■ 索引の使いかた

- このページでは、本書、「ユーザーズガイド　ネットワーク編」、「ユーザーズガイド　パソコン活用編」で説明されている項目を検索できます。

す

せ

そ

た

ち

て

と

な

わ

〈キリトリ線〉

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して無音状態のときに、暗証番号を入力します。

①

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。
   「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. ９０を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、③、④を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

②

〈キリトリ線〉

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
メモリ受信を解除（※1）		951
ファクス転送に設定（※2）		952
電話呼び出しに設定（※2）		953
ファクス転送番号の登録･変更		954+転送番号+##
メモリ受信を設定		956
ファクスの取り出し		962+ダイヤル入力+##
ファクス消去		963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付け留守電	981
	自動切換え	982
	ファクス	983
終了		90

※1：電話呼び出しや、ファクス転送の設定も解除されます。

※2：呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し、転送機能をONにすることはできません。

※3：「ピー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信しています。「ピピピッ」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していません。

③ ④

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート



サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q&A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー　検 索

http://solutions.brother.co.jp/



携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からでも簡単なサポート情報をみることができます。



http://m.brother.co.jp/support/



ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

050-3786-8881

受付時間：月〜金　9:00〜20:00 /土　9:00〜17:00　日曜日·祝日·弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス



ブラザー サービス エクスプレス



複合機	1年間無償保証

製品ご購入後1年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

- **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。**※一部地域を除く
  事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
- **7日以内に修理品を返送。**
  弊社到着後、7日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。



サービスパック3･4･5年

商品ご購入後、6ヶ月以内にご購入／ご契約して頂けるサービスメニューです。
ご購入日から3・4・5年の長期保守を割安にご購入可能。



サービスパック1年

商品ご購入後いつでもご契約頂ける1年単位のサービスメニューです。

※各サービスパックについては、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。
※各サービスパックには、技術料／部品代が含まれます。
※引取り修理は宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送いたします。
　引取り修理契約には送料も含まれております。
※出張修理は原則、コール受付の翌営業日以降にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応いたします。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
※サービスパック1年は、ご購入後4年以内かつ当社基準に適合した製品である事が条件になります。

各定額保守サービスの内容、該当機種、料金などの詳細は下記窓口へお問い合わせください。
TEL：052-824-3253
http://www.brother.co.jp/product/support_info/s-pack/index.htm

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、「ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）050-3786-8881」にご連絡ください。
※Presto! PageManagerについては、以下にお問い合わせください。
　ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
　TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10:00〜12:00　13:00〜17:00（土日·祝日を除く）
　テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をご使用ください。当社指定以外の品物をご使用いただくと、故障の原因となる可能性があります。純正品のトナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また保証の対象とはなりませんのでご注意ください。
This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
●本製品の補修用性能部品の最低保有期限は製造打ち切り後5年です。（印刷物は2年です）



ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1